

日本外交文書 大正九年 第三冊下卷 終

附錄 日本外交文書 大正九年 第三冊(上下卷)日附索引

大正九年（西曆一九二〇年）第三冊 日附索引

一 月

事項番号 文書番号 電信番号 頁

一 一 一月二日 一 在內田外務大臣ヨリ在松井大使宛（電報） 准伊ノ対独平和条約批准書寄託及批准書寄託ノ第一回調書作成ノ時期等ニ付問合ノ件……………一

附記 大正八年十二月二十六日松井大使宛内田外務大臣宛電報講第二五八九号……………一

四 一七八 一月三日 三 在內田外務大臣ヨリ在松井大使宛（電報） 國際聯盟協會聯合会ノ第一回及第二回總會ニ於テ國際聯盟ニ関シ為サレタル決議ニ付報告ノ件……………二五五

八 六二四 一月三日 三 在內田外務大臣ヨリ在松井大使宛（電報） 講和會議終了後ノ軍事會議ヘノ日本代表者参加問題ニ関シカーゾン卿ト會談ノ件……………七七七

附記 大正八年十二月十三日ノ五國會議ニ於テ英國首相提出ノ措置案……………七七七

一 二 一月四日 七 在內田外務大臣ヨリ在松井大使宛（電報） 英仏ノ対独平和条約批准書寄託済及批准書第一回調書作成ノ日取未定等……………二

三 八三 一月五日 一七 在內田外務大臣ヨリ在松井大使宛（電報） 國際聯盟第一回理事会ニ松井大使出席ノ旨通告シタル件……………九三

八 六二五 一月五日 一八 在仏国松井大使ヨリ 講和会議終了後ノ軍事會議ヘノ日本代表者参加ヲ五国会議ニ提議シ可然……七七八
内田外務大臣宛(電報) 談請訓ノ件

附記一 大正八年十二月三十日在英大使宛内田外務大臣宛電報第……七七八
五六九号

二 大正八年十二月三十日在英大使宛内田外務大臣宛電報第……七七九
五七〇号

一 一〇 一月九日 二 在米米幣原大使ヨリ 対独平和条約批准問題ハ次期大統領及上院議員改選迄進展ヲ見ザルベキ旨ノ観測報告ノ件……一四
内田外務大臣宛(電報)

附記一 大正八年十二月三十日幣原大使宛内田外務大臣宛電報第……
九一三号

米米ノ対独平和条約批准問題ノ動向ニ関シ、メルベル、ストーソン氏珍田大使ニ内話ノ件……一五
大正八年十二月三十日幣原大使宛内田外務大臣宛電報第……
九一六号

二 米米上院ニ於ケル対独平和条約批准ニ関スル留保案等ニ付グレー英國大使ノ談話報告ノ件……一七

一五 九〇四 一月九日 二 在浦潮松平政務部長ヨリ 伊国政府ハ同国軍ノシベリア撤退ニ伴ヒ鉄道特別委員会ヨリ同委員会ヲ脱退セシムル旨声明シタル件……一四三

三 八四 一月十二日 二六 内田外務大臣ヨリ 第一回理事会ニ正式代表者トシテ出席セラレ度旨指示ノ件……九三
在仏国松井大使宛(電報)

八 六二六 一月十三日 六六 在仏国松井大使ヨリ 一月十日ノ五国会議ニ於テ軍事會議存続ノ件ヲ議定竝軍事會議ニ日本参加ヲ承諾ノ件……七八〇
内田外務大臣宛(電報)

一 一一 一月十四日 二二 在米米幣原大使ヨリ 民主共和両党ノ妥協ニ依リ平和条約ヲ批准スベシトノ米国内ノ民論ニ付……一八
内田外務大臣宛(電報) 報告ノ件

三 八五 一月十四日 三七 内田外務大臣ヨリ 國際聯盟第一回理事会ニ日本政府代表者ノ出席ヲ希望スル旨米米國大使ヨリ通告越ノ件……九三
在仏国松井大使宛(電報)

附記 一月十三日附在本邦米米國大使ヨリ内田外務大臣宛書翰……九四

一四 八三三 一月十四日 公三三 在米米幣原大使ヨリ 日英同盟更新問題ニ関スル新聞論說抄訳送付ノ件……一〇八二
内田外務大臣宛

二 二七 一月十五日 九三 在仏国松井大使ヨリ 一月十五日五国会議席上ニ於テ洪牙利委員ニ平和条約案ヲ交附ノ件……三二
内田外務大臣宛(電報)

三 八六 一月十六日 一〇〇 在仏国松井大使ヨリ 聯盟第一回理事会ニ於ケル議長選出各理事ノ演說等ニ関シ報告ノ件……九六
内田外務大臣宛(電報)

八 六二七 一月十六日 四二 在仏国松井大使宛 軍事會議代表者任命ニ関シ列國ノ振合等查報方訓令ノ件……七八〇
在仏国松井大使宛(電報)

一二 七八〇 一月十六日 九八 在仏国松井大使ヨリ 前独帝引渡要求ニ関スル蘭國政府宛公文ヲ首相會議議決ノ件……一〇一一
内田外務大臣宛(電報)

別電 同日在仏国松井大使宛内田外務大臣宛電報第九九号……一〇一一
右公文

一五 九〇五 一月十六日 三一 在浦潮松平政務部長ヨリ セメノフ其管理区域内ニ於テ一時最高執政權ヲ行使スベキ旨發表ノ件……一一四三
内田外務大臣宛(電報)

一五 九〇六 一月十七日 二四 在ハルビン佐々木總領事代理 セメノフガイルクーツク以東露領ノ主權一時掌握竝ホルワット東支鉄道ノ附屬地帶主權ノ一時掌握ノ件……一一四四
内田外務大臣宛(電報)

二	二八	一月十九日	一四	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	五国会議席上洪牙利国全権ヨリ聯合 国ガ其条件ヲ緩和セザレバ承諾シ難 キ旨陳述ノ件	三二
三	八七	一月十九日	五一	内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛(電報)	軍事上ノ問題ニ関シ必要ノ場合ニ対 スル措置方ニ付指示ノ件	九七
三	八八	一月十九日	一三	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	聯盟第一回理事會開催ニ付各国理事 會合打合ニ関スル件	九七
一一	七八一	一月十九日	一九	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	前独帝引渡要求ノ蘭国政府宛公文案 議決ノ経緯及我方ノ留保ニ付報告並 請訓ノ件	一〇一三
				別電 同日在仏国松井大使宛内田外務大臣宛電報第一一〇号		一〇一五
一五	九〇七	一月十九日	三六	在蒲潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ホルワットヲ日本側ニ引付ケ置ク必 要アルニ付同人ト懇談ノ為ハルビン 出張ノ儀追認方稟請ノ件	一一四四
一五	九〇八	一月二十日	二二	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	東支鉄道ヲ仏国政府ノ保護下ニ置ク 様露亜銀行ヨリ要請アリシトノ報道 ニ付報告ノ件	一一四五
三	八九	一月二十一日	一五七	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	倫敦第二回理事会ニハ出席シ兼ヌル ニ付速ニ理事任命方稟請ノ件	九八
八	六二八	一月二十一日	二四	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	軍事會議列国代表ノ振合等ニ関シ回 報ノ件	七八一
一〇	六六八	一月二十二日	三四	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	対独平和条約賠償条項ノ実施ニ関ス ル諸問題ニ付請訓ノ件	八五九
七	五〇二	一月二十三日	六四	内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛(電報)	C式委任統治地域ニ於ケル通商上ノ 機會均等問題ニ対スル日本政府ノ決 定及仏国政府ノ好意の申出ニ関スル 件	六四三
				別電 同日内田外務大臣宛在仏国松井大使宛電報第六五号		六四四
				右日本政府ノ決定		
八	六二九	一月二十三日	八八	官房機密 塙内海軍次官ヨリ 塙原外務次官宛	独逸艦艇処分ニ関シ大角武官宛訓令 通報ノ件	七八一
一二	七八二	一月二十三日	一〇	在蘭国落合公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	前独帝引渡要求ニ関シ蘭国政府ノ立 場ニ対スル観測ニ付報告ノ件	一〇一六
五	二二五	一月二十四日	二九	在英國珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	公法家會議本邦代表トシテ安達公使 推薦ニ付請訓ノ件	三二六
				附記 大正八年八月二日在英國珍田大使宛内田外務大臣宛電報第 三二八号		三二七
一二	七八三	一月二十四日	一四七	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	前独帝引渡要求ヲ蘭国政府拒絕ノ件	一〇一七
				別電 同日在仏国松井大使宛内田外務大臣宛電報第一四八号		一〇一七
				前独帝引渡要求ニ対スル蘭国政府ノ回答文		
七	五〇三	一月二十五日	一五五	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	C式委任統治地域ノ通商上ノ機會均 等問題ニ関シカーゾン卿ノ申出報告 及日本政府ノ決定問合ノ件	六四四
				別電 一月二十六日在仏国松井大使宛内田外務大臣宛電報第一五 六号		六四五
				右カーゾン卿ノ申出		

三 九〇 一月二十六日 政ニ送九 内田外務大臣ヨリ
在本邦米国大使宛

一二 七八四 一月二十七日 一六四 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一五 九〇九 一月二十九日 外庚字七 在本邦中国臨時代理公使ヨリ
内田外務大臣宛

六 二七八 一月三十日 外一九〇 内田通信次官ヨリ
幣原外務次官宛

七 五〇四 一月三十日 一七七 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

八 六三〇 一月三十日 一七六 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

附記 一月二十八日松井大使宛内田外務大臣宛電報第一七二号
第一回大使會議議事概要

一二 七八五 一月三十日 三六 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

和蘭国政府ノ前独帝引渡拒絶問題ニ
関スル英國新聞論調報告ノ件

二 月

二 二九 二月一日 二〇〇 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

土国トノ平和条約案ニ関シ日英仏伊
四国經濟委員會ニ於テ協議ノ状況報
告ノ件

別電一 同日在仏国松井大使宛内田外務大臣宛電報第二〇一号

土国カビチュレーションニ関スル協議案

二 同右電報第二〇一号乙

土国ニ於ケル領事裁判權ニ関シ經濟委員會ヨリ最高會議
ニ提出セントスル意見書

二 三〇 二月一日 二〇五 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

旧土国領小亞細亞諸國間ニ関稅同盟
ヲ結バンシメントスル英國ノ經濟委員
会ニ於ケル提案ニ関シ報告ノ件

別電 同日在仏国松井大使宛内田外務大臣宛電報第二〇六号

英國委員ガ經濟委員會ニ提出セル旧土国領小亞細亞諸國ニ
関スル覺書

三 九一 二月二日 四二 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

第二回聯盟理事會ニ本邦理事ノ資格
ニ於テ出席並會議ノ議題ニ付請訓ノ
件

一五 九一〇 二月二日 二二四 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ホルワットノ東支鐵道附属地帯ニ對
スル露國ノ統治權行使ノ布告ニ對シ
中国政府ハ嚴重抗議シタル旨同政府
ヨリ通知越ノ件

一五 九一一 二月二日 四八 在浦潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

在シベリア米國鐵道從業員ノ撤退延
期ニ関スル件

七 五〇五 二月三日 二二五 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

C式委任統治地域ノ通商上ノ機會均
等問題ニ付日本ニ満足ヲ与フル途無
キヤ研究中ナル旨ベルトロー氏談話
ノ件

一五 九一二 二月三日 五四 在浦潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

東支鐵道売渡ノ風説ヲ否定スルホル
ワットノ書翰ニ付報告ノ件

一五	九一三	二月三日	九五	在ハルビン松島総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	東支鉄道沿線地帯ニ対スルホルワツ トノ統治権行使ヲ否認スル鮑吉林督… 軍ノ措置ニ付報告ノ件	一一四八
一二	七八六	二月四日	一二〇	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	前独帝引渡要求ニ関シ蘭国政府宛第 二回書翰案ヲ仏国側ヨリ大使會議ニ… 提出ノ件	一〇二一

別電 同日在仏国松井大使・内田外務大臣宛電報第三二二號

右書翰案

…一〇二二

一五	九一四	二月四日	五七	在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	イルクーシツク方面ノチエツク軍輸送 促進ノ為鉄道特別委員会ヨリスミス ヲ派遣スル旨ノ決議ニ付報告及請訓 ノ件	一一四九
----	-----	------	----	----------------------------	---	------

一	一二	二月五日	七三	在米国幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	対独平和条約批准問題ニ関シロッジ 氏ノ留保要求ヲ英国側ガ是認スル如 キ報道伝ハリタル件	…二〇
---	----	------	----	--------------------------	---	-----

一五	九一五	二月五日	政一機送	内田外務大臣ヨリ 在本邦中國臨時代理公使宛	東支鉄道区域ニ於ケル露國ノ統治権 行使ニ関スルホルワツト告示問題ニ… 対シ回答ノ件	一一五〇
----	-----	------	------	--------------------------	---	------

一五	九一六	二月六日	一〇三	在ハルビン松島総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	東支鉄道附属地帯ニ関スル布告問題 其他ニ付ホルワツトノ談話報告ノ件	一一五〇
----	-----	------	-----	-----------------------------	--------------------------------------	------

三	九二	二月七日	五五	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	英国外相ト会谈ノ結果首相會議ニハ 本使出席シ理事會ニハ松井大使又ハ 安達公使出席ノコトヲ致度ニ付予メ 認可方稟請ノ件	…九九
---	----	------	----	--------------------------	---	-----

三	九三	二月七日	五六	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	倫敦理事會ニ出席方松井大使ニ希望 シ置キタル件	…一〇〇
---	----	------	----	--------------------------	----------------------------	------

一二	七八七	二月八日	二二	在蘭国落合公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	蘭国上院ハ政府ノ前独帝引渡拒絕回 答ニ同意ノ件	…一〇二五
----	-----	------	----	--------------------------	----------------------------	-------

一二	七八八	二月八日	二二五	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	独国戦責者引渡問題ニ関シ英国代表 者大使會議ニ於テ陳述ノ件	…一〇二六
----	-----	------	-----	--------------------------	----------------------------------	-------

一二	七八九	二月九日	二五七	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	独国戦責者名簿ヲ在独仏国代理大使 ヨリ独国政府ニ交付セシムルコトニ… 大使會議決定ノ件	…一〇二七
----	-----	------	-----	--------------------------	---	-------

七	五〇六	二月十日	五四	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	委任統治様式問題ニ関スル日本政府 回答遅延ノ事情其他当面ノ諸問題ニ… 付カーゾン外相ニ説明ノ件	…六四六
---	-----	------	----	--------------------------	---	------

一〇	六六九	二月十日	一二二	内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛(電報)	対独平和条約賠償条項第一附属書ノ 五及七ニ関シ取調方訓令ノ件	…六八〇
----	-----	------	-----	--------------------------	-----------------------------------	------

一五	九一七	二月十日	浦参謀一 三八	浦潮軍参謀長ヨリ 福田参謀次長宛(電報)	東支鉄道困窮ノ現狀並中国及米國ノ 同鉄道ニ対スル野心ニ鑑ミ我方ノ執 ルベキ対策ニ付意見具申ノ件	…一一五一
----	-----	------	------------	-------------------------	---	-------

一	一三	二月十一日	七四	在米国幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ロッジ氏ノ平和条約討議復活提議ヲ 上院可決及条約ノ留保案ニ対スル大 統領ノ意見ヲヒツコック発表ノ件	…二〇
---	----	-------	----	--------------------------	---	-----

三	九四	二月十一日	四八	内田外務大臣ヨリ 在英国珍田大使宛(電報)	第二回理事會ニ本邦代表者トシテ出 席方ニ関スル件	…一〇一
---	----	-------	----	--------------------------	-----------------------------	------

一	三	二月十二日	一二二	内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛(電報)	在本邦伊国代理大使ヨリ本邦ノ対埃 平和条約批准見込ニ付問合アリタル 旨通報並貴任國ノ情況先方当局ヨリ 聴取方指示ノ件	…三
---	---	-------	-----	--------------------------	---	----

三	九五	二月十二日	六三	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	第二回聯盟理事會ノ開催、會議議題 及議事手続ニ関シ松井大使ヨリ報告 ノ件	…一〇一
---	----	-------	----	--------------------------	--	------

一五	九一八	二月十二日	二七	内田外務大臣ヨリ 在蒲潮松平政務部長宛(電報)	チェック軍輸送促進ノ為鉄道特別委員 会ヨリスミス派遣問題ニ付回訓ノ件	一一五三
三	九六	二月十四日	五三	内田外務大臣ヨリ 在英国珍田大使宛(電報)	首相會議ニハ珍田大使出席シ理事会 ニハ松井大使出席方ノ件	一〇二
三	九七	二月十四日	六四	内田外務大臣宛(電報)	第二回理事会ニ於テ各議題ニ関スル 決議ハ公表ノ事トシタル件	一〇二
三	九八	二月十四日	六五	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	第二回理事会ニ於ケル各国代表ノ報 告及決議案等ニ関シ松井大使ヨリ報 告ノ件	一〇三

別電 二月十六日在英国珍田大使宛内田外務大臣宛電報第六九号

二	同右電報第七〇号	國際裁判所設立ノ為ノ準備委員會組織ニ関スル決議	一〇四
三	同右電報第七一号	常設交通機關設置ニ関スル決議	一〇四
四	同右電報第七二号	常設ノ國際保健機關設置ニ関スル決議	一〇四
五	同右電報第七三号	ザール地方行政委員任命決議	一〇五
六	同右電報第七四号	ダンテッヒ高級委員ノ任命及同地区憲法案起草方決議 少數民族保護ニ関スル五大国及波蘭間条約ハ聯盟ノ保障 下ニ置カル可キ旨ノ決議	一〇五

七 同右電報第七五号

八	二月十九日在仏国松井大使宛内田外務大臣宛電報第三〇六号	瑞西ノ聯盟加入ニ関スル決議	一〇六
---	-----------------------------	---------------	-----

國際財政會議開催決議

一四	八三四	二月十四日	六六	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日英同盟更新滿蒙留保在中國英國公 使更迭等ニ関スル新任駐日英國大使 ノ談話要点報告ノ件	一〇八三
一	一四	二月十七日	七八	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	米國上院ニ於ケル平和条約批准問題 討議ノ最近ノ形勢報告ノ件	一一二
一五	九一九	二月十七日	一三七	在ハルビン松島總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	東支鐵道ノ實權掌握ノ為中國側力採 リ居ル措置ニ関シ鮑督軍ノ談話報告 ノ件	一一五三
二	三一	二月十八日	英參一八	在英国伊丹少將ヨリ 陸軍大臣及參謀總長宛(電報)	ダルダネル海峡自由保持ニ必要ナル 聯合國ノ占領地区及兵力ノ決定ニ関 スル日英仏印ノ倫敦軍事會議決議報 告並意見具申ノ件	四〇
三	九九	二月十八日	三〇三	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	第二回理事会ニ於ケル各決議ニ関シ 注意スベキ議事ニ付報告並議事手続 案修正ニ付請訓ノ件	一〇七

別電 二月二十日在仏國松井大使宛内田外務大臣宛電報第三〇四号

聯盟事務局作成ノ理事会議事手続草案

一二	七九〇	二月十八日	八一	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	首相會議決定ノ前独帝引渡及職責者 処罰ニ関スル蘭國及独國宛公文公表 ノ件	一〇二九
----	-----	-------	----	--------------------------	--	------

別電 同日在英国珍田大使発内田外務大臣宛電報第八二号

前独帝引渡問題ニ関スル蘭国宛公文 …… 一〇二九

二 同右電報第八三号 …… 一〇三三

戦責者処罰ニ関スル独国宛公文

独逸軍事犯罪者処罰問題ニ関シ倫敦
首相會議ニ於テ討議ノ件 …… 一〇三五

東支鉄道ノ露国守備隊解散ヲ中国側
ガ要求セントスルニ對シ之ガ阻止方
ヲ露国側ヨリ懇請セルニ付請訓ノ件 …… 一一五四

倫敦首相會議ニ於テ土耳其帝ヲ君府
ニ残スベキヤノ問題、聯合國ニ依ル
君府及海峡ノ管理並永久的占領兵力
等ノ問題審議ノ件 …… 四二

倫敦首相會議ニ於ケル對土平和条約
問題ニ對スル我方針稟申及請訓ノ件 …… 四四

C式委任統治地域ノ通商問題ニ関ス
ル仏国政府ノ申出ニ付パレオローグ
ト会谈ノ件 …… 六四八

独逸軍事犯罪者処罰前独帝引渡等ニ
付首相會議ニ於テ協議ノ件 …… 一〇三七

倫敦首相會議ニ於テ独逸軍事犯罪者
処罰問題ニ関スル独逸宛公文案ヲ可
決竝前独帝引渡ニ関スル和蘭宛公文
案ニ付討議ノ件 …… 一〇三七

倫敦首相會議ニ於テ軍事犯罪者処罰
問題ニ関スル独国宛公文案ヲ確定等
ノ件 …… 一〇三九

常設国際司法裁判所設置準備ノ為ノ
国際委員會ニ秋月前大使ガ招請セラ
ルベキ旨ノ理事會決定ヲ事務總長ヨ
リ通知越ノ件 …… 三一七

附屬書 二月十六日附國際聯盟事務總長ヨリ珍田大使宛書翰寫 …… 三二八

倫敦首相會議ニ於テ前独帝引渡問題
ニ関スル蘭国宛公文案ヲ確定及發送
方決定ノ件 …… 一〇四〇

鉄道特別委員會ヨリノ米國委員脱退
問題ニ関シ問合ノ件 …… 一一五五

ザバイカルニ於ケルチェック軍輸送
ニ関シ星野中將トスミス間ノ關係調
整方ニ付指令ノ件 …… 一一五五

陸海軍委員會ニ於テダルダネル海峡
自由確立ノ為ノ事項決議ノ件 …… 四四

ダルダネル海峡自由保障國及土耳其
財政監督委員會ニ我方参加ノ可否ニ
関シ請訓ノ件 …… 四五

第二回聯盟理事會ニ関スル印象報告
ノ件 …… 一一五

鉄道特別委員會ヨリ脱退セルハ伊國
委員ニシテ米國委員ニ非ザル旨回報
ノ件 …… 一一五六

首相會議ニ於テ土耳其平和条約關係
諸委員會ノ設定、シリシア施政問題
等討議ノ件 …… 四六

一二	七九一	二月十八日	八四	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)
一五	九二〇	二月十八日	一三九	在ハルビン松島總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)
二	三二二	二月二十日	九三	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)
二	三三三	二月二十日	九五	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)
七	五〇七	二月二十日	三二三	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)
一二	七九二	二月二十日	九〇	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)
一二	七九三	二月二十日	九一	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)
一二	七九四	二月二十日	九二	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)
五	二二六	二月二十一日	公三六	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛
一二	七九五	二月二十一日	九三	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)
一五	九二一	二月二十二日	三一	内田外務大臣ヨリ 在浦潮松平政務部長宛(電報)
一五	九二二	二月二十二日		福田參謀次長ヨリ 在浦潮軍參謀長宛(電報)
二	三四	二月二十三日	一〇三	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)
二	三五	二月二十三日	一〇四	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)
三	一〇〇	二月二十三日	三二一	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)
一五	九二三	二月二十三日	七九	在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)
二	三六	二月二十四日	一〇八	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

二 三七 二月二十四日 一〇九 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 四八
首相會議ニ於ケル土耳其領土処分及
土耳其條約起草問題ニ関スル討議報
告ノ件

一二 七九六 二月二十四日 一六〇 内田外務大臣ヨリ
在仏國松井大使宛(電報) 一〇四〇
戰責者引渡問題ニ関スル前独逸皇太
子ヨリ天皇陛下宛電報ニ付問合ノ件

一五 九二四 二月二十四日 八二 在蒲潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一一五六
チタ出張ノスミスヨリ星野將軍ガ同
氏ノ任務ヲ諒解セザル旨鐵道特別委
員会ニ電報越ノ件

一五 九二五 二月二十四日 八三 在蒲潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一一五七
チエック軍輸送ニ関シ星野中將トス
ミス等トノ意見対立ノ打開策ニ付稟
申ノ件

一二 七九七 二月二十五日 一三 内田外務大臣ヨリ
在蘭國落合公使宛(電報) 一〇四一
前独皇太子ノ戰責者身代申出ヲ前帝
ガ引止メタリトノ新聞報ニ付問合ノ
件

一二 七九八 二月二十五日 三〇 在蘭國落合公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一〇四一
前独帝引渡要求ニ関スル聯合國ノ蘭
國宛第二公文ニ対スル新聞論評報告
ノ件

一五 九二六 二月二十五日 機軍政送
一一 内田外務大臣宛 一一五八
東支鐵道完渡ノ風説ヲ否定スルホル
ワット將軍ノ書翰寫送付ノ件

附屬書 右書翰ノ邦訳文

…………… 一一五八

一五 九二七 二月二十六日 八六 在蒲潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一一五九
チエック軍輸送ニ関シスミス及星野
中將間ノ關係ニ付鐵道特別委員會ニ
於テ審議ノ件

一五 九二八 二月二十六日 八七 在蒲潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一一六〇
過激派トチエック軍ノ關係並同派ト
日本軍ノ接触ニ関シチエック代表談
話ノ件

一二 七九九 二月二十七日 九七 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一〇四二
前独帝引渡第二回要求ニ関シ英仏伊
三国ハ蘭國政府ニ申入ヲ為スニ付我
方モ協調スル様在英大使ヨリ稟請ノ
件

一四 八三五 二月二十七日 九八 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一〇八四
英國ハ國際聯盟ガ機能ヲ發揮シ得ザ
ル場合日英同盟ヲ更新ヲ余儀ナクセ
ラルベキ旨聞込ミタル趣「ボーク」
新聞記者ニ談話ノ件

七 五〇八 二月二十八日 三五四 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 六四八
C式委任統治地域ノ通商問題ニ関シ
仏國國際聯盟局長トノ会谈及フロマ
ジヨ氏ノ申出ニ付報告及請訓ノ件

別 電一

同日在仏國松井大使宛電報第三五五号
フロマジヨ氏ヨリ長岡參事官ヘノ申出ニ関スル件 …… 六五〇

二 同右電報第三五六号

右申出ニ関シ松井大使ヨリ長岡參事官ヘ回電ノ件 …… 六五一

一五 九二九 二月二十八日 八八 在蒲潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一一六一
ザバイカルニ於ケルチエック軍輸送
ニ関シ米派遣軍司令官ト会谈ノ件

二 三八 二月二十九日 一三五 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 四九
首相會議ニ於テ同會議今後ノ議題並
對土平和條約案ノ海峽自由問題バレ
スタインノ領域及スミルナ問題ニ付
協議ノ件

三 月

八 六三一 三月一日 陸講一三 渡辺在仏國日本大使館附武官
ヨリ 陸軍省宛(電報) 聯合陸軍會議ニ関スル仏伊英日白各
國ノ編成ニ付報告ノ件 …… 七八四

二	三九	三月三日	一五三	在英國珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	外相及大使會議ノ修正ヲ經タルダル ダネル海峡管理ニ関スル対土平和条 約案報告ノ件……………五一
三	一〇一	三月三日	三七四	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	露国事情調査委員派遣ハ理事会ニ於 テ実行セラレ度旨最高會議議長ヨリ 聯盟事務總長ニ申越シタル趣ヲ以テ 同總長ヨリ理事会ヲ巴里ニ開催ノ旨 通知アリタル件……………一一七
一	一五	三月四日	一一五	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	平和条約批准ニ関シ山東条項留保案 ヲ米國上院可決ノ件……………一二三
一五	九三〇	三月四日	九四	在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	浦潮臨時政府ニ依ル鉄道運行干涉ニ 関シ鉄道特別委員會ニ於テ論議ノ件 ……………一一六二
一	四	三月六日	三九七	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	壙国代表者ヨリ日本ガ速ニ対壙平和 条約ヲ批准スルコトヲ希望スル旨申 出ノ件……………三
二	四〇	三月六日	一一七	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛（電報）	日本ノ土耳其問題ニ対シ執ルベキ態 度ニ関シ在英珍田大使ヘ回訓ノ件 ……………五三
二	四一	三月六日	四三番電	飯田在英國日本大使館附海軍 武官ヨリ 竹下軍令部次長宛（電報）	ダルダネル海峡管理ニ我方参加セザ ルヲ有利ト認ムル旨具申ノ件 ……………五四
六	二七九	三月六日	一九五	内田外務大臣ヨリ 在仏國松井大使宛（電報）	陸上、海底及無線電信ニ関スル國際 會議参加ニ付仏國ノ意向實質シ方指令 ノ件……………四一一
七	五〇九	三月六日	一四八	在英國珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	C式委任統治地域ノ通商上ノ機會均 等問題ニ関スル条項ヲ長岡參事官フ ロマジヨト協議起案ノ件……………六五一

別電 三月六日在英國珍田大使宛内田外務大臣宛電報第一四九号

右フロマジヨト協議起案ノ条項案

二	八〇〇	三月六日	一一六	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛（電報）	前独帝引渡問題ニ関スル日本政府ノ 態度ニ付在英大使ニ訓令ノ件……………一〇四四
二	八〇一	三月六日	三八	在蘭國落合公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	前独帝引渡問題ニ関スル聯合側第二 公文ニ対シ態度ヲ変更スル能ハザル 旨蘭國政府回答ノ件……………一〇四四
二	八〇二	三月六日	三九	在蘭國落合公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	前独皇太子ノ戰責者身代申出ニ関シ 回報ノ件……………一〇四五
二	四二	三月七日	一五四	在英國珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	首相會議ニ於テ対土平和条約案ノ海 峽委員會ニ日本参加問題及財政委員 会ノ土耳其關稅變更ノ權限ニ付審議 ノ件……………五五
二	四三	三月八日	一五五	在英國珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	対土平和条約ノ海峡管理ニ我方参加 問題等ニ関連シ我方ノ該条約調印拒 絶ノ得失ニ付意見具申ノ件……………五八
二	四四	三月八日	一六一	在英國珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	対土平和条約案中ノ海峡及財政兩委 員会ニ我方参加ハ到底英仏伊ノ容認 ヲ得難キ状態ナル旨稟申ノ件……………五九
七	五一〇	三月八日	三九八	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	C式委任統治規約ニ追加スベキ通商 上ノ機會均等条項（フロマジ案）………六五三
二	八〇三	三月八日	一二一	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛（電報）	前独帝引渡第二回要求ニ関シ英仏伊 三国ノ蘭國政府ニ対スル申入ニ我方 協調ニ付在英大使ヘ回訓ノ件……………一〇四五

一二 八〇四 三月 八日 四一 在蘭國落合公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

前独帝引渡要求ニ対スル蘭國政府再度ノ拒絶回答ニ関シ同國新聞概ネ満足ノ意ヲ表明ノ件……………一〇四六

二 四五 三月 九日 官房機密
三〇一 塙内海軍次官ヨリ
塙原外務次官宛

ダルダネル海峡監理ニ帝國海軍兵力參加ニ関スル件……………五九

七 五一 三月 九日 二〇五 内田外務大臣ヨリ
在仏國松井大使宛(電報)

C式委任統治地域ノ通商上ノ機會均等問題ニ対スル日本政府ノ決定ニ付重ネテ訓令竝該決定ノ趣旨ヲ詳細説示ノ件……………六五四

別電 三月九日内田外務大臣発在仏國松井大使宛電報第二〇六号

右決定ノ趣旨詳細説示ノ件……………六五四

七 五二 三月 九日 四二二 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

C式委任統治規約ノ通商上ノ機會均等事項(フロマジヨ案)ノ取扱ニ付ダ―氏ト会谈ノ件……………六五五

七 五三 三月 九日 四二三 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

C式委任統治地域ノ通商問題ニ関スルフロマジヨ案ニ付請訓ノ件……………六五六

二 四六 三月 十日 二〇八 内田外務大臣ヨリ
在仏國松井大使宛(電報)

対土平和条約カピチュレーション問題ニ関シ其後ノ成行隨時報告方訓令ノ件……………六〇

二 八〇五 三月 十日 一七一 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

前独帝引渡第二回要求ニ関シ英仏伊三国ハ蘭國政府ニ申入ヲ為ス様在海牙各自國代表者ニ訓令ノ件……………一〇四七

別電 在英國珍田大使発内田外務大臣宛電報第一七一号

右英國側訓電……………一〇四七

二 八〇六 三月 十日 一七五 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

前独帝引渡要求ニ関シ我留保撤回ノ旨首相會議議長宛申入済ノ件……………一〇五〇

七 五一四 三月 十一日 二二六 内田外務大臣ヨリ
在仏國松井大使宛(電報)

C式委任統治ニ関シフロマジヨ案ニ依リ解決スル様仏國政府ノ斡旋取計方訓令ノ件……………六五六

二 四七 三月 十二日 一〇五 内田外務大臣ヨリ
在英國珍田大使宛(電報)

海峡ノ自由保障國ガ英仏伊三国ノミニ決定ノ経緯問合ノ件……………六〇

二 四八 三月 十二日 一〇八 内田外務大臣ヨリ
在英國珍田大使宛(電報)

対土平和条約案中ノ海峡及財政監督ノ兩委員會ニ関スル我方ノ留保撤回方訓令ノ件……………六〇

二 八〇七 三月 十二日 四五 在蘭國落合公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

前独帝引渡要求問題ニ対スル蘭國政府ノ意向ニ関シ英國公使内話ノ件……………一〇五〇

一五 九三一 三月 十二日 八三 内田外務大臣ヨリ
在ハルビン松島總領事宛(電報)

中国側ニ依ル東支鉄道利権回收ニ関シ中国側及露國側ノ動向ニ付報告方訓令ノ件……………一一六三

二 四九 三月 十三日 陸送
一七八 山梨陸軍次官ヨリ
塙原外務次官宛

ダルダネル海峡監理ニ日本陸軍兵力參加ニ関スル件……………六二

六 二八〇 三月 十三日 二六 在伊國堀田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

陸上、海底及無線電信ノ國際會議參加問題ニ関スル伊國政府ノ意向ニ付報告及請訓ノ件……………四一二

一五 九三二 三月 十三日 二〇八 在ハルビン松島總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

労働組合側ヨリホルワットニ対シ東支鉄道附属地帯内ノ政權讓渡ヲ要求ノ件……………一一六四

三 一〇二 三月 十四日 四四二 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

第三回聯盟理事會巴里ニ於テ開催、露國実狀調査委員派遣問題討議ノ件……………一一八

一五 九三三 三月 十四日 二二〇 在ハルビン松島總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

東支鉄道附属地帯内ノ政權要求ニホルワットノ回答ナク労働者側同盟罷業決行ノ件……………一一六四

二 五〇 三月十五日 二〇九 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

英仏伊三国ニ依ル土耳其ノ両海峡警
備兵力分担決定ノ事情回電ノ件……………六二

三 一〇三 三月十五日 四四九 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

第三回理事會ニ於テ露国実状調査委
員派遣ニ関シ聯盟派遣ノ委員ト労働
理事局派遣委員トノ關係及其他ノ問
題ニ付討議ノ件……………一一八

七 五一五 三月十五日 二〇四 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

カンボン仏国大使ヨリC式委任統治
ニ関スルフロマジヨ案ヲカーゾン外
相ニ手交ノ件……………六五七

一五 九三四 三月十五日 一一三 在蒲潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

鐵道委員會ニ於テ露国委員沿海州ノ
鐵道守備ヲ露国軍隊ニ肩代リ方提議
セルニ付之ニ反対シタル件……………一一六五

二 五一 三月十六日 四六八 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

聯合國側ヨリ交付セル平和条約案ニ
対シ洪国委員提出ノ概括的意見書ノ
概要報告ノ件……………六三

三 一〇四 三月十六日 四四八 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

露国実情調査委員派遣問題ニ関シ首
相會議ニ対スル回答調査目的調査区
域委員保障等ノ諸問題ニ付討議ノ件……………一二〇

三 一〇五 三月十六日 四六二 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

露国実情調査委員派遣問題ニ関シ日
本側委員ノ参加ニ付意見具申ノ件……………一二三

一三 八一八 三月十六日 四五六 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

独逸各地ニ於ケル聯合國軍事監督委
員ニ加ヘラレタル危害及凌辱ニ対シ
執ルベキ措置ニ付大使會議ニ於テ審
議ノ件……………一〇五八

一五 九三五 三月十六日 二二八 在長春佐々木領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

ホルワットノ辞意表明及鐵道運輸再
開ノ見込報告ノ件……………一一六六

一 一六 三月十七日 一三三 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

米國上院ニ於テ平和条約第十條留保
案可決ノ件……………一二三

一 一七 三月十七日 一三四 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

ロッジ案留保附平和条約批准問題ノ
形勢ニ付注意ヲ要スベキ諸点報告ノ
件……………二四

七 五一六 三月十七日 四七八 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

C式委任統治ニ関シ長岡参事官ノ修
正案ヲ仏国政府ニ推奨セル旨フロマ
ジヨ氏内談ノ件……………六五七

一五 九三六 三月十七日 二二九 在長春佐々木領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

中國軍ハ東支鐵道沿線ノ露国守備兵
ニ対シ武裝解除ヲ強制シタル件……………一一六七

一五 九三七 三月十七日 九〇 在奉天赤塚總領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

東支鐵道ノ共同經營ヲ露国過激派政
府ヨリ中國政府ニ申込ミ中國之ヲ拒
絶セル旨ノ張作霖談話ノ件……………一一六七

一五 九三八 三月十七日 二二七 在ハルビン松島總領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

東支鐵道附屬地内ニ於ケル他國統治
權ノ行使玆露国ノ政党又ハ個人ノ鉄
道業ヘノ干渉ヲ許サザル旨鮑督軍宣
言ノ件……………一一六七

一五 九三九 三月十七日 二二八 在ハルビン松島總領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

東支鐵道附屬地帯内ノ政權讓渡ヲホ
ルワットニ対シ要求セル中國側提議
ニ関シ請訓ノ件……………一一六八

一五 九四〇 三月十七日 二二三 在ハルビン松島總領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

東支鐵道従業員等ノ同盟罷業鎮庄ノ
為中國側ノ採リツツアル措置ニ付報
告ノ件……………一一六八

三 一〇六 三月十八日 四五一 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

露国実情調査委員派遣決議ノ件……………一二四

一二 八〇八 三月十八日 四八 在蘭國落合公使ヨリ 前独帝ハ政治的行動ニ関与セザルコ
トヲ保証セルコト及其滞在在地ニ付蘭
國政府公表ノ件 一〇五一

一二 八〇九 三月十八日 二二七 在英國珍田大使ヨリ 前独帝滞在地ニ関スル和蘭勅令ニ付
首相會議ニ於テ協議シタル結果ヲ報
告及詰訓ノ件 一〇五一

一二 八一九 三月十八日 四九〇 在仏國松井大使ヨリ 独逸ニ於テ聯合國軍事監督委員ニ対
シ加ヘラレタル侮辱危害並独逸ノル
ル地方ヘ軍隊増派要請ニ関スル大
使會議ノ討議報告ノ件 一〇五九

一三 八二〇 三月十八日 二二八 在英國珍田大使ヨリ ルール地方ヘ独逸軍増派ニ関スル同
國ノ要請ニ関シ首相會議討議ノ件 一〇六一

一五 九四一 三月十八日 一一八 在浦潮松平政務部長ヨリ 東支鉄道従業員ノ同盟罷業ニ関聯シ
浦潮臨時政府ハ中国側ニ対シ其態度
ヲ表明セル旨新聞報道ノ件 一一六九

一 一八 三月十九日 一三九 在米國幣原大使ヨリ 米國上院ニ於テ平和条約批准案ニ関
スル留保案及其修正案ノ審議ヲ無期
延期ニ決シタル件 二二五

一 一九 三月十九日 一四二 在米國幣原大使ヨリ 对独平和条約ノ各種留保附批准案否
決ノ件 二六

二 五二 三月十九日 四八三 在仏國松井大使ヨリ 对土条約案中ノ少数民族保護ノ為國
際聯盟代表ヲ君府ニ派駐スル条項ニ
付最高會議ヨリ聯盟ノ意向問合ニ関
スル件 六四

六 二八一 三月十九日 二〇八 在英國珍田大使ヨリ 陸上、海底及無線電信ニ関スル國際
會議參加ニ付英國政府ノ意向報告ノ
件 四二三

七 五一七 三月十九日 二二六 在英國珍田大使ヨリ C式委任統治規約ニ関スルフロマジ
ヨ案ニ付カーゾン外相ノ意見問質シ
ノ件 六五八

三 八一〇 三月十九日 四九 在蘭國落合公使ヨリ 前独帝滞在地問題ニ関シ意見稟申ノ
件 一〇五二

一三 八二一 三月十九日 四九四 在仏國松井大使ヨリ ルール地方ノ中立地帯ニ軍隊ヲ増派
シタキ旨ノ在仏独逸代理大使ノ申出
ニ付大使會議ニ於テ審議ノ件 一〇六二

別電 三月二十日松井大使宛内田外務大臣宛電報第四九五号

在仏独逸代理大使ヨリ仏國外務省ニ提出セル本國政府ノ訓 一〇六四
電要領

一三 八二二 三月十九日 四九八 在仏國松井大使ヨリ ルール地方騒擾鎮庄ノ為仏國側提議
ノ強制手段ヲ英伊兩國ガ承認ノ場合
ニ対スル我方ノ態度ニ関シ稟請ノ件 一〇六五

一五 九四二 三月十九日 二二〇 在浦潮矢野政務部長代理ヨリ 中国市民及南北政府ニ対スルカラハ
ン宣言報告ノ件 一一六九

別電 同日在浦潮矢野政務部長代理宛内田外務大臣宛電報第二二

一号 一一七〇

右宣言

一五 九四三 三月十九日 二二六 在ハルビン松島總領事ヨリ 東支鉄道従業員ノ同盟罷業中止ニ関
スル件 一一七一

一 二〇 三月二十日 一四四 在米國幣原大使ヨリ 米國上院ハ对独平和条約批准ヲ拒否
内田外務大臣宛(電報) シタル件 二六

一〇 六七〇 三月二十日 二三三 在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 独逸支払ノ賠償金全額決定ニ付提議シ得ル期間延長ニ関シ英国外相ヨリ……八六一申越ノ件

一五 九四四 三月二十日 外秘 乙四九 警視庁ヨリ 外務省宛 東支鉄道ノ現状維持ノ為日本側ノ援助ヲ懇請セルクレム氏ト後藤男トノ……一一七一会谈内容報告ノ件

一五 九四五 三月二十日 一三二 在浦潮矢野政務部長代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報) ニコリスク及浦潮間ノ鉄道守備ヲ露国軍ニ担当セシムル問題ニ関シ鉄道……一一七三委員会審議ノ件

一三 八二三 三月二十一日 五〇四 在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) ルール問題ニ関シ大使会議ニ於テ討議続行ノ件 ……一〇六七

別電 三月二十四日松井大使兼内田外務大臣宛電報第五〇五号
フォッシュ元帥提出ノ寛書要領 ……一〇六七

五 二二七 三月二十二日 一一 在白人安達公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 近ク開会スル常設国際司法裁判所組織委員会ヘノ出席ニ関シ至急決定方請訓ノ件 ……三三二

一三 八二四 三月二十二日 二三九 在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 最高會議ニ於テルール問題討議ノ結果独軍出兵ヲ条件付ニテ許可スルコトニ決定ノ件 ……一〇六九

一〇 六七一 三月二十三日 閣議決定 对独平和条約ノ賠償条項ニ依ル我損害ノ賠償要求事務処理方ノ件 ……八六一

一一 七六二 三月二十三日 二四四 在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 国際財政會議ヘノ日本委員参加ニ差支無キ様會議開催期日ヲ決定シ度旨聯盟事務総長ヨリ申出ニ付請訓ノ件 ……九八八

一五 九四六 三月二十三日 九五 内田外務大臣ヨリ 内田ハルビン松島總領事宛(電報) 中国側ニヨル東支鉄道ノ利権回收行動ニ対シ日本側ノ対応措置ニ付訓電 ……一一七五

五 二二八 三月二十五日 二五二 在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 公法家會議出席予定ノ秋月前大使ノ後任ニ関スル件 ……三三二

一二 八一 三月二十五日 二四九 在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 前独帝滞在地ニ関スル蘭国宛回答提出ニ付日本側ノ協同動作方ヲカーゾン卿要請ノ件 ……一〇五三

一三 八二五 三月二十五日 五二三 在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) ルール地方ニ増兵方独逸政府ノ希望申出ニ対シ大使會議ニ於テフォッシュ元帥英国大使等ノ意見聴取ノ上本件審議当分延期ニ決定ノ件 ……一〇七〇

二 五三 三月二十六日 二三四 在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 倫敦外相及大使會議ニ於テ対土平和条約海峡施設条項案及海軍条項案ニ付審議ノ件 ……六五

一〇 六七二 三月二十六日 二六九 在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 独逸人ノ英国外ニテ所有セル各国公債ノ利札又ハ籤当リ公債等ノ英国ニ於ケル換金防止方ニ付英国政府申出ノ件 ……八六二

一四 八三六 三月二十六日 一七 在シドニー玉木總領事代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 日英同盟更新ニ関スル在倫敦濠洲新聞連合ノ電報報告ノ件 ……一〇八四

別電 同日玉木總領事代理兼内田外務大臣宛電報第一七号ノ別電
右電報 ……一〇八四

二 五四 三月二十七日 二五〇 在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) カピチュレーション条項ハ外相及大使會議ノ賛認ヲ得タル旨報告ノ件 ……六六

別電 同日在英国珍田大使兼内田外務大臣宛電報第一五一号
カピチュレーションニ関スル経済条項第一条 ……六七

七 五一八 三月二十七日 一三四 内田外務大臣ヨリ
在英国珍田大使宛（電報）

二 五五 三月二十八日 二五七 在英国珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

二 五六 三月二十八日 二六〇 在英国珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

二 五七 三月二十九日 二六六 在英国珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

六 二八二 三月二十九日 五五五 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

二 八一二 三月二十九日 六一 在蘭国落合公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

一四 八三七 三月二十九日 一九 在シドニー玉木總領事代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

一五 九四七 三月二十九日 二五六 在ハルビン松島總領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

三 八一三 三月三十日 公送三二 在蘭国落合公使ヨリ
内田外務大臣宛

附屬書 三月二十四日附右書翰写……………一〇五四

一二 八一四 三月三十日 一三八 内田外務大臣ヨリ
在英国珍田大使宛（電報）

二 五八 三月三十一日 二七二 在英国珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

一三 八二六 三月三十一日 二六九 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛（電報）

一五 九四八 三月三十一日 二六二 在ハルビン松島總領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

四月

一 二一 四月一日 一六二 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

二 五九 四月一日 二七八 在英国珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

一一 七六三 四月一日 二八八 在英国珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

英国外務省ガヤップ島ヲ日本ニ与フ
ヘント發表セリトノ路透電報ニ付査……………六五八
報方ノ件

土耳其ノ海峡委員會ニ我方参加ノ希
望ニ関シ日本政府ガ本問題ヲ重視ス……………六八
ル所以ヲ英国外相ニ説明ノ件

倫敦外相及大使會議ニ於テ対土平和
条約財政条項ニ付討議ノ件……………七〇

英国ノ埃及保護制及サイプラス島併
合条項案ニ対スル日本ノ承認問題ニ……………七十二
付請訓ノ件

陸上、海底及無線電信ニ関スル國際
會議参加ニ付仏国政府ノ意向報告ノ……………四一三
件

蘭国政府ノ前独帝滞在地決定ニ関シ
最高會議議長ヨリ蘭国首相宛書翰ヲ
日英仏伊四国公使ヨリ同首相ヘ手交
ノ件……………一〇五三

デーリー、テレグラフ紙所載ノ日英
同盟ニ関スル論說要旨報告ノ件……………一〇八五

東支鐵道附屬地内ノ政權放棄鮑督軍
側トノ折衝其他ニ関スルホルワット……………一一七六
ノ談話報告ノ件

前独帝引渡ニ関スル倫敦最高會議
長ヨリ蘭国首相宛書翰写送付ノ件……………一〇五四

蘭国ノ前独帝滞在地決定ニ対シ英国
外相ヨリ我方ノ協同動作方申出ニ関
シ回訓ノ件……………一〇五六

英国ノ埃及保護制ノ条項案ハ日本ノ
右保護權承認ヲ意味スルヤニ関シ英
国側法律家ノ意見報告ノ件……………七五

ルール地方鎮庄ノ強制手段ニ付英伊
兩國同意ノ場合我方モ賛成シ差支無……………一〇七三
キ旨回訓ノ件

東支鐵道ノ従業員ニ依ル執行委員會
ノ設立ニ対スル鮑督軍ノ反对ニ付報……………一一七七
告ノ件

米国下院外交委員長ガ米独間ノ戦争
状態終止ニ関スル合同決議案ヲ提出……………二七
ノ件

カーゾン卿ヨリ土耳其海峡委員會ヘ
ノ日本参加ニ仏伊同意ナラバ同卿モ……………七五
同意スベキ旨申越ノ件

國際財政會議参加ノ日本委員ニ関シ
至急電示方稟請ノ件……………九八八

一二	八一五	四月一日	二七四	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	前独帝引渡要求ニ対スル蘭国第二回 ノ回答ニ関シ三月五日倫敦最高會議 協議ノ件	一〇五六
二	六〇	四月三日	二九五	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	土耳其海峡委員會ヘノ我方ノ参加ハ 近ク決定ノ見込ナル旨報告ノ件	七六
三	一〇七	四月三日	二八三	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	四月上旬倫敦開催ノ理事会ニ松井大 使出席方並專任理事決定迄同大使ニ 於テ引続キ我代表ノ任ニ当ルベキコ トニ確定方稟請ノ件	一二五
三	一〇八	四月三日	二九六	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	聯盟事務総長ヨリ第四回理事会ハ四 月九日巴里開催ノ旨並議題ニ付松井 大使ニ電報方依頼シ来レル件	一二六
一三	八二七	四月三日	五九七	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ルール地方ヘノ独軍増派ニ対シ仏国 反對ニ付独逸委員來訪シテ日本政府 ノ考量方懇請ノ件	一〇七三
一三	八二八	四月三日	六〇一	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	独軍ノルール増派ハ条約違反ナルニ 付之ガ制裁ニ関シ日本政府ノ協力得 度旨ノ日本政府宛申出ヲ仏国政府ヨ リ在本邦同国大使宛電報ノ件	一〇七四
二	六一	四月四日	一四六	内田外務大臣ヨリ 在英国珍田大使宛(電報)	仏国ハ土耳其ノ海峡委員會ニ我方ノ 参加要求ヲ支持スル旨在本邦仏国大 使ヨリ内報越ノ件	七七
二	六二	四月五日	二九八	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	外相及大使會議ニ於テ土耳其司法改 革委員會ニ日本ノ参加其他ノ事項審 議ノ件	七七
二	六三	四月五日	三〇三	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	土耳其ニ於ケル各聯盟国ノ郵便局設 立維持權ニ関スル英國提案ヲ外相及 大使會議討議ノ件	七八
七	五一九	四月五日	二八一	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ヤップ島日本讓与說ヲ報道セル路透 電報ニ関スル件	六五九
一〇	六七三	四月五日	五九五	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	賠償委員會ノ対独条約第二六〇条ニ 掲グル權利又ハ利益ヲ保有スベキ旨 ヲ独逸ニ通牒スル書翰案ノ討議ニ付 報告竝山東鉄道關係ニ付請訓ノ件	八六三
二	六四	四月六日	三〇五	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	対土平和条約確定案中ノ必要条項電 報ニ関スル件	七九
七	五二〇	四月六日	二八九	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	濠洲委任統治領ニ白濠主義ノ適用ヲ 主張セルベルメル、ガゼット紙掲載 ノ寄書ニ関スル件	六五九
七	五二一	四月六日	一六九	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ヤップ島日本讓与說ノ出所ニ関スル 件	六六〇
七	五二二	四月六日	一七七	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本ノ南洋諸島要塞化ノ新聞報道ハ 事實無根ナル旨ノ本使談話ヲ各紙掲 載ノ件	六六〇
一〇	六七四	四月六日	六〇九	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	対独条約第二六〇条ニ掲グル權利及 利益ニ関シ賠償委員會ヨリ日本政府 ノ希望ヲ表トシテ提出方申越セルニ 付請訓ノ件	八六四
一三	八二九	四月六日	六二二	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	独軍ノルール増派ニ対シ仏国政府ノ 執リタル軍事行動ニ付報告ノ件	一〇七六
二	六五	四月七日	三一〇	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	外相及大使會議ニ於テ対土条約陸海 空軍条項ニ付討議ノ件	八〇

別電

同日在英国珍田大使宛内田外務大臣宛電報第三二一號

軍事条項實施監督分科会ノ権限ニ関スル英國首相ヨリ「フ……………八一

三	一〇九	四月七日	二九四	内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛（電報）	四月上旬倫敦開催ノ理事会ニ出席方 指示ノ件……………一二七
二	六六	四月八日	三三二	在英國珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	外相及大使會議ニ於テ我方ノ土耳其 海峡委員會参加ヲ決定ノ件……………八二
七	五二三	四月八日	一六七	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛（電報）	日本ノ旧独領太平洋諸島要塞化ニ関 スル米國海軍卿ノ陳述ニ対シ抗議方 訓令ノ件……………六六一
一〇	六七五	四月九日	二九八	内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛（電報）	山東鉄道中ニ個人利益アル場合ノ措 置ニ関シ回訓ノ件……………八六五
一一	七六四	四月九日		閣議決定	國際財政會議ヘノ日本政府参加ニ関 スル件……………九八八
一一	七六五	四月九日	一五六	内田外務大臣ヨリ 在英國珍田大使宛（電報）	國際財政會議参加ニ我方異議無ク代 表者ハ在欧中ノ者ヨリ選定ノ旨ナル 旨先方ニ通知方回訓ノ件……………九八九
一	二二	四月十日	一八三	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	米國下院ニ於テ米独開戦終止ノ合 同決議案通過ノ件……………二八
七	五二四	四月十日	三三四	在英國珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	C式委任統治問題ニ関シ仏國斡旋案 ニ同意シ得ザル旨カイゾン外相ヨリ 回答越ノ件……………六六一
七	五二五	四月十日	三三五	在英國珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	C式委任統治問題ニ関スル英國政府 回答ヲカンボン大使ニ通報ノ件……………六六二
七	五二六	四月十日	四七	在瑞西國天羽臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	日本ノ南洋諸島軍備計畫ニ関スル米 國側報道ニ付瑞西新聞論評ノ件……………六六二
一二	八一六	四月十日	三三八	在英國珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	和蘭ノ前独帝滯在地決定ニ対スル英 仏伊日四國ノ申入ニ関スル三月二十 六日ノ外相大使會議ノ協議ニ付報告 ノ件……………一〇五七
一三	八三〇	四月十日	六四九	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	仏軍ノフランクフルト占領ニ関シ在 仏國米伊白英各國大使トノ会谈報告 ノ件……………一〇七七
三	一一〇	四月十二日	六五九	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	第四回聯盟理事会ニ於テ土耳其少数 民族保護及アルメニア保護問題ニ関 スル事務総長報告ノ件……………一二七
一三	八三一	四月十二日	四八	在瑞西國天羽臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	仏國ノルール出兵ニ関スルウィーン 來電及日本ノ態度ニ関スル瑞西新聞 報道ニ付報告ノ件……………一〇七九
三	一一一	四月十三日	六六〇	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	第四回理事会ニ於ケルアルメニア保 護ダンチック問題俘虜送還ニ関スル 議事報告ノ件……………一二九
三	一二二	四月十三日	六六一	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	土耳其少数民族民族保護問題討議ノ件……………一三一
三	一一三	四月十三日	六六二	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	アルメニア保護及土耳其少数民族保 護問題ノ審議統報ノ件……………一三三
三	一一四	四月十三日	六六三	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	第四回聯盟理事会ハ四月十一日午後 各報告ヲ承認決議ノ上終了ノ件……………一三四
二	六七	四月十四日	一六〇	内田外務大臣ヨリ 在英國珍田大使宛（電報）	対土条約經濟条項第一条末段ノ削 除部分ニ付問合ノ件……………八四
七	五二七	四月十四日		閣議打合	南洋群島ノ統治ニ関スル件……………六六三

一一 七六六 四月十五日 三六二 在英国珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一三 八三二 四月十五日 六七六 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

五 二二九 四月十六日 一八 在白人安達公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

七 五二八 四月十六日 六八一 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一五 九四九 四月十六日 一六〇 在蒲潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

二 六八 四月十七日 三五七 在英国珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一五 九五〇 四月十七日 一六二 在蒲潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一四 八三八 四月十八日 三五二 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

七 五二九 四月十九日 一六七 内田外務大臣ヨリ
在英国珍田大使宛(電報)

七 五三〇 四月二十一日 三五六 在英国珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一五 九五一 四月二十一日 一七二 在蒲潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

二 六九 四月二十三日 一七三 内田外務大臣ヨリ
在英国珍田大使宛(電報)

九 六三四 四月二十三日 七二三 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一〇 六七六 四月二十三日 七二三 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

六 二八三 四月二十四日 一七七 内田外務大臣ヨリ
在英国珍田大使宛(電報)

七 五三一 四月二十四日 一〇 在仏国松井大使(サン、レモ
出張中)ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一五 九五二 四月二十五日 二三六 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)

五 二三〇 四月二十七日 二〇 在白人安達公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

国際財政會議ノ正式招請状ヲ受領ノ
件……………九九〇

仏軍ノフランクフルト等占領ニ関シ
仏国高級將校ノ懷抱スル對独政策ナ
ルモノニ付ウオルフ通信社ノ報道出
淵駐独代理大使ヨリ報告ノ件……………一〇八〇

国際司法裁判所ニ對スル五大國ノ永
久代表權確保問題及同裁判所ノ權限
問題ニ付請訓ノ件……………三二三

C式委任統治ニ関スル仏国韓旋案ニ
對スル英國政府回答ニ付パレオロー
グ氏ト会谈ノ件……………六六四

鐵道委員會ニ於テ東支鐵道經濟援助
ニ関スル中国代表ノ發言並烏蘇里鉄
道運行復旧ニ関スル露國側ノ聯合會
議決議ニ付報告ノ件……………一一七八

對土條約經濟條項第一条案中ノ領事
裁判權ニ関スル削除部分ニ付回報ノ
件……………八四

ウスリ―鐵道運行復旧ニ関シ鐵道委
員會審議狀況報告ノ件……………一一七九

日英同盟改訂ノ際条文中中国領土保
全ト云フガ如キ文句ヲ除去スル様中
國側希望ノ件……………一〇八六

英國ガフロマジヨ案ニ同意セザル今
日我当初ノ方針ニ依リ交渉ヲ進メラ
ル様訓令ノ件……………六六五

C式委任統治問題ガサン、レモ會議
ノ議ニ上ル模様ナリヤ松井大使へ問
合ノ件……………六六五

東支鐵道ニ於ケル日本軍ノ行動ヲ非
難スル決議案ニ関シ鐵道委員會審議
ノ件……………一一七九

對土條約案ニ関シ領事裁判權ノ制限
事項ノ復活ニハ極力反對方訓令ノ件
……………八五

國際聯盟常設軍事諮問委員會ノ執掌
事項及組織ニ関シ報告ノ件……………七九四

山東鐵道及鉅山ニ對スル對独條約第
二六〇條ノ適用問題ニ関シ予メ独逸
ト交渉ヲ遂ゲ置ク必要アル旨稟申ノ
件……………八六六

國際通信會議予備會議参加ニ関スル
英國政府其後ノ意向探索方指令ノ件
……………四一三

C式委任統治問題ハサン、レモ會議
上程ノ可能性ニ乏シキ件……………六六六

東支鐵道回收ニ関スル中国側ノ動向
ニ付仏國側ノ意向ヲ内探スル様訓電
ノ件……………一一八〇

國際司法裁判所構成問題ニ関シ蘭國
ローデル博士來訪会谈ニ付報告及請
訓ノ件……………三二三

六 二八四 四月二十七日 七三七 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

ヤップ島海底電線ニ対スル和蘭ノ特殊利益ニ関シ同国政府ノ覺書要領報告ノ件……………四一四

一五 九五三 四月二十七日 閣議決定

ウスリー鉄道ノ運行ヲ日本軍ニ依リ実施ノ件……………一一八一

一〇 六七七 四月二十九日 三五八 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛（電報）

対独条約第二六〇条ノ適用ニ関シ津浦鉄道北段及湖広鉄道ニ対スル独逸人ノ權利利益ノ取扱方ニ付訓令ノ件……………八六七

一〇 六七八 四月二十九日 三五九 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛（電報）

対独条約第二六〇条ノ適用ニ関シ中国改革借款及一八九〇年代ノ英独公債ノ独逸側持分ノ措置ニ付訓令ノ件……………八六八

五 月

一 二三 五月一日 二二三 在米国幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

米国上院委員会ニ於テ米独間及米埃洪国間ノ戦争終止ニ関スル合同決議案通過ノ件……………二八

九 六三五 五月一日 三六四 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛（電報）

常設軍事諮問委員会ノ組織ニ関スル我國政府ノ意見ヲ電報シ適宜措置方訓令ノ件……………七九五

六 二八五 五月二日 七七二 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

海底電線問題ニ関シ主要聯合國間ニ話經マル前ニ賠償委員会ガ之ニ干与スルノ不当ナルヲ英國側ニ指摘シ其善処ヲ求メタル件……………四一五

九 六三六 五月三日 和一合送
五二四 壇原外務次官ヨリ
陸軍海軍農商務通信各次官及軍需局長各宛
軍備制限問題等ニ関スル關係各省協議會開催ノ件……………七九五

附記 國際聯盟軍備問題調査委員會議事録（第三回）……………七九六

一四 八三九 五月三日 機密四八 在天津船津總領事ヨリ
内田外務大臣宛
天津英國商業會議所ノ日英同盟廢棄運動ニ関スル件……………一〇八六

附屬書 一 天津英國商業會議所評議員ノ日英同盟廢棄請願ニ関スル會員宛回章写……………一〇八七
二 右請願書草案写……………一〇八八

一五 九五四 五月三日 陸軍省ヨリ
外務省宛
シベリア及東支鉄道ノ監督案竝張巡閱使ヨリノ借款申込等ニ関スル件……………一一八一

六 二八六 五月四日 四〇一 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
國際通信予備會議ニ付英國政府ノ意向報告ノ件……………四一六

六 二八七 五月四日 機密公九 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛
國際通信會議ニ関スル英國外務省來翰等差進ノ件……………四一六

附屬書 四月二十日附英國外務大臣代理ヨリ在英國珍田大使宛來翰写……………四一六

一〇 六七九 五月六日 三八七 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛（電報）
山東鐵道及鉅山ノ公私有認定問題ニ関シ回訓ノ件……………八七〇

附記 大正八年六月二十四日在仏国松井大使宛内田外務大臣宛電報講第一四三九号及別電講第一四四〇号……………八七一

一〇 六八〇 五月七日 閣議決定
對独平和条約ニ基ク損害申告方ニ関スル閣議案ノ件……………八七二

附屬書 外務省令案
附記 閣議案説明書

八七二
八七二

一五 九五五 五月七日

閣議決定

東支鉄道及シベリア鉄道管理善後ニ
関スル閣議案……………一一八二

一五 九五六 五月八日

軍政送
三四

在浦潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛

ウスリー鉄道業務引渡協定送附ノ
件……………一一八三

附屬書 右協定写

一一八四

六 二八八 五月九日

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

海底電線問題ニ関シ英国賠償委員ノ
談話及仏国側外務省係員ノ内話報告……………四一八

六 二八九 五月九日

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

海底電線問題ニ関スル仏国政府ノ態
度ニ付同国外務当局ノ内話報告ノ件……………四一九

一五 九五七 五月九日

在ハルビン松島總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

鉄道従業員同盟会ノ日本軍輸送拒絶
決議ニ関スル件……………一一八五

三 一一五 五月十一日

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

聯盟理事會專任理事及在伊國本邦大
使任命方ニ関シ意見具申ノ件……………一三四

一〇 六八一 五月十一日

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

津浦鉄道北段湖広鉄道ニ対シ独逸人
ノ有スル權利内容及津浦鉄道北段ニ
関スル日英間ノ了解ニ付問合ノ件……………八七三

別電 五月十二日松井大使発内田外務大臣宛電報第八二三号

對独条約第二六〇条ノ適用ニ関スル賠償委員会ヨリノ来翰……………八七四

原文

一四 八四〇 五月十一日

在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日英同盟更新問題ニ関シ新聞掲載ノ
倫敦電報及一親日印度人ノ来談報告……………一〇九〇

二 七〇 五月十二日

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

講和會議議長土耳其全權委員ニ平和
条約案交付ノ件……………八五

一〇 六八二 五月十二日

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

中国ニ於ケル独逸側ノ權利ニ関シ森
財務官ニ於テ英国側ノ意向ヲ尋スル
様電報ノ件……………八七六

一〇 六八三 五月十二日

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

對独条約財政条項ノ解釈及施行ニ関
シ賠償委員会ヘノ委任ノ可否ニ付請
訓ノ件……………八七七

一〇 六八四 五月十二日

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

賠償委員会ニ於ケル對独条約第二六
〇条問題討論ノ経過報告ノ件……………八七八

七 五三二 五月十三日

在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

C式委任統治問題ノ早期解決ヲ希望
スル旨濠洲藏相倫敦ニ於テ新聞記者
ニ談話ノ件……………六六六

六 二九〇 五月十四日

通二機合
在暹原外務次官ヨリ
泰通信、山梨陸軍、栃内海軍
各次官宛

國際通信會議開催ニ関スル米國政府
提議ニ對スル回答振ニ付意見回示方
依頼ノ件……………四一九

附屬書 國際通信會議開催問題ニ関スル請議案

四一九

一 二四 五月十五日

在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

上院委員會通過ノ戰爭終止合同決議
案ハ上院本會議ニ於テ修正ノ上通過
ノ件……………二一九

六 二九一 五月十五日

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ヤップ島關係海底電線ニ對スル和蘭
國ノ要求等ニ関スル件……………四二〇

一二 八一七 五月十五日

在蘭國落合公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

前独帝ユトレヒト州ドールンニ移転
ノ件……………一〇五七

一〇 六八五 五月十六日 八四九 在仏国松井大使ヨリ 米国委員提出覚書ノ在中国独逸權利利益問題ニ関スル賠償委員会法律部意見書要領報告ノ件……………八七九

三 一一六 五月十七日 四七 在伊国堀田臨時代理大使ヨリ 第五回理事會ニ於テ第一回聯盟總會招集シベリア俘虜送還其他ノ諸問題ヲ討議シタル件……………一三六

六 二九二 五月十七日 二一九 在米国外務大臣宛(電報) 國際通信會議ノ予備會議ニ米国政府提出ノ意稠アル事項探索方指令ノ件……………四二一

一〇 六八六 五月十七日 四四三 在英國珍田大使ヨリ 英仏両国首相独逸ノ賠償問題等ニ付協議ノ上コミユニケ發表ノ件……………八八三

三 一一七 五月十八日 四八 在伊国堀田臨時代理大使ヨリ 条約ノ登録及公表並ルクサンブルノ聯盟加入要求アルメニア委任統治國際統計局設置公法家會議等ノ問題ニ関スル件……………一四〇

三 一一八 五月十八日 四九 在伊国堀田臨時代理大使ヨリ 遺露視察團理事會議事手續其他ニ関シ報告及決議ノ件……………一四三

別電 同日堀田臨時代理大使宛電報第五〇号 五月七日ソヴィエット中央執行委員會ノ採択セル決議……………一四四

五 二三一 五月十八日 一一 在米国外務大臣宛(電報) 國際司法裁判所ニ対スル五大國ノ永久代表權確保問題及同裁判所ノ權限問題等ニ関シ回訓ノ件……………三二四

別電 同日内田外務大臣宛電報第一二二号 國際司法裁判所組織ニ関スル日本政府ノ考察……………三二五

五 二三二 五月十八日 一三 在米国外務大臣ヨリ 國際司法裁判所ノ組織ニ関スル我考案ニ付理由説示ノ件……………三二六

一〇 六八七 五月十八日 八五六 在仏国松井大使ヨリ 賠償問題等ニ関スル英仏首相ノフオリクストン會議ニ付巴里ニ於テ發表セラレタル情報報告ノ件……………八八三

一〇 六八八 五月十八日 八五七 在仏国松井大使ヨリ 英仏首相ノフオリクストン會議ノ結果ニ付發表セラレタル共同宣言書報告ノ件……………八八六

一四 八四一 五月十八日 八五 在天津船津總領事ヨリ 天津英國商業會議所ノ日英同盟廢棄運動ノ其後ノ成行ニ関スル件……………一〇九二

一四 八四二 五月十八日 四四九 在英國珍田大使ヨリ 日英同盟改締ニ関シ調印前協約案ノ内示ヲ得度旨ワット濱洲蔵相英國政府ニ対シ希望ノ件……………一〇九二

三 一一九 五月十九日 五一 在伊国堀田臨時代理大使ヨリ 國際統計委員會ザール地方住民ノ請願ソヴィエット政府宛回答案等審議ノ件……………一四七

一〇 六八九 五月十九日 四五〇 在英國珍田大使ヨリ 中国ニ於ケル独逸側ノ權利ニ関スル英國側ノ意向ヲ森財務官ヨリ松井大使ヘ回報ノ件……………八八六

一四 八四三 五月十九日 四五一 在英國珍田大使ヨリ 日英同盟更新ノ要アリト英國極東部長吉田書記官ニ内話ノ件……………一〇九二

三 一二〇 五月二十日 五二 在伊国堀田臨時代理大使ヨリ 露国実情調査委員派遣問題ニ関スル件……………一四九

別電 同日堀田臨時代理大使宛内田外務大臣宛電報第五八号 蘇聯政府宛回答確定案……………一四九

三 一二一 五月二十日 五三 在伊国堀田臨時代理大使ヨリ 理事會議事規則國際財政會議常設軍事委員會等ノ問題討議ノ件……………一五〇

三	一二二	五月二十日	五五	在伊國堀田臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	各代表者ノ報告書朗読及理事会承認ノ件	一五三
三	一二三	五月二十日	五六	在伊國堀田臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	次回理事会開催ノ場所期日議題ニ関シ打合ノ件	一五四
九	六三七	五月二十日	五四	在伊國堀田臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	仏国代表者ヨリ第五回聯盟理事会ニ提出セル常設軍事諮問委員会ノ組成案報告ノ件	七九八
一〇	六九〇	五月二十日	四五三	在英國珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	在中國獨逸權利利益問題ニ対スル賠償委員會法律部意見ニ関シ森財務官ヨリ所見電報ノ件	八八七
一五	九五八	五月二十日	二三三	在蒲潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	チェック軍ノ輸送料金ヲ東支鉄道請求ノ件	一一八六
六	二九三	五月二十二日	二六二	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	米國政府ニ於テハ國際通信會議ノ予備會議ニ関スル具體的提案未決定ノ旨報告ノ件	四二二
一〇	六九一	五月二十二日	四五九	在英國珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	對独条約賠償条項第一附屬書第五及第七ノ我方要求額回示方稟請ノ件	八八八
一四	八四四	五月二十二日	二二九	内田外務大臣ヨリ 在英國珍田大使宛(電報)	日英同盟更新ニ関シ在本邦英國大使ヲ以テ回答セル旨通報ノ件	一〇九三

別電 五月二十二日内田外務大臣發在英國珍田大使宛電報第三三〇号

〇号

右回答書翰

一四	八四五	五月二十二日	二三五	在蒲潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日英同盟更新ニ関シ英國側ハ未ダ條約草案ヲ作成スル段階ニ在ラザル旨	一〇九五
----	-----	--------	-----	----------------------------	----------------------------------	------

約草案ヲ作成スル段階ニ在ラザル旨
回答ノ件

一五	九五九	五月二十二日	二二五	在蒲潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本側ハ米國鉄道従業員ノシベリア殘留ヲ希望スルヤト米國領事ヨリ問合アリタル件	一一八六
----	-----	--------	-----	----------------------------	--	------

一〇	六九二	五月二十三日	八八	在獨國出淵臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	スパイ會議ノ開催延期方ヲ白仏英伊ノ四國政府ヨリ独逸政府ヘ申入ノ件	八八八
一四	八四六	五月二十三日	二二三	内田外務大臣ヨリ 在英國珍田大使宛(電報)	英國ハ日英同盟更新ニ付考究シ且關係ノ向ト協議スル為時日ヲ要スベシトノコトニ付本問題ノ開談ハ見合セラレ度件	一〇九五

二	七一	五月二十四日	四三四	内田外務大臣ヨリ 在仏國松井大使宛(電報)	土耳其海峽管理委員會議長ニ関スル条項ノ削除セラレタル事情問合セノ件	八六
---	----	--------	-----	--------------------------	-----------------------------------	----

三	一二四	五月二十五日	八八九	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	波蘭チブス予防聯盟事務局員任命聯盟ノ予算等ニ関スル件	一五五
---	-----	--------	-----	--------------------------	----------------------------	-----

六	二九四	五月二十五日	七五八	在本邦蘭國公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	國際通信會議及同予備會議ニ対スル日本政府ノ態度ニ関シ問合ノ件	四二二
---	-----	--------	-----	--------------------------	--------------------------------	-----

一〇	六九三	五月二十五日	八九	在獨國出淵臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	独逸政府スパイ會議延期ニ同意ノ件	八八九
----	-----	--------	----	------------------------------	------------------	-----

三	一二五	五月二十六日	九〇一	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	第五回聯盟理事会ノ印象報告ノ件	一五八
---	-----	--------	-----	--------------------------	-----------------	-----

二	七二	五月二十七日	九〇三	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	海峽管理委員會議長問題ニ関シ回報ノ件	八六
---	----	--------	-----	--------------------------	--------------------	----

別電 同日在仏國松井大使發内田外務大臣宛電報第九〇四号

對土条約第三編附屬一ノ全文

……八六

二	七三	五月二十七日	四七〇	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	海峽管理委員會議長問題ニ関シ回答 ノ件……………八七
一四	八四七	五月二十七日	四六七	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日英同盟改訂問題ニ関シ国際聯盟ト ノ關係等ニ付英國外務省極東部長ノ…一〇九六 談話報告ノ件
一五	九六〇	五月二十七日	一〇五	内田外務大臣ヨリ 在浦潮松平政務部長宛(電報)	シベリア鐵道管理ニ関スル帝國政府 ノ態度ヲ言明スルコトハ差控フル様 回訓ノ件……………一一八七
一	二五	五月二十八日	二七三	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	米國大統領議會ノ平和決議案ヲ否認 シ其理由説明ノ教書ト共ニ下院ニ回 附ノ件……………二九
一〇	六九四	五月二十八日	四四四	内田外務大臣ヨリ 在仏國松井大使宛(電報)	賠償總額ノ英仏其他同盟及聯合國ヘ ノ分配ニ関シ問合ノ件……………八八九
一四	八四八	五月二十八日	四八一	在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日英兩國間ニ同盟改訂商議進行中ト ノ中國外字新聞ノ報道ニ鑑ミ其真相…一〇九八 回示方稟請ノ件
六	二九五	五月二十九日	四七二	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	英國ハ國際通信會議ノ予備會議ニ代 表者派遣方ニ関シ米國ニ諸意ヲ表明…四二三 ノ件
一〇	六九五	五月三十一日	九二五	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	独逸賠償金ノ分配問題ニ関シ仏國外 相ノ説明新聞ノ報道等回報ノ件……………八八九
一〇	六九六	五月三十一日	九二六	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	賠償金分配ニ関スルF・P・S 記事 ノ出処確メ方在大使ニ依頼シタル…八九〇 ノ件

六 月

二	七四	六月一日	九二八	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	対土平和条約締約國中ニ加ハリ度旨 ノ中國側要求ニ関シ起草委員會ハ反 對ノ件……………八七
一〇	六九七	六月一日	四八四	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	対独共同申入ノ際日本ノ参加ヲ求メ ザリシ事情ニ付カイゾン外相ノ説明…八九一 報告ノ件
一〇	六九八	六月一日	四八五	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	スパイ會議ノ延期問題及日本ノ同會 議予備會議参加ニ付カイゾン外相ノ…八九二 談話報告ノ件
六	二九六	六月四日	通二送二 八	内田外務大臣ヨリ 在本邦蘭國公使宛	國際通信會議予備會議ニ代表者派遣 決定及本會議参加未決定ノ旨回答ノ…四二四 件
一〇	六九九	六月四日	六八	在伊國堀田臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	対独共同通告ニ関スル日本除外問題 ニ付伊國外務次官釈明ノ件……………八九二
一四	八四九	六月四日	二八三	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日英同盟繼續ニ関シ意見稟申ノ件…一〇九八
一五	九六一	六月四日	二四九	在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	東支鐵道及シベリア鐵道管理ニ関ス ル取極ノ存続問題ニ付回電ノ件…一一八七
一五	九六二	六月四日	機密 二二九	在中國小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛	東支鐵道地帯内日本軍隊ノ行動ニ対 スル中國政府ノ抗議ニ関スル件…一一八八

附屬書 右中國政府ノ覚書和解文………

一一八九

二	七五	六月五日	九五五	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	同盟及聯合國ト洪牙利國トノ平和条 約調印ノ件……………八八
五	二三三	六月五日	九五六	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	常設國際司法裁判所構成委員會開催 地問題及判事選任方法ニ関スル我主 張ノ成功望薄ニ付安達公使報告ノ件 ノ旨通報ニ感謝ノ件……………三二八
六	二九七	六月七日	八四六	在本邦蘭国公使ヨリ 内田外務大臣宛	國際通信予備會議ニ代表者派遣決定 ノ旨通報ニ感謝ノ件……………四二五
一〇	七〇〇	六月七日	二六〇	内田外務大臣ヨリ 在英国珍田大使宛（電報）	対独条約賠償条項第一附屬書第五及 第七ノ我方要求額回示ノ件……………八九三
一四	八五〇	六月七日	五一〇	在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	中国外交部ハ路透ニ対シ日英同盟ニ 関スル声明書ヲ交布セル件……………一一〇〇
六	二九八	六月八日	一一六	戸刈在仏国日本大使館附武官 ヨリ 海軍次官、安保軍令部次 長宛（電報）	ヤップ島海底電線ノ処分ニ関シ英国 代表ノ意見報告ノ件……………四二五
一四	八五一	六月九日	二六四	内田外務大臣ヨリ 在英国珍田大使宛（電報）	日英同盟継続ノ場合ニハ聯盟規約ト 矛盾セザル形式ニ於テスベキ旨ヲ聯 盟ニ通告スルコトトシ度趣在本邦英 国大使申出ノ件……………一一〇〇
別電 同日内田外務大臣發在英国珍田大使宛電報第二六五号 日英兩國政府ヨリ國際聯盟盟通告文案……………一一〇一					東支鐵道沿線ニ駐在ノ日本憲兵ヲ至 急撤退方外交部ヨリ申越ニ付回答振 請訓ノ件……………一一九一
一五	九六三	六月九日	五二三	在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	賠償委員會出席權、議事録配布問題 及財政条項委任等ニ関スル件……………八九五
一〇	七〇一	六月十日	九八四	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	対土条約案ニ対スル回答期限延期承 認ニ関シ大使會議議長ニ質問シタル 件……………八九
二	七六	六月十一日	九九二	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	日英同盟継続ノ場合中国主權侵害ノ 取極ハ総テ否認スベシトノ建議案參 議院ニ提出ノ件……………一一〇二
一四	八五二	六月十一日	五二八	在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	日英同盟ニ関スル英国首相ノ下院ニ 於ケル答弁報告ノ件……………一一〇二
一四	八五三	六月十一日	五〇四	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	天津英國商業會議所ノ日英同盟廢棄 運動ニ関スル件……………一一〇二
一四	八五四	六月十一日	九八	在天津船津總領事ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	波蘭チブス予防救援金ニ関スル英 国理事ノ聯盟事務總長宛申出ニ付請 訓ノ件……………一五九
三	一二六	六月十二日	五〇八	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	對土条約実施ニ伴フ海峽委員會等ニ 対スル本邦委員及各国代表者ト接触 ヲ保チ得ル我代表者ノ派遣ニ関シ準 備ノ必要アル旨稟申ノ件……………八九
附記 六月十二日珍田大使發内田外務大臣宛電報第五〇九号ノ仮 訳文……………一五九					委員會議長選舉開會式举行及判事選 任方法ニ関シ安達公使ヨリ報告並請 訓ノ件……………三三〇
五	二三四	六月十六日	一〇〇	在蘭国落合公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	中国ガ対土平和条約ニ調印セザル理 由ニ付報告ノ件……………九〇
二	七八	六月十七日	五五二	在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	第六回聯盟理事會ニ於テ波斯俘虜送 還テツシメン等ノ問題討議ノ件……………一六〇
三	一二七	六月十七日	五二〇	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	

三 一二八 六月十七日 五二二 在英國珍田大使ヨリ 波斯ノ申出遺露委員國際法學者會議……一六四
内田外務大臣宛(電報) 俘虜送還ノ四案件討議ノ件

別電一 同日在英國珍田大使宛内田外務大臣宛電報第五二三号 ……一六六
波斯問題ニ関スル理事会決議文

二 同日在英國珍田大使宛内田外務大臣宛電報第五二三号 ……一六七
ナンセン博士報告要領

國際司法裁判所構成委員會第一回會議ニ於テデカン議長ヨリ判事選出方
議ニ関シ提案並五國永久代表説ニ関
シ安達公使我主張ヲ陳述ノ件 ……一三〇

五 二三五 六月十七日 在蘭國落合公使ヨリ 日英同盟更新ニ関スル國際聯盟宛通
内田外務大臣宛(電報) 告案文ガ本國ノ同意ヲ得タル旨通告 ……一〇三
ノ件

一四 八五五 六月十七日 在本邦英國大使ヨリ 日英同盟改訂ニ対スル中国ノ希望申
内田外務大臣宛 出ノ口上書ヲ外交部使者持參ノ件 ……一〇四

一四 八五六 六月十七日 在中国小幡公使ヨリ 日英同盟改訂ニ対スル中国ノ希望申
内田外務大臣宛(電報) 出ノ口上書ヲ外交部使者持參ノ件 ……一〇五

附記 六月十六日附中国外交部ヨリ在中國日本公使館宛右口上書 ……一〇五
写

一四 八五七 六月十七日 五二七 在英國珍田大使ヨリ 日英同盟改訂ニ関スル國際聯盟宛通
内田外務大臣宛(電報) 告案ニ付日本政府ヨリ珍田大使ニ必
要ノ訓令ヲ発スル様英國外務省ヨリ
要請越ノ件 ……一〇六

一四 八五八 六月十七日 支四六一 東在中國日本公使館附陸軍武
官ヨリ 日英同盟更新ニ関スル在英中国公使
上原參謀總長宛(電報) ノ外交部ヘノ電報ニ付報告ノ件 ……一〇六

五 二二六 六月十八日 一〇四 在蘭國落合公使ヨリ 第二回委員會ニ於テ判事選任問題討
内田外務大臣宛(電報) 議及我主張容レラザル場合ニ於ケ ……三三一
ル措置ニ付再請訓ノ件

九 六三八 六月十八日 機密公 常設軍事諮問委員會委員任命方ニ関
一三 内田外務大臣宛 翰転送ノ件 ……八〇一

一〇 七〇二 六月十八日 五二六 在英國珍田大使ヨリ 獨逸ノ賠償總額及各國分配率等ノ問
内田外務大臣宛(電報) 題ヲ議スベキスパー最高會議ニ処ス
ベキ方針回示方稟請ノ件 ……八九六

一〇 七〇三 六月十八日 一〇二〇 在蘭國松井大使ヨリ 賠償委員會ガ山東鐵道及鉅山ニ関シ
内田外務大臣宛(電報) 獨逸國民ノ有スル利益ノ評價ヲ財政
部ニ担任セシムルコトヲ決議シタル
件 ……九〇〇

一四 八五九 六月十八日 内田外務大臣ヨリ 日英同盟協約更新ニ関スル國際聯盟
宛通告案文閣議上程ノ日取通報ノ件 ……一〇七

一四 八六〇 六月十八日 三三六 在蘭國小幡公使ヨリ 日英同盟改訂ニ関スル在本邦英國大
使トノ予備的交渉概要内報ノ件 ……一〇七

一五 九六四 六月十八日 二八〇 内田外務大臣ヨリ 東支鐵道ヲ对中国新借款團事業ノ範
内田外務大臣宛(電報) 囲内ニ置ク案ニ付英國大使來談ノ件 ……一九一

附記 東支鐵道ニ対スル我措置案私見 ……一九二

五 二二七 六月十九日 一〇五 在蘭國落合公使ヨリ 第三回委員會ニ於テ五大国永久代表
内田外務大臣宛(電報) 権問題討議ノ件 ……三三二

九 六三九 六月十九日 五〇四 内田外務大臣ヨリ 理事會ガ軍事諮問委員會ニ対シ二個
在蘭國松井大使宛(電報) ノ特定問題審議方訓令セル旨ノ報道 ……八〇六
ニ付問合ノ件

五 二三八 六月二十日 一〇六 在蘭國落合公使ヨリ 常設國際司法裁判所判事選任方法ニ
内田外務大臣宛(電報) 関スル米國案ニ付請訓ノ件 ……三三三

七	五三三	六 月二十一日	二八三	内田外務大臣ヨリ 在英国珍田大使宛（電報）	C式委任統治問題ニ関スル英政府ト ノ交渉経過問合ノ件……………六六七
三	一二九	六 月二十二日		閣議決定	波蘭ニ於ケルチブス予防救援ノ為ノ 釀出金ニ関スル件……………一六八
五	二三九	六 月二十二日	一〇七	在蘭国落合公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	判事選任問題ニ関シ英国委員ヨリル Iト案ヲ基礎トセル仮案提出ノ件……………三三三
九	六四〇	六 月二十二日	五二	在本邦西班牙国公使ヨリ 内田外務大臣宛	常設軍事諮問委員会ニ対シ日本政府 ガ指名セントスル代表者ニ関シ問合 ノ件……………八〇六
一四	八六一	六 月二十二日		閣議決定	日英同盟協約改訂ニ関シ日英兩國ヨ リ国際聯盟ニ送致スル共同通告案ノ……一〇八 件
二	七九	六 月二十三日	一〇三二	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	中国政府ハ対土条約ノ調印国トナル ノ希望ヲ放棄セル旨顧維鈞ヨリ會議 議長ニ通告ノ件……………九一
三	一三〇	六 月二十三日	二八六	内田外務大臣ヨリ 在英国珍田大使宛（電報）	波蘭チブス予防救援釀金問題ニ関シ 回訓ノ件……………一六九
九	六四一	六 月二十三日	一〇三七	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	理事会ノ軍事諮問委員会ニ対スル二 訓令等ニ付回電ノ件……………八〇七
一〇	七〇四	六 月二十三日	五三九	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	賠償割当協議員會議及スパイ會議ニ 関シ必要ニ付我出征兵員及死傷者数 等回示方稟請ノ件……………九〇〇
一四	八六二	六 月二十三日	二八四	内田外務大臣ヨリ 在英国珍田大使宛（電報）	日英同盟改訂ニ関スル国際聯盟宛日 英共同通告案中一部字句修正等ニ付 英国政府ト話合ノ上通告取計方訓令 ノ件……………一一〇九

一〇	七〇五	六 月二十四日	五一〇	内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛（電報）	山東鐵道及鉅山ニ付独逸国民ノ有ス ル利益ノ評價ニ関スル賠償委員会ノ 決議取消方訓令ノ件……………九〇一
一〇	七〇六	六 月二十四日	五四七	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	賠償委員会ガ財政部ノ任務中ニ山東 鐵道及鉅山ノ評價ヲ掲ゲタルニ対ス ル措置ニ付請訓ノ件……………九〇一
一〇	七〇七	六 月二十四日	五四八	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	独逸賠償ノ聯合國間分配率ヲ協定ス ベキ協議員會議ニ於テ我方ノ執ルベ キ態度ニ付請訓ノ件……………九〇三
一四	八六三	六 月二十四日	五五〇	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	英国有力者ハ日英同盟継続ニ異存ナ キコト及在中國英国人ノ排日動向ニ 関シ英国政治情報部員ノ吉田書記官 ヘノ内話報告ノ件……………一一〇九
五	二四〇	六 月二十五日	一一一	在蘭国落合公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	常設国際司法裁判所ニ関シ判事選任 問題以外ノ諸問題ニ付公法家會議ニ 於テ行ハレタル討議ノ模様安達公使 ヨリ報告ノ件……………三三四
一〇	七〇八	六 月二十五日	和一機送 三〇七	植原臨時平和事務局長ヨリ 山梨陸軍、栃内海軍、田中農 商務、神野大蔵、泰通信各次 官宛	対独平和条約ニ基ク損害賠償ニ関ス ル件……………九〇五

附屬書 珍田大使來電ニ対スル回電案……………九〇六

一四	八六四	六 月二十五日	五五五	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	日英同盟改訂ニ関スル国際聯盟宛通 告文案修正ニ付カイゾン外相ト協議 ノ結果報告ノ件……………一一一〇
七	五三四	六 月二十六日	五五七	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	C式委任統治問題ニ関シ其後ノカイ ゾン外相トノ交渉経過報告ノ件……………六六七

別 電 一 同日在英国珍田大使宛内田外務大臣宛電報第五五八号

右ニ関スル英国側申越及我方回答

六六八

二 同右電報第五五九号

我方ノ妥協案

六六九

一〇 七〇九 六月二十六日

官房秘内
六三

神野大藏次官ヨリ
植原外務次官宛

対独平和条約ニ基ク損害賠償ニ関シ
大藏省意見回示ノ件

九〇七

附屬書 右大藏省意見

九〇八

附 記 珍田大使宛回電案ニ対スル通信省意見

九〇九

一〇 七一〇 六月二十六日

五一七

内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報)

賠償制当協議員會議等ニ関連シ我出
征兵員及死傷者数回電ノ件

九〇九

附 記 六月二十九日内田外務大臣松井大使宛電報第五二五号

九一〇

五 二四一 六月二十七日

三一

内田外務大臣ヨリ
在蘭国落合公使宛(電報)

判事選任問題ニ関スル本邦側ノ方針
回訓ノ件

三三五

別 電 同日内田外務大臣松井大使宛電報第三二号

判事選任問題ニ関スル本邦案

三三五

五 二四二 六月二十七日

一二二

在蘭国落合公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

第九回公法家會議ニ於テ裁判所ハ当
事国一方ノミノ出訴ニ依リ係争事件
ヲ受理裁判シ得ルヤノ問題討議ノ件

三三六

六 二九九 六月二十八日

閣議決定

國際通信會議予備會議ニ参列ノ日本
委員ニ対スル訓令ニ付討議ノ件

四二六

七 五三五 六月二十八日

五六一

在英国珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

C式委任統治問題ニ関シ英外相ニ提
示ノ我方妥協案ハ西南阿弗利加ニモ
適用アルニ付説明ノ件

六六九

一四 八六五 六月二十八日

六〇一

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日英同盟更新ニ関シ震ニ路透ガ公表
シタル外交部声明ヲ取消ノ件

一一一

一四 八六六 六月二十八日

六〇七

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日英同盟更新ニ関スル中国政府公表
文取消ノ内情ニ関スル路透社員ノ談
話報告ノ件

一一二

一〇 七一一 六月二十九日

五二二

内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報)

独逸ノ賠償總額及各国分配率決定等
ノ問題ニ関シ日本政府ノ方針回示ノ
件

九一〇

別 電 一 六月二十九日内田外務大臣松井大使宛電報第

五二二号

九二三

独逸賠償ノ本邦要求額

二 同右電報第五二三号

九一五

本邦ノ受領スベキ現物ノ評価

一〇 七一二 六月二十九日

一〇六五

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

賠償聯合國間配分協議委員會ニ於ケ
ル交渉ノ趨向ニ対処スベキ本邦側ノ
措置ニ関スル件

九一六

一〇 七二三 六月二十九日

一〇六七

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

賠償總額ノ分配問題ニ関シ英仏兩國
ノ受領分確定セル旨ノ情報問合ニ対
シ回答ノ件

九二〇

五 二四三 六月三十日

一一三

在蘭国落合公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

裁判所ハ当事国一方ノミノ出訴ニ依
リ係争事件ヲ受理裁判スル權限ヲ有
スルヤノ問題ニ付討議続行ノ件

三三七

別 電 同日落合公使宛内田外務大臣宛電報第一一四号

ファイリモア案

三三八

六 三〇〇 六月三十日 通二機九

内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛

國際通信會議予備會議ニ関スル訓令
写送附ノ件

四二八

六	三〇一	六月三十日	一〇七三	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	旧独逸海底電線ノ帰属ニ付英仏兩國 政府ノ了解ヲ取付置クノ要アルベキ 旨意見具申ノ件……………四二八
七	五三六	六月三十日	三〇三	内田外務大臣ヨリ 在英国珍田大使宛(電報)	C式委任統治問題ニ関シ英外相ニ提 示ノ我妥協案中ノ字句修正方訓令ノ 件……………六七〇
七	五三七	六月三十日	五七〇	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	C式委任統治問題ニ関シ我方妥協案 ニ英国側反対ノ件……………六七〇
一〇	七二四	六月三十日	一〇七四	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	对独条約財政条項ノ解釈及実行ヲ賠 償委員会ニ委任ニ関シ我方申出ニ対 スル同委員会ノ決議報告ノ件……………九二一
一〇	七二五	六月三十日	一〇七六	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	賠償配分問題ニ関シ英国協議委員ト 会談ノ模様報告ノ件……………九二二
一〇	七二六	六月三十日	一〇七八	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本ノ損害計数ヲ賠償配分協議仏国 委員宛提出ノ件……………九二三
一〇	七二七	六月三十日	一〇七九	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	賠償配分協議英國委員ヨリ森委員ニ 我損害計数問質ノ件……………九二四
一四	八六七	六月三十日	六一六	在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	原首相ガ日英同盟ニ関スル商議進行 中ナリト述ベタル旨ノ新聞電報ニ付 問合ノ件……………一一二
五	二四四	七月一日	一一七	在蘭国落合公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	常設国際司法裁判所ノ権限案及構成 案ニ関スル件……………三三九

七月

別電 同日落合公使宛内田外務大臣宛電報第一一七号ノ別電(一)

右権限案

三四〇

二 同右電報第一一七号ノ別電(二)

右構成案ノ要領

三四一

一一	七六七	七月一日	五七六	在英国永井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	聯盟事務総長ヨリ国際財政會議開催 期日會議議事等ニ付通牒越セル旨報 告ノ件……………九九〇
一四	八六八	七月一日	五八二	在英国永井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日英同盟更新ニ関シ国際聯盟ニ七月 八日通告シ度旨極東部ヨリ申越ノ件 ……………一一二
一〇	七七八	七月二日	一〇八五	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	賠償配分協議委員会ノ協議進展セザ ル状況ニ関スル英国協議員ノ森ニ対 スル談話報告ノ件……………九二六
一四	八六九	七月二日	五八六	在英国永井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	英國政府ハ日英同盟更新ニ関スル共 同通告文ヲ国際聯盟ヘ發送ノ手続中 ナル旨報告ノ件……………一一三
一五	九六五	七月二日	政一機送 八八	内田外務大臣ヨリ 在中国小幡公使宛	東支鐵道ニ対スル中国側ノ出資ニ関 スル件……………一一九四
七	五三八	七月三日	五三四	内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛(電報)	C式委任統治様式ニ関スル我方主張 ノ根拠タル聯盟規約第二十二條第六 項ノ解釈ニ付珍田大使ヘ電報ノ件 ……………六七一
一〇	七一九	七月三日	特三	在英国珍田大使(武府出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ブラッセル最高會議ニ於テ仏英伊白 塞諸国ノ賠償分配率決定ノ件……………九二八
一四	八七〇	七月三日	三〇九	内田外務大臣ヨリ 在英国珍田大使宛(電報)	日英同盟更新問題ニ関スル英國首相 下院ニ於ケル答弁ニ付問合ノ件……………一一三

一四	八七一	七月三日	三二〇	内田外務大臣ヨリ 在英国珍田大使宛 (電報)	中国外交部ノ日英同盟ニ関スル声明 公表及取消ノ経緯通報ノ件	一一一四
五	二四五	七月四日	一二〇	在蘭国落合公使ヨリ 内田外務大臣宛 (電報)	常設国際司法裁判所ノ適用スベキ法 則並同裁判所ノ権限ニ関シ安達公使 報告及請訓ノ件	三四三

別電 同右電報第一二二号

裁判所ノ適用法則

三四三

一〇	七二〇	七月四日	特四	在英国珍田大使(武府出張中) ヨリ 内田外務大臣宛 (電報)	賠償分配率ニ関シ森委員、日本ニ四 分ノ三パーセント割当ニ異議ナキ旨 及保留現物価格特別取扱ノ承認ヲ得 度旨英例ニ回答ノ件	九二八
----	-----	------	----	--------------------------------------	---	-----

一〇	七二一	七月四日	特五	在英国珍田大使(武府出張中) ヨリ 内田外務大臣宛 (電報)	賠償分配当率問題ニ関シ英仏首相等 ノ所言報告ノ件	九三〇
----	-----	------	----	--------------------------------------	-----------------------------	-----

一四	八七二	七月四日	三二二	内田外務大臣ヨリ 在英国珍田大使宛 (電報)	英国大使ヨリ日英同盟更新ニ関スル 国際聯盟宛通告文案ノ修正通告ノ日 取及其発表ニ付内報アリタル件	三二二
----	-----	------	-----	---------------------------	--	-----

五	二四六	七月五日	一一三	在蘭国落合公使ヨリ 内田外務大臣宛 (電報)	判事選任問題ニ関シ討議ノ模様統報 並米英公法家提出ノ構成案ニ或種ノ 規定挿入ヲ以テ満足シ仮同意スベキ 旨安達公使稟申及請訓ノ件	三四四
---	-----	------	-----	---------------------------	--	-----

一四	八七三	七月五日	政一機送 二九	内田外務大臣ヨリ 在本邦英国大使宛	日英同盟更新ニ関スル国際聯盟宛共 同通告文案ノ修正ニ付テノ申越ニ対 シ回答ノ件	一一一四
----	-----	------	------------	----------------------	---	------

一四	八七四	七月五日	五八九	在英国永井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛 (電報)	日英同盟更新問題ニ関シ英国下院ニ 於テ為サレタル質問及首相答弁報告 ノ件	一一一五
----	-----	------	-----	-------------------------------	--	------

別電

七月五日在英国永井臨時代理大使宛内田外務大臣宛電報第
五九〇号

一一一五

英国下院ニ於ケル右質問及答弁

五	二四七	七月六日	一二四	在蘭国落合公使ヨリ 内田外務大臣宛 (電報)	判事選任問題ニ関シ我方ノ努力ニ拘 ラズ米英案其儘通過ノ旨安達公使報 告ノ件	三四五
---	-----	------	-----	---------------------------	---	-----

七	五三九	七月六日	特二一	在英国珍田大使 (スパ) 出張 中ヨリ 内田外務大臣宛 (電報)	C式委任統治問題ニ関シ英国外相ト 交渉シタルモ話合附カザルニ付請訓 ノ件	六七二
---	-----	------	-----	--	--	-----

別電

同日在英国珍田大使宛内田外務大臣宛電報特別第二二号
英国側ノ最終的議歩トシテ英国外相ノ提示セル案

六七四

一〇	七二二	七月七日	五四三	内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛 (電報)	賠償物件ニ関シ現金支払ハ不可能故 其措置振ニ付訓令ノ件	九三二
----	-----	------	-----	---------------------------	--------------------------------	-----

一四	八七五	七月七日	三八三	内田外務大臣ヨリ 在英国永井臨時代理大使宛 (電報)	日英同盟更新ニ関スル国際聯盟宛日 英共同通告文発表寧ロ見合度旨訓示 ノ件	一一一六
----	-----	------	-----	----------------------------------	--	------

一四	八七六	七月七日	三八四	内田外務大臣ヨリ 在中国小幡公使宛 (電報)	日英同盟更新ニ関スル国際聯盟宛通 告文案成立ノ經過通報ノ件	一一一六
----	-----	------	-----	---------------------------	----------------------------------	------

一五	九六六	七月七日	機密 二七二	在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛	東支鉄道ニ対シ四国新借款団ヨリノ 借款供与説ニ関シ外交部ヨリ反対意 見申越ノ件	一一九五
----	-----	------	-----------	----------------------	---	------

附屬書

七月五日附右中国外交部書翰写及訳文

一一九五

五	二四八	七月八日	三八	内田外務大臣ヨリ 在蘭国落合公使宛 (電報)	裁判所ハ当事国一方ノミノ出訴ニ依 リ裁判スル権限ヲ有スルモノニ非ザ ル旨安達公使ニ指示ノ件	三四六
---	-----	------	----	---------------------------	---	-----

五	二四九	七月 八 日	一二五	在蘭國落合公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	判事選任問題ニ関シ公法家會議ニ於 ケル可決事項ニ付安達公使報告ノ件	三四七
一〇	七二三	七月 八 日	和一機送 六八	内田外務大臣ヨリ 原内閣總理大臣宛	対独平和条約ニ依ル賠償金品ノ分配 問題ニ関シ同条約第八編ノ解釈決定 方請議ノ件	九三二

附記

七月八日附壇原外務次官ヨリ高橋内閣書記官長宛和一機密
送第六九号

九三三

右請議書提出時機ニ関スル件

一五	九六七	七月 八 日	機密 二七七	在中國小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛	東支鉄道沿線駐在我憲兵ノ撤退方ニ 関シ外交部宛回答ノ件	一一九六
----	-----	--------	-----------	----------------------	--------------------------------	------

附屬書

七月八日附右回答写

国際通信會議予備會議開催延期ニ関
スル件 一九七 |

六	三〇二	七月 九 日	四〇四	在本邦米國臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛	日英同盟更新ニ関スル國際聯盟宛通 告文發表取止方ニ付英外務省ト交渉 ノ件	一一一七
---	-----	--------	-----	--------------------------	--	------

一四	八七七	七月 九 日	五九六	在英國永井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	聯盟總會開催ニ関シ其時日場所議題 任國代表者ノ顔触等查報方訓令ノ件	二五六
----	-----	--------	-----	------------------------------	--------------------------------------	-----

四	一七九	七月 十 日	五四八	内田外務大臣ヨリ 在仏國松井大使宛(電報)	判事選任ニ関スル米英案及裁判所ノ 適用法則案ニハ異存ナキ旨並概括的 応訴義務ハ認メ得ザル旨回訓ノ件	三四八
---	-----	--------	-----	--------------------------	---	-----

五	二五〇	七月 十 日	三九	内田外務大臣ヨリ 在蘭國落合公使宛(電報)	常設國際司法裁判所ノ海牙仲裁裁判 所トノ關係其他ニ関スル討議及公法 家會議終了ニ至ル手順決定ニ付安達 公使報告ノ件	三四八
---	-----	--------	----	--------------------------	--	-----

五	二五一	七月 十 日	一二七	在蘭國落合公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	濠洲委任統治区域ニ於ケル通商貿易 ノ機會均等ノ問題ニ関シ衆議院ニ於 テ質疑応答ノ件	六七四
---	-----	--------	-----	--------------------------	---	-----

七	五四〇	七月 十 日	三三六	内田外務大臣ヨリ 在英國珍田大使宛(電報)	スパイ會議ニ於テ独逸ノ軍備撤廢 問題及戰爭責任者ノ独逸側ニ依ル 裁判ニ付審議ノ件	七八五
---	-----	--------	-----	--------------------------	--	-----

八	六三二	七月 十 日	特一六	在英國珍田大使(スパイ出張 中)ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	英國政府ハ日英同盟更新ニ関スル聯 盟宛通告ノ公表ヲ聯盟ノ裁量ニ一任 スベキ旨申越ノ件	一一一八
---	-----	--------	-----	--------------------------------------	--	------

別電

同日珍田大使宛内田外務大臣宛電報特別第一七号

七八七

軍事条項実施ニ関スルスパイ會議議定書

附記

右スパイ會議議定書本文

英國政府ハ日英同盟更新ニ関スル聯
盟宛通告ノ公表ヲ聯盟ノ裁量ニ一任
スベキ旨申越ノ件 七八九 |

一四	八七八	七月 十 日	一四四	在本邦英國大使ヨリ 内田外務大臣宛	中國政府対壞條約批准ノ件	四
----	-----	--------	-----	----------------------	--------------	---

一	五	七月 十一 日	一二三七	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日英同盟ニ関スル原首相陳述ノ新聞 電報記事ハ誤訳ナル旨回報ノ件	一一一八
---	---	---------	------	--------------------------	------------------------------------	------

一四	八七九	七月 十二 日	三九七	内田外務大臣ヨリ 在中國小幡公使宛(電報)	南洋委任統治問題ニ関シ省議決定方 稟請ノ件	六七五
----	-----	---------	-----	--------------------------	--------------------------	-----

七	五四一	七月 十三 日		松田条約局長ヨリ 内田外務大臣宛	附屬書 南洋委任統治問題ニ関シ採ルベキ方策	六七五
---	-----	---------	--	---------------------	-----------------------	-----

附屬書

南洋委任統治問題ニ関シ採ルベキ方策

日英同盟更新ニ関スル聯盟宛通告文
ノ發表及對議會說明方針ニ付テノ通
牒ニ對シ回答ノ件 一一一九 |

一四	八八〇	七月 十三 日	政一機送 三六	内田外務大臣ヨリ 在本邦英國大使宛	公法家會議ニ於ケル議定事項及其他 ノ討議事項ニ関シ安達公使報告ノ件	三五〇
----	-----	---------	------------	----------------------	--------------------------------------	-----

五	二五二	七月 十四 日	一三一	在蘭國落合公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)		
---	-----	---------	-----	--------------------------	--	--

六	三〇三	七月十四日	通二機合 三五二	壇原外務次官ヨリ 泰通信次官 陸軍次官各宛	國際通信會議予備會議開催延期ニ関スル件	……四三〇
一四	八八一	七月十四日	六〇八	在英國永井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日英同盟更新ニ関スル聯盟宛通告文 ニ對シ回答ノ件	……一一一九
三	一三一	七月十五日	六〇七	在英國永井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	第七回聯盟理事會ニ於テアーランド 島所屬問題等討議報告ノ件	……一七〇
七	五四二	七月十五日	特三九	在英國珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	C式委任統治規約案ニ關スル英側對 案ニ付倫敦ニ於テ折衝開始ノコトト シ度旨カイゾン卿ニ申入方ニ付請訓 ノ件	……六七九
七	五四三	七月十五日	六一〇	在英國永井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ボナ、ロー氏下院議員ノ質問ニ對シ 聯盟規約第二十二條第六項ノ解釈ニ 關シ答弁ノ件	……六八一
一四	八八二	七月十五日	六一三	在英國永井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	英國ニ於ケル日英同盟繼續論延長論 非繼續論ニ付報告ノ件	……一一二〇
一〇	七二四	七月十六日	特別四二	在英國珍田大使(スパイ出張 中)ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	スパイ最高會議終了シ独逸賠償ノ聯 合國間分配協定等調印ノ件	……九三四
一	六	七月十七日	一一五三	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	對埃平和條約第一回批准寄託調書調 印式ニ付報告ノ件	……四
一四	八八三	七月十七日	六二二	在英國永井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	英國下院ニ於テ日英同盟更新問題ニ 關スル質疑ニ對シ外務次官答弁ノ件	……一一二一
一一	七六八	七月十八日	六二五	在英國珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ブラッセル國際財政會議ハ九月迄延 期ノ旨聯盟事務局ヨリ通知越ノ件	……九九〇
六	三〇四	七月十九日		在本邦米國大使館ヨリ 日本外務省宛	旧独逸海底電線ニ關スル牧野男爵ノ 陳述ニ付問合ノ件	……四三〇
九	六四二	七月十九日	五八	在本邦西班牙國公使ヨリ 内田外務大臣宛	常設軍事諮問委員會ニ對スル日本政 府代表者ニ關シ重ネテ問合ノ件	……八〇七
一〇	七二五	七月十九日	内閣外甲 六二	原内閣總理大臣ヨリ 内田外務大臣宛	對独平和條約第八編ノ解釈ニ付閣議 決定ノ件	……九三四
一〇	七二六	七月十九日	一一六一	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	独逸賠償分配協定ニ珍田大使調印ノ 経緯同大使ヨリ報告ノ件	……九三四
七	五四四	七月二十日	三三一	内田外務大臣ヨリ 在英國珍田大使宛(電報)	C式委任統治ノ様式ニ關シ英國側ト ノ交渉ニ付回訓ノ件	……六八一
七	五四五	七月二十日	六二四	在英國珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	C式委任統治ノ様式ニ關シ我方態度 決定ノ必要切迫セルニ付至急回訓ア リ度旨稟請ノ件	……六八二
七	五四六	七月二十日	一一六九	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	C式委任統治問題ニ關シ至急英國政 府提議ニ同意シ問題ヲ解決シ置ク必 要アル旨稟申ノ件	……六八二
五	二五三	七月二十一日	一三八	在蘭國落合公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	別電 同日在仏國松井大使發内田外務大臣宛電報第一一七〇号 委任統治問題ニ關スル聯盟事務局意見書要旨	……六八三
七	五四七	七月二十一日	六二八	在英國珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	立案委員會ノ作成セル裁判所規約案 逐條討議ノ件	……三五一
五	二五四	七月二十二日	一四二	在蘭國落合公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	C式委任統治問題ニ關シカイゾン卿 トノ会谈ニ付報告並急速我方態度決 定方稟請ノ件	……六八四
					公法家會議ニ於ケル裁判所規約案逐 條審議続行ノ模様ニ關シ安達公使報 告ノ件	……三五二

一四 八八四 七月二十三日

外務省公表

日英同盟協約ニ関スル日英兩國政府
ノ國際聯盟宛共同通告ノ件……………一二二

附記一 樞密院會議ニ於ケル政府説明

二 右政府説明ノ附屬參考資料……………一二三

一四 八八五 七月二十三日 三三七

内田外務大臣ヨリ
在英國永井臨時代理大使宛
(電報)

日英同盟更新ニ関スル國際聯盟宛日
英共同通告文ヲ日本政府發表ノ件……………一二四

五 二五五 七月二十六日 五八七

内田外務大臣ヨリ
在仏國松井大使宛 (電報)

公法家會議ニ於テ作成セル裁判所構
成案ノ応訴義務ニ関シ任國政府ノ意
見探索方訓令ノ件……………三三三

五 二五六 七月二十六日 一四三

在蘭國落合公使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

公法家會議ハ聯盟理事會ニ對スル報
告書案審議ノ上二十四日閉會セル旨
安達公使報告ノ件……………三五三

五 二五七 七月二十六日 一四四

在蘭國落合公使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

常設國際司法裁判所規約案中応訴義
務ニ関スル条項報告ノ件……………三五四

九 六四三 七月二十七日

内田外務大臣ヨリ
在本邦西班牙國公使宛

常設軍事諮問委員會ノ日本代表者ニ
関スル問合ニ對シ回答ノ件……………八〇八

三 一三二 七月二十八日 一二六

在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

サン、セバスチアン理事會ニ出席ノ
為隨員帶同出發ノ旨報告ノ件……………一七五

四 一八〇 七月二十八日 一二七

在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

聯盟總會開催ノ時日及場所報告ノ件……………二五六

四 一八一 七月二十八日

山川臨時平和事務局第一部長
ヨリ
内田外務大臣宛

第一回國際聯盟總會準備協議委員會
設置ノ件……………二五七

六 三〇五 七月二十九日 四二

在本邦米國臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛

國際通信予備會議ニ代表委員派遣方
招請並同會議附議事項試案及本會議
開催時期通報ノ件……………四三一

七 五四八 七月二十九日 三四五

内田外務大臣ヨリ
在英國珍田大使宛 (電報)

C式委任統治協約案ニ関シ英國ノ提
案ニ對スル我方ノ立場ニ付英外相ト
懇談方再訓令ノ件……………六八五

別電

同日内田外務大臣宛在英國珍田大使宛電報第三四六号
委任統治問題解決ノ為ノ日本ノ要領条件……………六八六

一五 九六八 七月二十九日 三八三

在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

東支鐵道問題ニ関シモリス大使トノ
會談報告及請訓ノ件……………一一九八

六 三〇六 七月三十一日 三三九

内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛 (電報)

國際通信予備會議開催期日延期ノ米
國通報ニ関スル件……………四三三

一五 九六九 七月三十一日

内田外務大臣
在本邦露國大使 會談

東支鐵道經營ノ為日本ヨリ借款ヲ得
度旨ノ申出等ニ関スル件……………一一九九

八月 月

三 一三三 八月一日 二

在仏國松井大使 (サンセバス
チアン出張中) ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

第八回聯盟理事會ニ於テルール、ザ
ール及國際鐵道國際交通會議準備委
員會國際統計委員會並アーランド島
ノ諸問題討議報告ノ件……………一七五

五 二五八 八月一日 三九

在白國安達公使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

常設國際司法裁判所規約案中重要条
文報告ノ件……………三五五

一五 九七〇 八月一日 三九〇

在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

東支鐵道ノ運行改善ニ関聯スル諸問
題ニ付モリス大使トノ會談報告ノ件……………一二〇〇

三	一三四	八月二日	三	在仏国松井大使(サンセバスチアン出張中)ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	理事会ト總會トノ關係国際聯盟協會聯合会ニ対スル援助及補助金国際交渉會議總會等討議ノ件	一七八
六	三〇七	八月二日	一二三九	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ヤップ島海底電線ノ処分ハ關係政府間ノ直接協商ニ依ルベキ旨賠償委員ニ於テ決議ノ件	四三三
七	五四九	八月二日	六七二	在英國珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ナウル島燐鉍処分法案審議ノ際英國政府ハ通商上ノ機會均等ハ同島ニ適用無シト説明ノ件	六八六
一五	九七一	八月二日	三三七	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛(電報)	東支鐵道ノ運行改善ノ為新借款団ヨリノ借款供与案ニ対シ不賛成ノ旨回答ノ件	二〇二
四	一八二	八月四日	六〇三	内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛(電報)	總會ノ議題任國政府代表者顔触等急報方ノ件	二五八
六	三〇八	八月四日	三五一	内田外務大臣ヨリ 在英國珍田大使宛(電報)	國際通信予備會議ニ英國政府参加ノ意向アリヤ探査方訓令ノ件	四三五
一〇	七二七	八月四日	六七八	在英國珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	賠償問題討議ノ為ノ委員會ニ出席スベキ我方代表指名ニ關スル件	九三九
三	一三五	八月五日	四	在仏国松井大使(サンセバスチアン出張中)ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	常設國際保健機關ノ設置印度ノ大工業國加入要求等ノ問題討議ノ件	一八一
三	一三六	八月五日	五	在仏国松井大使(サンセバスチアン出張中)ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	理事会ト總會トノ關係ニ關スル決議案及規約第十六条ノ実行方法ノ準備手段ニ關スル件	一八四
三	一三七	八月五日	六	在仏国松井大使(サンセバスチアン出張中)ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	第八回理事会ノ公開會議ニ於ケル各担任者ノ報告及決議ノ件	一八五
三	一三八	八月五日	二	在仏国松井大使(サンセバスチアン出張中)ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	第八回理事会ニ於テ委任統治ニ關スル聯盟ノ義務ニ付討議ノ件	一八六
別電						
一 同日松井大使宛内田外務大臣宛電報第二二号						一八八
白國代表者ノ意見書要領						一九一
二 同右電報第一三三号						一九一
英國代表者ノ意見書要領						一九二
三 同右電報第一四号						一九二
理事会ヨリ最高會議宛書翰案						一九二
七	五五〇	八月五日	六八三	在英國珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	C式委任統治地域ノ通商機會均等問題ニ關スル我方ノ態度ヲサー、セシル、ハーストニ説明ノ件	六八八
別電						
同日在英國珍田大使宛内田外務大臣宛電報第六八四号						六八九
規約第二十二條解釈ニ關スル我方ノ非公式覚書						六八九
九	六四四	八月五日	一六〇	大角在仏国日本大使館附海軍武官ヨリ 栃内海軍次官ヲ下軍令部次長宛(電報)	サン、セバスチアン開催軍事諮問委員會ノ議事經過及決議大要報告ノ件	八〇八
別電						
同日在仏国日本大使館附海軍武官發海軍次官、軍令部次長宛第一六〇番電続ノ二						八一〇
毒瓦斯問題ニ関シ報告及請訓ノ件						八一〇
三	一三九	八月六日	一六	在仏国松井大使(サンセバスチアン出張中)ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	第八回理事会ノ第二回公開會議ニ於ケル各担任者ノ報告及決議報告ノ件	一九四

三	一四〇	八月七日	二二六三	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	ヘヂャーズ王ヨリ聯盟ノ斡旋要請並 次回理事会ノ開催地時期議題ニ関スル件……………一九四
四	一八三	八月七日	六一一	内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛（電報）	理事増員ハ總會ノ過半数及理事会ノ 満場一致ヲ要スルコトニ定メラレ度……………二五八 旨指示ノ件
一〇	七二八	八月七日	六九〇	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	賠償問題討議ノ為ノジュネーヴ會議 ヘノ我派遣代表団ノ構成ニ関シ稟申……………九四〇 ノ件
一四	八八六	八月七日	六九一	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	英国政治情報部員ノ日英同盟更新等 ニ関スル内話報告ノ件……………一一二五
三	一四一	八月八日	二二六七	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	常設軍事委員会俘虜送還波蘭チブス 印度ノ八大工業国加入要求公法家会 議等ノ問題討議ノ件……………一九六
九	六四五	八月八日	二二六七	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	第八回聯盟理事会ニ於テ仏国代表者 ヨリ常設軍事諮問委員会ノ成立ヲ報 告ノ件……………八一
一〇	七二九	八月八日	六九三	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	賠償条項第一附屬書ニ関シ取調方在 仏大使宛訓令ニ対シ回答ノ件……………九四一
一	七	八月九日	二二六九	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	対勃平和条約批准書寄託調書作成並 休戰条約不履行ノ事項ニ関スル留保 ノ議定書調印ノ件……………五
六	三〇九	八月九日	官房機密 一〇六七 ノ二	栃内海軍次官ヨリ 壇原外務次官宛	前独領海底電線押収及利用ノ地点及 時期ニ関スル件……………四三五
三	一四二	八月十日	二二七三	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	國際財政會議予算公法家會議等ニ関 スル件……………一九八
四	一八四	八月十日	八二三	在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	顧維鈞ガ聯盟ニ対スル中国代表委員 ニ決定セラレタル旨益世報ニ掲載ノ 件……………二五八
一四	八八七	八月十日	四一〇	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	日英同盟ニ関スル國際聯盟宛日英ノ 通告ニ付ハウス大佐ノ為シタル声明……………一二五 要領報告ノ件
二	八〇	八月十一日	二二八七	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	セーヴルニ於テ対土平和条約及希臘 ニ関スル少数民族保護条約等調印ノ 件……………九一
四	一八五	八月十二日	二二八九	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	聯盟總會仮議題各国ノ總會代表者選 定ノ模様總會ノ期間等ニ付報告ノ件……………二五九
				別 電 八月十三日松井大使宛内田外務大臣宛電報第一三〇〇号……………二六〇 總會仮議題報告ノ件	
四	一八六	八月十二日	二二九三	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	聯盟總會ノ本邦代表者及隨員ノ選定 等ニ付意見稟申ノ件……………二六二
七	五五一	八月十二日	五七	在シドニー玉木總領事代理ヨ リ 内田外務大臣宛（電報）	濠洲ノ旧独領諸島委任統治実施前ニ 本邦人ノ既得權保護ノ為英本國ト交 渉方稟申ノ件……………六九一
一〇	七三〇	八月十二日	三六二	内田外務大臣ヨリ 在英国珍田大使宛（電報）	賠償条項ニ関スル取調方訓電及回電 ノ件……………九四二
六	三一〇	八月十四日	一二〇五	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	旧独逸海底電線ノ帰属ニ関スル國際 通信予備會議ニ付仏國外務省係官ノ 内話報告ノ件……………四三六
				別 電 同日在仏国松井大使ヨリ内田外務大臣宛電報第一三〇六号……………四三八 右予備會議仮議題	

六 三一 八月十五日 八四五 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 国際通信会議ニ対スル中国側ノ思惑……………四三八
報告及請訓ノ件

七 五五二 八月十七日 六〇 在シドニー王木総領事代理ヨ
内田外務大臣宛(電報) 赤道以南旧独領諸島委任統治權受取
ノ法律案等濠洲議會へ提出ニ関スル……………六九二
件

二 八一 八月十八日 六四一 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報) 対土平和条約調印国間合ノ件……………九二

六 三一二 八月十八日 三七四 内田外務大臣ヨリ
在英国珍田大使宛(電報) 国際通信予備會議ニ対スル任国政府
ノ態度電報方指令ノ件……………四三九

七 五五三 八月十八日 七三一 内田外務大臣宛(電報) 離任挨拶ノ為カーゾン外相ヲ往訪会
談ノ件……………六九二

一四 八八八 八月十八日 七三〇 内田外務大臣宛(電報) 離任挨拶旁英国首相ヲ往訪露国問題
日英同盟問題等ニ付意見交換ノ件……………一二七

一四 八八九 八月十八日 七三一 内田外務大臣宛(電報) 離任挨拶ノ為カーゾン外相ヲ往訪会
談ノ件……………一二九

二 八二 八月十九日 一三一七 内田外務大臣宛(電報) 対土平和条約調印国ニ付回電ノ件……………九二

五 二五九 八月十九日 一三五 内田外務大臣宛(電報) 常設国際司法裁判所構成案ニ関シ請
訓ノ件……………三五八

六 三二三 八月十九日 四二〇 内田外務大臣宛(電報) 国際通信予備會議ニ仏国政府参加決
定ノ件……………四三九

六 三三四 八月十九日 四二二 内田外務大臣宛(電報) 仏国ガ旧独逸海底電線処分問題ノ討
議延期ヲ希望セザルヤ否ヤ突止方ニ……………四三九
付意見稟申ノ件

六 三一五 八月十九日 米通三 在米清河海軍大佐ヨリ
栃内海軍次官宛(電報) 国際通信會議参加ニ関スル仏英米各
国ノ意向並我英仏トノ提携方針ニ付……………四四〇
報告ノ件

七 五五四 八月十九日 六一 在シドニー王木総領事代理ヨ
内田外務大臣宛(電報) 旧独領諸島委任管理權受取等ニ関ス
ル法律案ノ題名修正方ノ労働黨動議……………六九三
否決ノ件

三 一四三 八月二十日 一三三五 内田外務大臣宛(電報) 聯盟事務局ノゼネヴァ移転ニ関聯シ
本邦理事事務所ノ設置ニ付意見具申……………二〇一
ノ件

六 三二六 八月二十日 政二機 日本外務省ヨリ
在米邦米國大使館宛 旧独逸海底電線ニ関スル問合ニ対シ
回答ノ件……………四四一

六 三二七 八月二十日 一三三六 内田外務大臣宛(電報) 国際通信予備會議延期ニ同調アリ度
旨仏国政府ヨリ依頼越ニ付請訓ノ件……………四四一

六 三二八 八月二十日 八六六 内田外務大臣宛(電報) 中国政府ノヤップ島海底電線合弁方
針ニ関スル新聞報道ノ件……………四四二

六 三二九 八月二十日 七三六 内田外務大臣宛(電報) 英国ガ国際通信予備會議ニ代表派遣
決定ヲ米國ニ回答セル趣英外務省米
國部員内話ノ件……………四四二

一五 九七二 八月二十日 三五〇 在浦潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報) チェック軍シベリア撤退完了ニ付鉄
道特別委員會ヨリ同國委員脱退ノ件……………二〇二

六 三二〇 八月二十一日 三五九 内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛(電報) 顧維鈞上海ヤップ海底電線ノ中米共
同管理ヲ政府ニ提議ノ件……………四四三

七 五五五 八月二十一日 一三四三 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 委任統治ニ関スル理事會決定ノ書翰
案公表ノ可否ニ付日本首相ノ意見ヲ……………六九三
聯盟事務總長ヨリ照会越ノ件

九 六四六 八月二十一日 官房機密 井出海軍次官ヨリ 毒瓦斯使用ニ付大角海軍武官宛訓電……………八一二
通知ノ件

六 三二一 八月二十二日 在米国外務大臣宛ヨリ 國際通信予備會議開会延期ノ仏国政
府提議ニ同意スルヲ得策ト認ムル旨……………四四三
意見具申ノ件

六 三二二 八月二十三日 内田外務大臣宛ヨリ 旧独逸海底電線ニ関スル牧野男爵ノ
陳述ニ付為サレタル米国大使館ノ問……………四四四
合ニ対スル我回答通報ノ件

一〇 七三一 八月二十三日 機密公 在英國永井臨時代理大使ヨリ 七月十六日スパリーニ於テ同盟諸國代
表署名ノ協定認証等送付ノ件……………九四二

附屬書 右協定認証写……………九四二

一五 九七三 八月二十四日 六〇四 在ハルビン松島總領事ヨリ 日本政府ハ東支鐵道対策ヲ速ニ決定
ノ上其管理案ヲ英米諸國ニ提議スル……………二〇三
様稟申ノ件

六 三二三 八月二十五日 六六四 内田外務大臣ヨリ 旧独逸海底電線歸屬問題ニ関シ英仏
兩國政府ニ対スル交渉渉ニ付回訓ノ……………四四四
件

別 電一 同日内田外務大臣宛在仏国松井大使宛電報第六六五号……………四四五

二 國際通信予備會議日本委員ニ対スル訓令……………四四五

同右電報第六六六号……………四四五

在英國珍田大使ニ対スル訓令……………四四五

六 三二四 八月二十五日 一三七 在伊國堀田臨時代理大使ヨリ 國際通信予備會議參加ヲ伊國政府決
定ノ件……………四四六

六 三二五 八月二十七日 通八 在米国外務大臣宛ヨリ 旧独逸海底電線ニ関スル対米回答中
ノ疑問ニ付電示方稟請ノ件……………四四六

一 八 八月二十八日 一三六五 在仏国松井大使ヨリ 旧奧帝国ノ領土繼承諸國間ニ行政事
務處理ヲ目的トスル条約調印ノ件……………五

六 三二六 八月三十日 一三七八 在仏国松井大使ヨリ 旧独逸海底電線問題ニ仏国側ノ支持
取付方ニ関シ同國政府ノ意向問質及……………四四七
意見具申ノ件

六 三二七 八月三十一日 一三八二 在仏国松井大使ヨリ 國際通信予備會議ニ於ケル独逸海底
電線分配問題ニ関シパレオローグト……………四五〇
会談ノ件

九 月

四 一八七 九月一日 九一八 在中國小幡公使ヨリ 唐在復聯盟總會ニ対スル中国代表ニ
任命ノ件……………二六四

六 三二八 九月一日 通一二 在米国外務大臣宛ヨリ 國際通信予備會議延期ニ対スル米英
仏三国ノ態度ニ付報告並我方ノ態度……………四五〇
ニ関シ稟申ノ件

六 三二九 九月一日 通一三 在米国外務大臣宛ヨリ 國際通信予備會議ニ関シ来訪セル仏
國代理大使ニ我方ノ立場ヲ説示ノ件……………四五一

六 三三〇 九月一日 七六七 在英國永井臨時代理大使ヨリ 予備會議延期ヲ英國政府承諾ノ件……………四五二

六 三三一 九月二日 六八八 内田外務大臣ヨリ 國際通信予備會議延期ノ仏国主張ニ
異存ナキ件……………四五二

七 五五六 九月二日 一三九八 在仏国松井大使ヨリ 理事會決定ノ書翰案公表ニ仏国異存
無キ件……………六九四

一四	八九〇	九月二日	七七四	在英国永井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	英国政府ハ日英同盟継続ニ付自治領 政府ノ意見ヲ求ムルコトナリタル……一一三〇 件
六	三三二	九月三日	七八二	在英国永井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	海底電線ノ國際管理及婦屬問題ニ関 シ英國外務省米國部長ト会谈ノ件……四五二
七	五五七	九月四日	六九六	内田外務大臣ヨリ 在仏國松井大使宛(電報)	理事会決定ノ書翰案公表ニ異存無キ 旨回訓並理事会ヘノ協約案通知ニ付……六九四 仏國ノ意嚮問合セ方指令ノ件
七	五五八	九月四日	一四〇五	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	英伊兩國首相モ理事会書翰公表ニ異 議ナキ件……六九五
七	五五九	九月七日	七九一	在英国林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	C式委任統治ニ関スル日英交渉ハ数 週間後トナルベキ旨英外務当局内話 ノ件……六九五
八	六三三	九月七日	一八五	大角在仏國日本大使館附海軍 武官ヨリ 栃内海軍次官竹下軍令部次長 宛(電報)	九月六日大使会議ニ於テ承認セラレ タル海軍委員決議事項報告ノ件……七九三
六	三三三	九月八日	政二機 一〇	壇原外務次官ヨリ 井出海軍次官宛	旧独領ヤップ島海底電線押収利用ノ 地点等ニ関スル件……四五三
六	三三四	九月九日	通二送 一〇	内田外務大臣ヨリ 在本邦米國臨時代理大使宛	國際通信予備會議ニ代表者派遣方招 請等申越ニ対シ回答ノ件……四五五
六	三三五	九月九日	三八〇	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛(電報)	國際通信予備會議プログラム試案ニ 関スル米國代理大使ヨリノ申越ニ対 スル我回答ニ付通報ノ件……四五四
九	六四七	九月九日	七一	在本邦西班牙國公使ヨリ 内田外務大臣宛	常設軍事諮問委員會ニ対スル日本政 府代表者ニ関シ更ニ問合ノ件……八一二
七	五六〇	九月十日	三二	内田外務大臣ヨリ 在シドニー玉木總領事代理宛 (電報)	濠洲ノ委任統治地域ニ於ケル日本人 ノ既得權保護ニ付英國政府ト交渉ノ 経緯通報ノ件……六九五
一四	八九一	九月十日	七九七	在英国林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日英同盟更新問題ニ関シ前在英新西 蘭高等弁務官マッケンジーノ為セル 新聞談話報告ノ件……一一三〇
一五	九七四	九月十日	三七二	在蒲潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	我軍運轉ノウスリ―鉄道ニコリスク 及ムラビエフ間返還ヲ露國当局要求 ニ付請訓ノ件……二〇三
六	三三六	九月十二日	通一六	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	國際通信予備會議開催期日延期問題 ニ関スル我政府ノ意向問合ノ件……四五五
一五	九七五	九月十二日	一六一	内田外務大臣ヨリ 在蒲潮松平政務部長宛(電報)	我ハバロフスク駐屯部隊撤退ニ関ス ル閣議決定通報ノ件……二〇五
三	一四四	九月十三日	一四三四	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	第九回聯盟理事会ノ議題及報告者ニ 付事務局ヨリ通知越ノ件……二〇二
四	一八八	九月十三日	一四三六	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	聯盟事務局ニ於テ改定ノ總會仮議題 報告ノ件……二六四
一四	八九二	九月十三日	八〇二	在英国林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日英米關係ニ関スル在華府モ―リ ス、ローノ倫敦宛通信要領報告ノ件 ……一一三一
四	一八九	九月十四日		閣議決定	第一回聯盟總會本邦代表者ニ対シ訓 令ノ件……二六六
七	五六一	九月十五日	七二六	内田外務大臣ヨリ 在仏國松井大使宛(電報)	第八回理事会ニ於テ委任統治問題ニ 関シ白國委員陳述ノ意見支持方並理 事會及總會ニ於テ執ルベキ方針ニ付 訓令ノ件……六九六

一一 七六九 九月十五日 四二一 内田外務大臣ヨリ 在英國林大使宛(電報) 國際財政會議ニ関スル森及大久保両委員ヘノ訓令伝達方ノ件……………九九一

別電 同日内田外務大臣宛在英國林大使宛電報第四二二号……………九九一
右訓令

一五 九七六 九月十五日 一六四 内田外務大臣ヨリ 在浦潮松平政務部長宛(電報) 露國過激派ノ密使ト中国政府ノ接觸ニ付情報隨時電報方訓電ノ件……………一二〇五

七 五六二 九月十六日 七二 在シドニー玉木總領事代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 濠州移民法ヲ旧独領ニニュー、ギニアニ適用スルヤ否ヤノ問題ニ付クック藏相ノ議會答弁ニ関スル件……………六九八

九 六四八 九月十六日 内田外務大臣ヨリ 在本邦西班牙國公使宛 常設軍事諮問委員會ニ対スル日本政府代表者ニ関スル件……………八一三

五 二六〇 九月十八日 七三二 内田外務大臣ヨリ 在仏國松井大使宛(電報) 常設國際司法裁判所規約案中底訴義務規定ハ底諾シ難キ旨回訓ノ件……………三五九

七 五六三 九月十八日 七四 在シドニー玉木總領事代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 聯盟總會ニ於ケル濠洲代表者ノ使命ニ付濠洲首相演說ノ件……………六九九

一五 九七七 九月十八日 一六五 内田外務大臣ヨリ 在浦潮松平政務部長宛(電報) ウスリ一鉄道ニコリスク及ムラビエフ間ノ露國ヘノ引渡ニ……………一二〇六

附記 ウスリ一鉄道ニコリスク及ムラビエフ間ノ露國ヘノ引渡ニ
関スル陸軍大臣ノ意見

一五 九七八 九月二十日 三七八 在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報) プンビアンスキー氏北京滞在中ノ行動殊ニウエルフネ代表ユーリントノ東支鉄道ニ関スル会谈ニ付米話ノ件……………一二〇七

六 三三七 九月二十一日 四〇二 内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛(電報) 旧独海底電線ヲ戰爭目的ニ供用セリトノ意義ニ関シ回示ノ件……………四五四

九 六四九 九月二十一日 關議決定 聯盟規約規定ノ軍事問題ニ関シ理事會代表者及常設軍事諮問委員會各軍代表者ニ対シ訓令ノ件……………八一四

附記一 外務陸軍及海軍三省間ノ覚書……………八一七
二 理事会代表者及常設軍事諮問委員會各軍代表者ノ氏名……………八一八
一四 八九三 九月二十一日 二七六 在桑港太田總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 将来日米間紛争ノ場合英國ハ米國ニ左祖スベシトノ英國大官ノ談話記事……………一一三二

三 一四五 九月二十二日 一四六九 在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 第九回聯盟理事會ニ於テオランダ島問題波蘭リスアニア紛争オイベイン、マルメデイ問題ザール行政委員會報告武府財政會議等ノ問題討議ノ件……………二〇三

三 一四六 九月二十二日 一四七〇 在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 第九回理事會ノ公開會議ニ於テオランダ島問題波蘭リスアニア紛争ニ……………二二一

六 三三八 九月二十三日 通二一 在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) ヤップ島海底電線ニ関スル米國大使館ノ問合事項要領電報方稟請ノ件……………四五六

六 三三九 九月二十三日 通二二 在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 國際通信予備會議ニ於ケル米國試案ノ討議事項ニ関シ請訓ノ件……………四五七

七 五六四 九月二十三日 七七 在シドニー玉木總領事代理ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 聯盟總會濠洲代表者ノ新聞記者會見談及同總會ニ関スルシドニー新聞論……………七〇〇

一一 七七〇 九月二十三日 五九 在白人安達公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 國際財政會議組織委員會ノ構成及同委員會作成ノ議事日程等ニ付本邦委員ヨリ報告ノ件……………九九二

六 三四〇 九月二十四日 八三九 在英國林大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

ヤップ島ニ於ケル海底電線処分問題
ニ関シ永井参事官英國外務省米國部
長会談ノ件……………四五七

三 一四七 九月二十五日 一四八一 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

第九回理事会ニ関シ感想報告ノ件……………二二二

四 一九〇 九月二十五日 八三六 在英國林大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

聯盟総会ニ中国側ヨリ山東問題等提
起ノ場合ニ対スル用意ニ関シ意見具
申ノ件……………二六六

六 三四一 九月二十五日 一四九二 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

國際通信予備會議出席仏國委員ニ対
スル同國政府ノ訓令内容報告ノ件……………四五八

六 三四二 九月二十五日 陸送欧
五四九 山梨陸軍次官ヨリ
埴原外務次官宛

國際通信予備會議附議事項試案ニ関
スル陸軍省意見回示ノ件……………四五九

七 五六五 九月二十五日 一四八六 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

委任統治問題ニ関シ理事会及総会ニ
於テ執ルベキ方針ニ付所見稟申ノ件……………七〇一

一一 七七一 九月二十五日 六五 在白人安達公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

國際財政會議第一回會議ノ模様委員
ヨリ報告ノ件……………九九三

一五 九七九 九月二十五日 三八三 在浦潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

ウスリー鐵道南部線返還ニ関スル大
井軍司令官ヨリノ通告末尾ノ留保ニ……………二〇八
対シ鐵道委員會米國委員抗議ノ件

六 三四三 九月二十七日 通二四 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

ヤップ島海底電線ニ関シ米國大使館
ヘノ回答振ニ付意見稟申ノ件……………四五九

七 五六六 九月二十七日 一四九七 在仏國長岡臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

委任統治ニ関スル理事会決定ノ書翰
公表ニ異存ナキ旨先方ニ通知済竝協
約案ヲ理事会ニ通知ノ問題ニ付具申
ノ件……………七〇二

九 六五〇 九月二十七日 官房機密
一二七七 井出海軍次官ヨリ
埴原外務次官宛

軍備制限諸問題ニ関シ竹下海軍代表
宛訓令移牒ノ件……………八一八

附屬書 軍備制限問題ニ関スル研究並決議

……………八一九

一一 七七二 九月二十七日 六七 在白人安達公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

國際財政會議第二回及第三回會議ノ
模様ヲ報告ノ件……………九九五

六 三四四 九月二十八日 七五五 在內田外務大臣ヨリ
在仏國松井大使宛（電報）

旧独逸海底電線問題ニ関シ日仏相互
支援ヲ約シ度旨仏國当局ニ申入方訓
令ノ件……………四九九

五 二六一 九月二十九日 七五七 在內田外務大臣ヨリ
在仏國長岡臨時代理大使宛
（電報）

応訴義務問題ハ聯盟規約成立当初ヨ
リ決定セラレ居ル事實ヲモ指摘シ我
主張ニ切実ナル考慮ヲ加ヘラレ度旨
責任國政府ニ申入方訓令ノ件……………三六〇

一四 八九四 九月二十九日 八四三 在英國林大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

日英同盟継続ノ交渉ニ先立チ日本ノ
対中國態度ニ対スル英米ノ誤解ヲ一……………一一三二
掃スル方策ニ付稟申ノ件

六 三四五 九月三十日 米通十六 在華盛頓清河海軍大佐ヨリ
井出海軍次官宛（電報）

旧独海底電線処分問題ニ関シ報告ノ
件……………四六〇

一一 七七三 九月三十日 七一 在白人安達公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

國際財政會議第六回會議ニ於ケル四
個ノ委員會設置及英日印各委員ノ
自國財政事情説明ニ付報告ノ件……………九九五

十月

七 五六七 十月一日 七六〇 在內田外務大臣ヨリ
在仏國長岡臨時代理大使宛
（電報）

委任統治問題ニ関スル訓令補足説明……………七〇三

一一	七七四	十月一日	七四	在白人安達公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	國際財政會議第七回會議ニ於テ米 國、独逸等各委員自國ノ財政狀況説……九九七 明ノ件
一五	九八〇	十月一日	六四〇	在ハルビン松島總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	東支鐵道庁組織變更ノ場合ニ於ケル 附屬地帯内邦人ノ權益擁護ノ為ノ對……一二〇九 策ニ付稟申ノ件
六	三四六	十月二日	四四〇	内田外務大臣ヨリ 在英国林大使宛(電報)	ヤップ島ヲ我委任統治下ニ置カント スル主張ヲ英國ガ支持スル様了解取……四六〇 付方訓令ノ件
六	三四七	十月二日	四三一	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛(電報)	國際通信予備會議ニ於テ旧独海底電 線処分問題議題トナリタル場合ニ我 方ノ採ルベキ方針ニ付訓令ノ件……四六一
六	三四八	十月二日	四三三	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛(電報)	國際通信予備會議討議事項ニ関シ回 訓ノ件……四六二
六	三四九	十月二日	一五三〇	在仏國石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	國際予備會議ニ関シ仏國政府ニ於テ 日本政府ノ提議ニ同意ノ件……四六二
七	五六八	十月二日	一五二七	在仏國石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	C式委任統治様式ニ関シ仏國ノ日本 援助ニ付ベルトロー氏ト会谈ノ件……七〇四
六	三五〇	十月四日	一五三四	在仏國石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ヤップ上海間等海底電線問題ニ関シ 法律部ノ意見要旨報告ノ件……四六二
一〇	七三二	十月四日	一五三三	在仏國石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	对独平和条約第一三四条ニ規定スル 独逸財産ノ讓渡ハ賠償勘定ニ於テ独 逸ノ貸方トスベシト賠償委員會決議 ノ件……九五五
一四	八九五	十月四日	四四三	内田外務大臣ヨリ 在英国林大使宛(電報)	山東沿線及漢口駐屯日本軍撤退ニ関 スル稟申ニ對シ回訓ノ件……一一三三
一五	九八一	十月四日	一〇五八	在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	東支鐵道事務処理方法ニ関シ中国政 府及露亞銀行代表者間ニ暫行協定成 立ノ件……一二一〇
六	三五一	十月五日		閣議決定	旧独領海底電線処分問題ニ付日本委 員ノ執ルベキ措置ニ関スル件……四六三
一一	七七五	十月五日	七七	在白人安達公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	國際財政會議第九回會議ニ於テ貨幣 及為替問題討議ノ件……九九九
一五	九八二	十月五日		南滿洲鐵道株式會社東京支社 ヨリ 外務省宛	中国ニ於ケル東支鐵道ノ利權回收運 動ニ對シ我政府ノ採ルベキ措置ニ関 シ内申ノ件……一二一〇
五	二六二	十月六日	八五七	在英国林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	応訴義務問題ニ関シ我方反對論ノ根 拠指示方稟請ノ件……三六一
五	二六三	十月六日	一五四六	在仏國石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	応訴義務問題ニ関スル我方態度ニ付 請訓ノ件……三六二
六	三五二	十月六日	四四〇	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛(電報)	國際通信予備會議ニ関スル訓令ノ別 紙事項ハ確定意見ニ非ザル旨追報ノ……四六三
六	三五三	十月六日	通二九	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	米國側ノヤップ島國際化ノ主張等ニ 関シ報告ノ件……四六四
六	三五四	十月六日	通二機合 四九三	壇原外務次官ヨリ 山梨陸軍井出海軍泰通信各次 官宛	國際通信會議事項ニ関スル訓令ニ付 通報ノ件……四六四
一一	七七六	十月六日	八三	在白人安達公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	國際財政會議第十一回會議ニ於テ國 際貿易問題ニ関シ印度、伊太利、日……一〇〇〇 本等ノ委員演説ノ件

六 三五五 十月 七日 通三〇 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

旧独海底電線処分問題等ニ関シ英國首
席委員トノ会談要旨報告ノ件 …… 四六五

六 三五六 十月 七日 通三一 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

旧独海底電線処分問題ニ関シ仏國首
席委員トノ会談要旨報告ノ件 …… 四六七

六 三五七 十月 七日 通三二 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

國際通信予備會議開会議長及副議長
ヲ選定ノ件 …… 四六七

別電一 同日在米國幣原大使宛内田外務大臣宛電報通第三三三號

五分科会ノ組織

二 同右電報通第三四四號

各國委員名

四六八

一五 九八三 十月 七日 五六八 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛（電報）

東支鐵道事務處理方法ニ関スル中国
政府及露重銀行代表者間暫行協定ニ
付精細報告方訓令ノ件 …… 一二一二

六 三五八 十月 八日 通三六 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

太平洋海底電線及ヤップ島委任統治
問題ニ関シデヴィスト激論ノ件 …… 四六九

別電 十月九日在米國幣原大使宛内田外務大臣宛電報通第三三七號

太平洋海底電線及ヤップ島委任統治問題ニ
関スル英仏伊白ノ意向報告ノ件 …… 四六九

一〇 七三三 十月 八日 一五五六 在仏國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

壽府開催予定ノ賠償會議開催時期ニ
関スル英仏伊白ノ意向報告ノ件 …… 九五六

一一 七七七 十月 八日 八五 在白國安達公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

國際財政會議國際貿易委員會ノ起草
委員會ガ貿易ニ関スル決議ヲ立案シ
貿易委員會之ヲ可決セル経緯報告ノ
件 …… 一〇〇一

六 三五九 十月 九日 在日本外務省ヨリ
在本邦米國大使館宛

旧独領ヤップ島海底電線ニ関スル問
合ニ対シ回答ノ件 …… 四七二

一五 九八四 十月 九日 陸軍省ヨリ
外務省宛

東支鐵道問題対策ニ関スル陸軍省意
見通報ノ件 …… 一二二三

附記 十月五日附東支鐵道問題ニ対スル方策外務省政務局案

一二二三

一五 九八五 十月 九日 一〇七七 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

東支鐵道ニ関スル暫行弁法ノ主要点
ニ付報告ノ件 …… 一二二〇

六 三六〇 十月 十日 通四〇 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

ヤップ島委任統治問題及蘭國側提案
ノ太平洋海底電線解決策ニ付英國首
席委員ト会谈ノ件 …… 四七二

七 五六九 十月 十日 一五六二 在仏國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

聯盟理事會ニ対スル委任統治協約案
通知ノ問題ニ関シ日本首相ノ回答ヲ
聯盟事務総長ヨリ要請越ノ件 …… 七〇四

七 五七〇 十月 十日 一五六三 在仏國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

常設委任統治委員會ノ構成ニ関スル
聯盟事務局案ノ要旨報告及右ニ付意
見回示方稟請ノ件 …… 七〇四

六 三六一 十月 十一日 通四一 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

旧独海底電線処分問題ニ関シ英仏兩
國各委員トノ接触ニヨリ得タル感想
報告ノ件 …… 四七四

一〇 七三四 十月 十一日 七八三 内田外務大臣ヨリ
在仏國石井大使宛（電報）

山東鐵道及鉦山ガ賠償委員會ノ議事
ニ上ルトキハ我代表ハ必ズ出席スル
コトニ予メ了解取付方訓令ノ件 …… 九五七

六 三六二 十月 十二日 陸送欧
五八七 山梨陸軍次官ヨリ
埴原外務次官宛

國際通信會議予備會議ニ関シ回答ノ
件 …… 四七五

六	三六三	十月十二日	閣議決定	旧独蘭電信会社所屬海底電信線ニ関 シ蘭国政府ト交渉方ノ件	四七五
六	三六四	十月十二日	在米国外務大臣宛(電報)	無線分科会議ハ十二個条ニ付主義ノ ミ確定ノコトニ決定ノ件	四七七

別電

同日在米国幣原大使宛内田外務大臣宛電報通第四四号	四七七
--------------------------	-----

右十二個条

六	三六五	十月十二日	在米国幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	旧独線ノ処分ニ関スル第一分科会第 一回會議ノ模様報告ノ件	四七八
六	三六六	十月十三日	秦通信次官ヨリ 壇原外務次官宛	佐世保青島間軍用線ニ依ル公衆通信 取扱ニ関スル件	四七九
六	三六七	十月十三日	在米国幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	旧独線ノ処分ニ関スル第一分科会第 一回會議ノ模様統報ノ件	四八〇
六	三六八	十月十三日	在米国幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	旧独線ノ処分ニ関スル第一分科会第 二回會議ノ模様報告ノ件	四八一

別電

同日在米国幣原大使宛内田外務大臣宛電報通第四八号	四八一
--------------------------	-----

右會議ニ於テ日本ノ要求説明ノ件

六	三六九	十月十三日	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	最高會議ニ於テ決定ヲ見タル英國側 起草ノ委任統治配分案ニ對シ米國側 ハヤップ島ニ関シ何等留保ヲ為サザ リシ旨ハンケ―氏確認ノ件	四八四
六	三七〇	十月十三日	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ヤップ島問題ニ関シ英國政府ノ支持 ヲ得タキ旨英國外務次官ニ申入ノ件	四八五
六	三七一	十月十三日	在蘭国二見臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	旧独電線処分ニ関シ蘭国外相及ビユ ルマントノ會談ニ付報告ノ件	四八五

七	五七一	十月十三日	在仏国石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	委任統治ニ関シ理事會ノ四国首相ノ 回答督促及委任統治委員會ノ構成案 ニ付ブルジョア理事ト意見交換ノ件	七〇六
---	-----	-------	--------------------------	--	-----

一〇	七三五	十月十三日	在仏国石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	賠償問題ニ関スル仏外務省ベルトロ ノ談話報告ノ件	九五八
四	一九一	十月十四日	在中國小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	聯盟總會ニ山東問題提出ニ関シ顧維 鈞ヨリ請訓シ來レル趣報告ノ件	二六七

五	二六四	十月十四日	内田外務大臣ヨリ 在英國林大使宛(電報)	裁判所構成案中ノ応訴義務規定ニ我 方反對ノ理由回訓並本問題處理方法 ニ関スル我方意向内示ノ件	三六二
---	-----	-------	-------------------------	--	-----

五	二六五	十月十四日	内田外務大臣ヨリ 在仏国石井大使宛(電報)	裁判所構成案中應訴義務問題ニ関ス ル我方態度ニ付回訓並仏國政府及武 府理事會ニ對スル措置振ニ付指示ノ 件	三六五
---	-----	-------	--------------------------	---	-----

六	三七二	十月十四日	壇原外務次官 會談 在本邦仏國大使	旧独領電線問題ニ関シ日本ト協同一 致ノ態度ヲ採ルベキ旨仏國側ヨリ通 告越ノ件	四八六
---	-----	-------	----------------------	--	-----

六	三七三	十月十四日	内田外務大臣ヨリ 在英國林大使宛(電報)	ヤップ島ノ地位ニ関シ通信予備會議 ニ於テ我主張支持方英國政府ニ申入 ルル様訓令ノ件	四八六
---	-----	-------	-------------------------	---	-----

六	三七四	十月十四日	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ヤップ島問題ニ関シ英國外相ニ公文 送付ノ件	四八七
---	-----	-------	-------------------------	--------------------------	-----

別電

同日在英國林大使宛内田外務大臣宛電報第八七九号	四八七
-------------------------	-----

右公文全文

六	三七五	十月十四日	在米国幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	旧独電線処分ニ関シ委員間ニ成立ノ 協定ハ本國政府ノ承認ヲ要スト心得 可然哉請訓ノ件	四八八
---	-----	-------	--------------------------	---	-----

七	五七二	十月十四日	一五八四	在仏国石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	委任統治ニ関シ聯盟理事会ニ対スル 仏国側回答振ニ付報告及我方措置振 ニ付意見稟申ノ件……………七〇七
七	五七三	十月十四日	一五八五	在仏国石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	C式委任統治様式ニ関シ我方ノ思切 リノ譲歩ニ依リ問題ヲ結了シ可然旨 稟申ノ件……………七〇七
一一	七七八	十月十四日	九五	在白人安達公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	國際財政會議第十六回會議ニ於テ各 委員会ノ決議可決ノ件……………一〇〇三
四	一九二	十月十五日	一五九一	在仏国石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	聯盟總會仮議題追加報告ノ件……………二六八
六	三七六	十月十五日	四六三	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛(電報)	佐世保青島線ハ主トシテ軍用通信ニ 利用セラル居ル旨言明差支ナキ件……………四八九
一一	七七九	十月十五日	九六	在白人安達公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	國際財政會議最終會議ニ於テ理事會 ニ対スル報告可決ノ件……………一〇〇四
附記 國際財政會議ノ経過……………一〇〇四					
一四	八九六	十月十五日		珍田大使談話	日英同盟改訂問題ニ関スル件……………一一三四
六	三七七	十月十六日		壇原外務次官 會談 在本邦仏國大使	旧独領電線処分ニ関シ日仏兩國ト協 調的態度ニ出ヅル様英國政府ニ申入 方ニ付會談ノ件……………四八九
六	三七八	十月十六日	通五四	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ヤップ島委任統治及米中間直通線布 設問題等ニ関スル件……………四八九
七	五七四	十月十六日	一五九二	在仏国石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	委任統治ニ関スル仏國政府ノ態度ニ 付外務省政務局長岡參事官ニ談話 ノ件……………七〇八

六	三七九	十月十七日	通五六	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	蘭國代理公使ヨリ独蘭電信会社ニ関 スル覚書ヲ提出ノ件……………四九一
---	-----	-------	-----	--------------------------	---------------------------------------

別電 同日在米國幣原大使宛内田外務大臣宛電報通第五七号
右覚書(後半)

六	三八〇	十月十七日	四七〇	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛(電報)	旧独線処分ニ関スル委員間協定ハ政 府ノ承認ヲ要スル件……………四九二
六	三八一	十月十七日	八八九	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ヤップ島問題ニ関シ最高會議議事調 書存在スル旨ハンケーヨリ回答越ノ 件……………四九二

六	三八二	十月十七日	一六〇二	在仏国石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	國際通信予備會議ニ於ケル日英仏協 調ニベルトロイ賛成ノ件……………四九三
---	-----	-------	------	--------------------------	---

七	五七五	十月十七日	八九三	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	C式委任統治様式問題ノ解決策ニ関 シ在仏石井大使ニ意見開示ノ件……………七〇九
---	-----	-------	-----	-------------------------	--

三	一四八	十月十八日	一六〇四	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	第十回理事會ニ出席ノ為隨員帶同武 府ニ向フ旨報告ノ件……………二二三
---	-----	-------	------	--------------------------	---------------------------------------

六	三八三	十月十八日	四七一	内田外務大臣ヨリ 在英國林大使宛(電報)	旧独線処分問題ニ関シ日仏兩國ト協 調的態度ニ出ヅル様英國政府ニ申入 方訓令ノ件……………三八三
---	-----	-------	-----	-------------------------	---

六	三八四	十月十八日	通五八	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	國際通信予備會議第一分科會第三回 會議ノ模様報告ノ件……………四九四
---	-----	-------	-----	--------------------------	---------------------------------------

別電

同日在米國幣原大使宛内田外務大臣宛電報通第五九号
ハリファックス線ニ関スル英國側妥協案……………四九五

七	五七六	十月十八日	拓 五七一五	古賀拓殖局長官ヨリ 壇原外務次官宛	國際聯盟常設委任統治委員會ノ構成 ニ関シ意見回示ノ件……………七一〇
---	-----	-------	-----------	----------------------	---------------------------------------

七	五七七	十月十八日	官房機密 一四一六	井手海軍次官ヨリ 埴原外務次官宛	國際聯盟常設委任統治委員會ノ構成ニ関シ意見回示ノ件……………七一
七	五七八	十月十八日	一六一	在仏国石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	委任統治ニ関シ聯盟理事會ニ対スル 仏国回答草案報告ノ件……………七二
一四	八九七	十月十八日	四七〇	内田外務大臣ヨリ 在英國林大使宛(電報)	日英同盟更新ニ付英國ガ米國ノ意向 ヲ問フ理由内探方訓令ノ件……………一三七
六	三八五	十月十九日	四七二	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛(電報)	ヤップ島海底電線ニ対スル和蘭政府 ノ立場ヲ日蘭通信社報道ノ件……………四九六
六	三八六	十月十九日	一九四	在伊國落合大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ヤップ島ノ地位ニ関シ最高會議ノ決 定ヲ通信會議ニ於テ變更スルハ適當 ニ非ズト伊國外相言明ノ件……………四九六
六	三八七	十月十九日	通六五	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	國際通信予備會議ニ提出ノ英國側妥 協案ニ関シ佐分利書記官ノ質問ニ英 國委員ノ隨員応答ノ件……………四九七
七	五七九	十月十九日	四〇	内田外務大臣ヨリ 在白國安達公使宛(電報)	委任統治ニ関シ聯盟理事會ニ対シ原 首相ノ回答通知方石井大使ニ訓令ノ 件……………七二三
一〇	七三六	十月十九日	八〇七	内田外務大臣ヨリ 在仏国石井大使宛(電報)	賠償問題ニ関スル武府會議其他同種 會議ニハ我方代表者ヲ参加セシムル 様取計方訓令ノ件……………九五九
六	三八八	十月二十日	通六六	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	外國海底電信線陸揚問題ニ関スル日 本政府ノ方針ニ付請訓ノ件……………四九九
別電 同日在米國幣原大使宛内田外務大臣宛電報通第六七号					海底電信線陸揚權問題ニ関スル英仏伊各國ノ取扱振報告ノ……………四九九
七	五八〇	十月二十日	四一	内田外務大臣ヨリ 在白國安達公使宛(電報)	常設委任統治委員會ノ構成ニ関スル 聯盟事務局案ニ付我方ノ意見石井大 使ニ回示ノ件……………七二三
九	六五一	十月二十日	二二八	大角在仏国日本大使館附海軍 武官ヨリ 井出海軍次官下軍令部次長 宛(電報)	常設軍事諮問委員會ニ於テ毒瓦斯及 兵器売買取締ニ関シ討議ノ件……………八三三
一	九	十月二十一日		外務省告示	對埃國平和條約等批准済ノ旨仏國政 府へ通報ノ件……………五
附記 樞密院審査委員提出ノ對埃國平和條約等御批准ノ件外一件審査報告……………六					
三	一四九	十月二十一日	二	在仏国石井大使(武府出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	第十回聯盟理事會ニ於テアルメニア 俘虜送還波蘭チブス及オイペン、マ ルメデ、並各種委員會費用等ノ問題 討議ノ件……………二二三
五	二六六	十月二十一日	九〇四	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	我政府ガ応訴義務規定ニ反對セラル ル理由ニ関シ再考ノ余地アルヤニ付 意見稟申ノ件……………三六五
六	三八九	十月二十一日	通六八	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	旧独線処分ニ関シデヴィスト會談ノ 件……………五〇〇
六	三九〇	十月二十一日	通六九	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	獨蘭電信會社ニ関スル覺書ニ付蘭國 代理公使ト佐分利書記官會談ノ件……………五〇三
五	二六七	十月二十二日	三	在仏国石井大使(武府出張中) ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	武府聯盟理事會ニ於テ國際司法裁判 所ニ関スル諸問題特ニ応訴義務問題 審議ノ件……………三六七

六 三九一 十月二十二日 九一一 在英國林大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
ヤップ島ノ日本委任統治支持方在米
國英國委員ニ電報セル旨英國外務次
官言明ノ件……………五〇三

九 六五二 十月二十二日 二二〇 大角在仏國日本大使館附海軍
武官ヨリ
井出海軍次官竹下軍令部次長
宛（電報）
常設軍事諮問委員會海陸空合同總會
ニ於ケル議決事項報告ノ件……………八三四

九 六五三 十月二十二日 二二二 大角在仏國日本大使館附海軍
武官ヨリ
井出海軍次官竹下軍令部次長
宛（電報）
常設軍事諮問委員會總會報告書草案
討議ノ件……………八三四

六 三九二 十月二十三日 一六三六 在仏國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
ヤップ島ノ國際化ニ関スル米國ノ主
張及旧独線ニ関スル同國ノ要求ニ反
對スル日仏兩國ノ協調方ニ付申越ノ
仏國覚書全文電報ノ件……………五〇四

六 三九三 十月二十三日 通七〇 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
通信予備會議第一分科會第四回會議
ノ模様報告ノ件……………五〇五

別電 同日在米國幣原大使宛内田外務大臣宛電報通第七一號
旧独線処分問題ニ関スル仏國委員ラブラデル陳述……………五〇六

一〇 七三七 十月二十三日 九一〇 在英國林大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
山東鐵道及鉦山ニ付独逸國民ノ有ス
ル利益ノ評價ニ関スル賠償委員會ノ
決議取消方ノ訓令再考セラレ度旨稟
申及請訓ノ件……………九五九

一〇 七三八 十月二十三日 九一二 在英國林大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
武府財政専門家會議及壽府代表者會
議ノ開催期日決定次第我方ニ通知ス
ベキ旨クロ一次官回答ノ件……………九六二

三 一五〇 十月二十五日 九 在仏國石井大使（武府出張中）
ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
第十回理事會ニ於テ委任統治委員會
設置問題討議ノ件……………二二六

一〇 七三九 十月二十五日 一六三九 在仏國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
賠償委員會ヨリ我國ノ損害額ノ評價
提出ヲ要請越ノ件……………九六二

六 三九四 十月二十六日 通七二 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
國際通信予備會議第五分科會ノ模様
報告ノ件……………五〇七

別電 同日在米國幣原大使宛内田外務大臣宛電報通第七三號
仏國委員提案ノ十八事項……………五〇八

三 一五一 十月二十七日 一〇 在仏國石井大使（武府出張中）
ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
在露羅國俘虜送還オランダ島問題
理事會ノ事業報告書等討議ノ件……………二二九

六 三九五 十月二十七日 四八五 内田外務大臣ヨリ
在英國林大使宛（電報）
通信予備會議ニ於テ日英仏三国協調
ノ実ヲ拳グル様我在英米各國大使ニ
訓電方仏國大使申出ニ付英國當局ニ
申入方訓令ノ件……………五一〇

六 三九六 十月二十七日 四八五 内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛（電報）
旧独逸海底電線処分問題ニ関シ仏國
側ガ要求ヲ変更セル事情調査方訓令
ノ件……………五一〇

六 三九七 十月二十七日 九二〇 在英國林大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
ヤップ島ノ日本委任統治支持方英國
委員ニ訓電セル旨英國外務次官言明
ノ件……………五一一

六 三九八 十月二十七日 通七六 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
國際通信會議公表委員會ノ發表文報
告ノ件……………五一一

別電 同日在米國幣原大使宛内田外務大臣宛電報通第七七號
右發表文……………五一一

一五 九八六 十月二十七日 六一〇 内田外務大臣ヨリ 在中國小幡公使宛 (電報) 東支鐵道株主總會ノ模様精探電報方
訓電ノ件 …… 一二二一

一五 九八七 十月二十七日 六一三 内田外務大臣ヨリ 在中國小幡公使宛 (電報) 東支鐵道ヘノ英米共同投資熱ノ動向
ニ關聯シ米國側ノ對中國接洽ノ有無 …… 一二三二

三 一五二 十月二十八日 田中通商局長ヨリ 内田外務大臣宛 波蘭ニ於ケル塞扶斯予防救援費釐金
方ニ關スル件 …… 一二二九

三 一五三 十月二十八日 一三 在仏國石井大使(武府出張中) ヨリ 内田外務大臣宛 (電報) 聯盟ノ予算事務局職員俸給支払方法
及少數民族保護問題討議ノ件 …… 一二二〇

三 一五四 十月二十八日 一五 在仏國石井大使(武府出張中) ヨリ 内田外務大臣宛 (電報) 委任統治問題ニ關シ討議ノ件 …… 一二二二

五 二六八 十月二十八日 一二 在仏國石井大使(武府出張中) ヨリ 内田外務大臣宛 (電報) 武府聯盟理事会ニ於テ國際司法裁判
所ニ對シ各國ヨリ意見ヲ提出シ得ベ
キ旨ノ規定案ヲ公法家ノ審査ニ委シ
タル件 …… 三六八

別電 十月三十日石井大使宛内田外務大臣宛電報ブラッセル第一

二号

右規約案ニ對スル公法家ノ修正案

六 三九九 十月二十八日 九二三 在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛 (電報) 通信予備會議ニ於ケル日英仏三国ノ
同一態度ニ關スルタイムス紙掲載ノ
華府通信ニ付報告ノ件 …… 五一三

一〇 七四〇 十月二十八日 二三八 在獨國出淵臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛 (電報) 獨逸ノ賠償義務不履行ノ場合英國政
府ハ獨逸國民ノ英國内財産差押ノ權
利ヲ行使セザル旨獨逸ニ通告ノ件 …… 九六四

一〇 七四一 十月二十八日 一六五九 在仏國石井大使ヨリ 内田外務大臣宛 (電報) 獨逸ノ賠償義務不履行ノ場合ニ對ス
ル英國ノ態度ニ關シ英國ヨリ仏國ニ
通告ノ件 …… 九六四

一五 九八八 十月二十八日 八二四 在內田外務大臣ヨリ 在仏國石井大使宛 (電報) 露重銀行ヲ仏國籍ニ變更スル計畫ノ
推移ニ付注意シ報告スル様訓電ノ件 …… 一二二二

六 四〇〇 十月二十九日 通八一 在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛 (電報) 國際通信會議予備會議ニ於ケル仏國
側ノ要求變更ニ關シ仏國委員長談等
報告ノ件 …… 五一三

六 四〇一 十月二十九日 九二七 在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛 (電報) ヤップ島問題ニ關シ日本政府ヲ支持
スル様ニ在米英國大使ニ訓令セル旨英
國政府ヨリ回答越ノ件 …… 五一四

三 一五五 十月三十日 一四 在仏國石井大使ヨリ 内田外務大臣宛 (電報) 理事會議事規則追補及委任統治委員
会等ノ問題ニ關スル件 …… 一二二五

一〇 七四二 十月三十日 八三七 在內田外務大臣ヨリ 在仏國石井大使宛 (電報) 賠償委員會ヨリノ我國損害額ノ評價
提出方要請ニ對スル措置ニ付回訓ノ
件 …… 九六五

一五 九八九 十月三十日 一一四七 在中國小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛 (電報) 中國政府東支鐵道ニ關スル暫行協定
公表ノ件 …… 一二二三

三 一五六 十月三十一日 一八 在仏國石井大使ヨリ 内田外務大臣宛 (電報) 武府財政會議報告及財政經濟委員會
組織並原料品独占問題討議ノ件 …… 一二二五

十一月

三 一五七 十一月一日 一六七一 在仏國石井大使ヨリ 内田外務大臣宛 (電報) 第十回理事会公開會議ニ於ケル議題
及報告決議ノ件 …… 一二二九

六 四〇二 十一月 一日 通八六 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

旧独海底電線処分ニ関シ英米間及仏米間各個別交渉ノ現情報告ノ件……………五二四

三 一五八 十一月 二日 一六七〇 在仏国石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

波蘭リスニア紛争ニ関スル件……………二三〇

三 一五九 十一月 二日 一六七六 在仏国石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

海牙公法家会議提出ノ三希望ヲ總會附議ノコトニ決シタル件……………二三一

別電 十一月一日在仏国石井大使宛内田外務大臣宛電報第一六七

七号

常設國際司法裁判所ノ管轄權ニ関シ希臘理事ノ報告ニ附加……………二二二

セラレタル希望

三 一六〇 十一月 二日 一六七九 在仏国石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ダンチツヒ憲法少數民族保護聯盟規約修正提議統計委員會軍事委員會等ニ関スル件……………二二三

五 二六九 十一月 二日 四九一 内田外務大臣ヨリ
在英國林大使宛(電報)

我政府ガ応訴義務規定ニ反対スル理由及本問題ニ関スル我政府ノ意向回訓ノ件……………三七〇

六 四〇三 十一月 二日 在本邦仏国大使ヨリ
内田外務大臣宛

通信予備會議ニ於テ仏国側ニ対シ日本側ノ積極的支持方申越ノ件……………五二五

三 一六一 十一月 三日 四七 内田外務大臣ヨリ
在白国安達公使宛(電報)

波蘭チブス予防救援費十萬法釐出ニ付指示ノ件……………二二六

四 一九三 十一月 三日 在本邦仏国大使ヨリ
壇原外務次官宛

独逸ノ聯盟加入問題ニ関スル口上書ヲ内田外務大臣ニ轉達方依頼ノ件……………二六九

附屬書 右口上書……………二六九

六 四〇四 十一月 三日 五〇五 内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛(電報)

旧独蘭電信会社所屬ノ海底電線ニ関シ閣議決定ノ趣旨ニ依リ蘭國ト交渉ノ旨通報ノ件……………五一六

別電 同日内田外務大臣宛在米國幣原大使宛電報第五〇六号

右閣議決定……………五一六

六 四〇五 十一月 三日 日本外務省ヨリ
在本邦蘭國公使館宛

旧独蘭電信会社所屬ノ海底電信線ニ関シ日蘭兩國間ニ新ニ協定締結方提議ノ件……………五一七

一五 九九一 十一月 三日 三五二 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

中国政府及露亜銀行間東支鉄道新契約送付ノ件……………二二三

六 四〇六 十一月 四日 五〇七 内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛(電報)

通信予備會議ニ於テ仏国側ニ対シ日本委員ノ積極的支持方仏国側ヨリ要望越ノ件……………五二〇

六 四〇七 十一月 四日 通九二 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

通信予備會議第一分科会ノ審議停滯情況報告ノ件……………五二〇

七 五八一 十一月 四日 一六九三 在仏国石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

聯盟側ハ規約ニ基キC式統治委任状様式問題解決ニ着手ノ形勢ナルニ付注意方稟申ノ件……………七二四

六 四〇八 十一月 五日 五一〇 内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛(電報)

旧独蘭電信会社所屬ノ海底電線ニ関シ蘭國公使ニ覚書手交ノ旨通報ノ件……………五二二

一〇 七四三 十一月 五日 一六九六 在仏国石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

武府財政専門家會議ニ日本ノ専門家列席方ニ関シベルトロイ氏ト会谈ノ件……………九六六

三 一六二 十一月 六日 一七〇二 在仏国石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

波蘭チブス予防救援費十萬法釐出ノ旨理事會議長宛通報ノ件……………二二六

四	一九四	十一月 六日	八五〇	在內田外務大臣ヨリ 在仏国石井大使宛 (電報)	独逸ノ聯盟加入問題ニ関スル取扱方 ニ付在本邦仏国大使ヨリノ申出ヲ通 報及指示ノ件	二七〇
六	四〇九	十一月 六日	五二二	在內田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛 (電報)	旧独電線処分問題ニ関シ英仏ノ要求 ヲ充分支持シ我目的達成ニ尽力方訓 電ノ件	五二二
六	四一〇	十一月 六日	通九三	在米國幣原大使ヨリ 在內田外務大臣宛 (電報)	通信予備會議ニ於ケル日本側ノ態度 ニ関スル誤解ハ氷解セル旨回報ノ件	五二二
六	四一一	十一月 六日	通九四	在米國幣原大使ヨリ 在內田外務大臣宛 (電報)	旧独電線処分問題解決ノ為我方ニ於 テ斡旋ノ勞ヲ取ルヲ得策ト認メ意見 具申並請訓ノ件	五二三
七	五八二	十一月 六日	一七〇九	在仏国石井大使ヨリ 在內田外務大臣宛 (電報)	A式委任統治条約ノ調印ニ関シ仏国 側ヨリ我方ノ意向ヲ問合セルニ付請 訓ノ件	七一五
一〇	七四四	十一月 六日	四九七	在內田外務大臣ヨリ 在英國林大使宛 (電報)	山東鐵道及鈺山ニ付独逸國民ノ有ス ル利益ノ評價ニ関スル賠償委員會ノ 態度ニ對シ我方ノ措置振回訓ノ件	九六七
附記一					大正八年七月十七日在仏国松井大使宛內田外務大臣宛電	九六九
附記二					大正八年七月二十三日在內田外務大臣松井大使宛電報第 報講第一六五八号	九七〇
附記三					大正八年六月二十四日松井大使宛內田外務大臣宛電報第 第一四三九号	九七〇
四	一九五	十一月 七日	一一八〇	在中國小幡公使ヨリ 在內田外務大臣宛 (電報)	聯盟會議ニ提出スベキ山東問題ニ関 シ顧維鈞ヨリ中央政府ニ請訓セル旨 ノ報道通報ノ件	二七〇
四	一九六	十一月 七日	一七一二	在仏国石井大使ヨリ 在內田外務大臣宛 (電報)	總會仮議題改定分報告ノ件	二七一
六	四一二	十一月 七日	通九七	在米國幣原大使ヨリ 在內田外務大臣宛 (電報)	通信予備會議第一分科会第五回會議 ノ模様報告ノ件	五二五
別電					同日在米國幣原大使宛內田外務大臣宛電報通第九八号	五二五
六	四一三	十一月 七日	米通三四	在華盛頓清河海軍大佐ヨリ 井出海軍次官宛 (電報)	旧独線処分問題ニ関シ報告及意見具 申ノ件	五二七
四	一九七	十一月 八日	九四	在シドニー玉本總領事代理ヨリ 在內田外務大臣宛 (電報)	聯盟會議ニ對スル日本側ノ人種問題 提起ニ関シ「サン」紙論評ノ件	二七一
六	四一四	十一月 八日	通九九	在米國幣原大使ヨリ 在內田外務大臣宛 (電報)	第一分科会第五回會議ニ於ケル本使 陳述ニ對シ仏國委員長來訪謝意表彰 ノ件	五二九
九	六五四	十一月 八日	一七二三	在仏国石井大使ヨリ 在內田外務大臣宛 (電報)	第十回聯盟理事會ニ於テ常設軍事諮 問委員會事業ニ関シ仏國代表者報告 ノ件	八三六
一四	八九八	十一月 八日	九四	在シドニー玉本總領事代理ヨリ 在內田外務大臣宛 (電報)	聯盟總會濠洲代表者ガ人種、日英同 盟、委任統治ノ諸問題ニ付為セル談 話ニ関スルサン新聞記事報告ノ件	九四
四	一九八	十一月 九日		閣議決定	國際聯盟總會第一回會議日本代表ニ 對スル訓令ノ件	二七三
附記					十一月九日外交調査會決定	二七九
同右件						二七九

六 四一五 十一月 九日 外交調査会附議案 スル件 「ヤップ」島及独逸海底電信線ニ関 五二九

一四 八九九 十一月 九日 在英國林大使ヨリ 態度ニ関スル英米ノ疑懼ヲ解クベキ 一三九

内田外務大臣宛（電報）

六 四一六 十一月 十日 内田外務大臣ヨリ 旧独線帰属問題ニ関シ米仏間ノ妥協 五三〇

在米國幣原大使宛（電報）

四 一九九 十一月 十一日 在仏國石井大使ヨリ 聯盟事務局ノ準備セル総会仮議事規 二八〇

内田外務大臣宛（電報）

別電 在仏國石井大使宛内田外務大臣宛電報第一七三一号

事務局準備ニ係ル右仮議事規則

六 四一七 十一月 十一日 在米國幣原大使ヨリ 旧独線処分問題ニ関シ諸国間ノ關係 五三〇

内田外務大臣宛（電報）

六 四一八 十一月 十一日 在米國幣原大使ヨリ 太平洋海底電信線処分問題ニ関シ英仏 五三二

内田外務大臣宛（電報）

一〇 七四五 十一月 十一日 在仏國石井大使ヨリ 賠償問題ニ関スル武府會議ニ我方專 九七一

内田外務大臣宛（電報）

七 五八三 十一月 十二日 在仏國石井大使宛 A式条約調印問題ニ対スル我方ノ意 七一五

内田外務大臣宛（電報）

九 六五五 十一月 十二日 官房機密 井出海軍次官ヨリ 十月ノ常設軍事諮問委員會決議ニ関 八三八

埴原外務次官宛

附屬書 十一月十一日井出海軍次官宛大角在仏國日本大使館附海軍

武官宛電報

竹下海軍代表ニ対スル訓令伝達方ノ件

一四 九〇〇 十一月 十二日 在英國永井臨時代理大使ヨリ 英國自治領首相會議ハ明年六月中旬 一一四一

内田外務大臣宛（電報）

六 四一九 十一月 十三日 内田外務大臣ヨリ 米國ハ最高會議ガヤップ島ニ関スル 五三三

在米國幣原大使宛（電報）

別電 同日内田外務大臣宛在米國幣原大使宛電報第五一九号

右申越ノ覺書全文 五三三

六 四二〇 十一月 十三日 在米國幣原大使ヨリ 太平洋海底電信線問題ニ関シ英國側ヨ 五三四

内田外務大臣宛（電報）

六 四二一 十一月 十三日 在米國幣原大使ヨリ 太平洋海底電信線ニ関シ蘭國ノ希望ニ 五三五

内田外務大臣宛（電報）

六 四二二 十一月 十三日 在米國幣原大使ヨリ 旧独線ノ權利繼承ノ場合ニ於ケル該 五三六

内田外務大臣宛（電報）

一四 九〇一 十一月 十三日 在英國林大使ヨリ 日英同盟更新ニ付米國ノ意向ヲ考慮 一一四一

内田外務大臣宛（電報）

一五 九九二 十一月 十三日 在中國小幡公使ヨリ 東支鐵道新契約急遽調印ノ内幕東支 一二二六

内田外務大臣宛（電報）

六 四二三 十一月十四日 通一二二 在米國幣原大使ヨリ
旋ノ為ハ英米三国委員ト会談ノ件……………五三六

四 二〇〇 十一月十五日 八七七 内田外務大臣ヨリ
在仏國石井大使宛（電報）……………二八一

四 二〇一 十一月十五日 一五 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨ
内田外務大臣宛（電報）……………二八一

三 一六三 十一月十六日 一七 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨ
内田外務大臣宛（電報）……………二八六

四 二〇二 十一月十六日 一六 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨ
内田外務大臣宛（電報）……………二八二

附記一 第一回聯盟總會ニ於ケル各委員會事務分担表……………二八三
二 聯盟總會第一回會議關係出張者官氏名……………二八四

四 二〇三 十一月十六日 二〇 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨ
内田外務大臣宛（電報）……………二八五

四 二〇四 十一月十六日 二二 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨ
内田外務大臣宛（電報）……………二八六

六 四二四 十一月十六日 五三八 内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛（電報）……………五四〇

六 四二五 十一月十六日 五三九 内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛（電報）……………五四一

六 四二六 十一月十六日 一八三 在蘭國二見臨時代理公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）……………五四一

一〇 七四六 十一月十六日 一七四八 在仏國松田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）……………九七一

別電 同日在仏國松田臨時代理大使宛内田外務大臣宛電報第一七
四九号……………九七一
右英仏間協定……………九七一

四 二〇五 十一月十七日 二三 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨ
内田外務大臣宛（電報）……………二八七

四 二〇六 十一月十七日 二五 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨ
内田外務大臣宛（電報）……………二八八

四 二〇七 十一月十七日 一五 内田外務大臣ヨリ
在ジュネーヴ聯盟總會代表宛
（電報）……………二八九

四 二〇八 十一月十七日 一六 内田外務大臣ヨリ
在ジュネーヴ聯盟總會代表宛
（電報）……………二九二

五 二七〇 十一月十七日 一四 内田外務大臣ヨリ
在ジュネーヴ聯盟總會代表宛
（電報）……………三七三

六 四二七 十一月十七日 通一一三 在米國幣原大使ヨリ 旧独線問題ニ関シ仏國委員ガ米國委員ト会见ノ結果ヲ内話ノ件 …… 五四二

六 四二八 十一月十七日 通一一四 在米國幣原大使ヨリ 通信予備會議第一分科会第六回會議ノ模様報告ノ件 …… 五四二

一〇 七四七 十一月十七日 一七五一 在仏國松田臨時代理大使ヨリ 山東鐵道鈦山ニ関シ日本政府ノ借方ニ記入スベキ金額決定ノ問題ニ付賠償委員會法律部ヨリ我方ノ法律的意思見ヲ照会越ノ件 …… 九七二

六 四二九 十一月十八日 五四〇 在米田外務大臣ヨリ ヤップ關係海底電線ノ精算価格ニ付追報ノ件 …… 五四四

一〇 七四八 十一月十八日 一七五三 在仏國松田臨時代理大使ヨリ 独逸賠償金ニ関スル英仏間協定ニ賛同方及武府會議ニ日本代表任命方仏國側ヨリ申越ノ件 …… 九七三

三 一六四 十一月十九日 三四 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ ダンチヒ市ノ防備及憲法問題討議ノ件 …… 二三九

別電

同日在ジュネーヴ聯盟總會代表内田外務大臣宛電報第三

五号

右問題ニ関スル決議文

…… 二四〇

四 二〇九 十一月十九日 三〇 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ 總会副議長長問題ニ関シ折衝狀況報告ノ件 …… 二九二

内田外務大臣宛 (電報)

六 四三〇 十一月十九日 日本外務省ヨリ 日本委任統治ノ区域ニ関シ最高會議ニ於テヤップ島除外ノ留保ヲ附シタル事実ナキ旨回答ノ件 …… 五四五

在本邦米國大使館宛

六 四三一 十一月十九日 五三三 在米田外務大臣ヨリ ヤップ島ニ関スル米國側申越ニ対スル我方ノ応酬振通報並英國ノ支持要請方訓令ノ件 …… 五四六

在英國永井臨時代理大使宛 (電報)

六 四三二 十一月十九日 通一一五 在米國幣原大使ヨリ ヤップ島問題ニ関スル米國ノ覺書ニ對シ執ルベキ措置ニ付意見具申ノ件 …… 五四六

内田外務大臣宛 (電報)

四 二一〇 十一月二十一日 三七 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ 各委員會ノ議事進行方法ニ関スル件 …… 二九三

内田外務大臣宛 (電報)

五 二七一 十一月二十二日 一九 在ジュネーヴ聯盟總會代表宛 常設國際司法裁判所構成案中ノ疑点ニ付安達公使ニ問合ノ件 …… 三七四

内田外務大臣ヨリ (電報)

六 四三三 十一月二十二日 在本邦蘭國公使ヨリ 旧独線会社所屬ノ海底電線ニ関シ蘭國ニ對スル日本ノ提議ニ付問合越ノ件 …… 五四八

内田外務大臣宛

一〇 七四九 十一月二十二日 八九一 在米田外務大臣ヨリ 山東鐵道及鈦山ニ関スル賠償委員會ノ態度不當ナル所以ニ付同委員會ノ了解ヲ求メ置カレ度旨回訓ノ件 …… 九七四

在仏國松田臨時代理大使宛 (電報)

四 二一一 十一月二十三日 四八 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ 第一委員會ニ於ケル聯盟規約改正問題討議ノ件 …… 二九四

内田外務大臣宛 (電報)

六 四三四 十一月二十三日 通二一〇 在米國幣原大使ヨリ 太平洋旧独線処分ニ関シ英國委員ブラウンヨリ私案内示越ノ件 …… 五四八

内田外務大臣宛 (電報)

別電

同日在米國幣原大使宛内田外務大臣宛電報通第二二二号

右英國委員ノ私案

…… 五四九

六 四三五 十一月二十三日 二三七 在伊國落合大使ヨリ ヤップ島問題ニ関シ伊國外相ニ對シ我方支持ヲ期待スル旨申入ノ件 …… 五五一

内田外務大臣宛 (電報)

七	五八四	十一月二十三日	四四	在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	委任統治問題ニ関スル總會及理事会 ノ取扱方ノ件……………七一六
七	五八五	十一月二十三日	四五	在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	独逸政府ヨリ旧独領殖民地ノ処分ニ 関シ聯盟事務局ニ覚書ヲ送付ノ件……………七一六
一	二六	十一月二十四日	五九一	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	平和条約批准問題ニ関スル米國ノ態 度予測ニ関スル件……………三〇
四	二二二	十一月二十四日	五〇	在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	總會ニ於ケル理事会事業報告ニ関ス ル批評並諸動議討議ノ際ノ主要事項……………二九五
六	四三六	十一月二十四日	五四九	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛（電報）	旧独線処分ニ関シ米國委員ガ海牙陸 戦法規第五十四条ヲ援用セル趣意ニ……………五五一
六	四三七	十一月二十四日	一七七六	在仏國松田臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	ヤップ島問題ニ関シ仏國政府ノ支持 ヲ期待スル旨ノ公文ヲ政務通商局長 ニ手交ノ件……………五五二
一〇	七五〇	十一月二十四日	二五七	在獨國出淵臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	独逸ノ賠償義務不履行ノ場合ニ関ス ル英國政府ノ措置ニ倣ヒ可然旨稟申……………九七四
三	一六五	十一月二十五日	五四	在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	アルメニア問題調停ニ関スル件……………二四一
三	一六六	十一月二十五日	五五	在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	アルメニア調停問題ニ関シ聯盟加盟 國及米國ニ發電ノ件……………二四二
四	二二三	十一月二十五日	一二五五	在中國小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	中国側顧唐両全權ヨリ今次總會ニ差 当リ山東問題ヲ提出セザル旨中央政 府ニ電稟アリタル趣ノ新聞報ニ付報 告ノ件……………二九七
六	四三八	十一月二十五日	通一二三	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	太平洋旧独線処分ニ関スル英國委員 ノ私案ニ付意見稟申及請訓ノ件……………五五二
一五	九九三	十一月二十五日		露並銀行重役下、ホイヤ 小田切横濱正金銀行取締 会談 役	東支鐵道ノ經理、重役會議ノ表決方 法、中国側ノ横暴等ニ付下、ホイヤ………一二二七 一氏談話ノ件
四	二一四	十一月二十六日	六〇	在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	總會内外ノ雰囲気中注意ヲ要スル事 項ニ付報告ノ件……………二九七
七	五八六	十一月二十六日	九八	在シドニー玉木總領事代理ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	米國政府ハ英國政府宛公文ヲ以テ委 任統治問題ニ関スル自國ノ主張ヲ声 明セル旨ノ華府発新聞電報ニ付報告 ノ件……………七一七
九	六五六	十一月二十六日	一〇	在ジュネーヴ竹下海軍糧垣陸 軍靜岡空軍各代表ヨリ 内田外務大臣田中陸軍加藤海軍各 大臣宛（電報）	常設軍事諮問委員會ニ於テ聯盟加入 申込諸國ノ軍備審査軍備制限問題等……………八三九
六	四三九	十一月二十七日	通二二四	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	旧独線処分ニ関シ海牙陸戦法規第五 十四条ニ対スル米國ノ解釈ニ付回報 ノ件……………五五四
六	四四〇	十一月二十七日	通二二五	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	最高會議ノ決定ハ日本ノ委任統治区 域内ニヤップ島ヲ包含スルモノナル 旨仏國政府ノ確認ヲ得ル様措置方ニ 付稟申ノ件……………五五五

九	六五七	十一月二十七日	六二	在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	常設軍事諮問委員會本邦代表事務所 ノ巴里移転方ニ付意見具申ノ件……………八四〇
一四	九〇二	十一月二十七日	一〇二九	在英国永井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	日英同盟更新ニ付自治領ノ意見問合 及濠洲加奈陀ノ右更新反対ニ関シ極……一四一 東部長談話ノ件
七	五八七	十一月二十八日	六四	在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	第十一回聯盟理事會ニ於ケル委任統 治委員會構成問題審議ニ付報告ノ件……………七一八
三	一六七	十一月二十九日	六八	在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	委任統治委員會ノ構成委任統治協約 等ノ問題討議ノ件……………二四三
六	四四一	十一月二十九日	五六三	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛（電報）	ヤップ關係海底電線ニ関スル我方ノ 對蘭國提議ニ付蘭國側ヨリノ問合ニ……五五六 對スル我回答振通報ノ件
六	四四二	十一月二十九日	通二二六	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	旧独線処分問題ニ関シ五國委員長協 議會ノ經過要點報告ノ件……………五五六
七	五八八	十一月二十九日	六九	在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	C式委任統治問題ニ関シ我主張固持 ノ場合ト讓歩ノ場合ノ得失ニ付意見 具申及請訓ノ件……………七二〇
一〇	七五一	十一月二十九日	六五	在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	山東鐵道及鈺山ニ於ケル私有益評 価問題ニ付賠償委員會法律部ヨリ我 方ヘノ問合ニ對スル回答振ニ付稟申 ノ件……………九七五
六	四四三	十一月三十日	通二二七	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	ヤップ島問題ニ関シデヴィスト會談 ノ件……………五五九
六	四四四	十一月三十日	一〇三三	在英国永井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	ヤップ島問題ニ関シ日本支持ノ英國 政府ノ態度ニ付報告ノ件……………五六〇
九	六五八	十一月三十日	七三	在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	總會第六委員會ニ於テ軍備制限問題 討議ノ件……………八四一
九	六五九	十一月三十日	一九	在ジュネーヴ竹下海軍代表ヨリ 加藤海軍大臣山下軍令部長宛 （電報）	總會第六委員會ニ對シ軍事諮問委員 會ヨリノ連絡將校參加方等ニ付右委 員會總會決議ノ件……………八四二

十二月

三	一六八	十二月一日	七六	在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	波蘭リシアニア間係争地方ニ人民投 票施行ニ関スル件……………二四六
四	二一五	十二月一日	七四	在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	總會議事規則及聯盟規約變更問題ヲ 議題トセル本會議ニ於テ石井代表演 説ノ件……………二九九
四	二一六	十二月一日	七五	在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	石井代表演説ニ對スル濠洲ニュージ ーランド各代表ノ感想ニ関スル件……………三〇〇
四	二一七	十二月一日	八〇	在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	第一委員會ヨリ總會議ニ提出セラレ タル總會議事規則案ニ関スル件……………三〇一

五 二七二 十二月 一日 七九 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ
内田外務大臣宛（電報）……………三七五

六 四四五 十二月 一日 五六四 内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛（電報）……………五六〇

九 六六〇 十二月 一日 一四 在ジュネーヴ竹下海軍糧垣陸
軍顧問空軍各代表ヨリ
内田外務大臣陸軍加藤海軍各
大臣宛（電報）……………八四三

一〇 七五二 十二月 一日 九〇〇 内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛（電報）……………九七八

三 一六九 十二月 二日 八二 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ
内田外務大臣宛（電報）……………二四六

三 一七〇 十二月 二日 八三 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ
内田外務大臣宛（電報）……………二四七

六 四四六 十二月 二日 五六五 内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛（電報）……………五六〇

六 四四七 十二月 二日 五四七 内田外務大臣ヨリ
在英國永井臨時代理大使宛
（電報）……………五六一

六 四四八 十二月 二日 一〇四四 在英國永井臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）……………五六一

六 四四九 十二月 二日 機密公
三三三 在英國永井臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛……………五六一

附屬書 十二月一日附英國外務大臣ヨリ永井臨時代理大使宛書翰写……………五六二

六 四五〇 十二月 二日 通一二九 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）……………五六三

七 五八九 十二月 二日 八四 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ
内田外務大臣宛（電報）……………七二二

一五 九九四 十二月 二日 四七一 在奉天赤塚總領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）……………一二二九

六 四五一 十二月 三日 通二三三 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）……………五六五

六 四五二 十二月 三日 關議決定
……………五六八

九 六六一 十二月 三日 一六 在ジュネーヴ竹下海軍糧垣陸
軍顧問空軍各代表ヨリ
内田外務大臣陸軍加藤海軍各
大臣宛（電報）……………八四四

九 六六二 十二月 三日 一八 在ジュネーヴ糧垣陸軍竹下海
軍顧問空軍各代表ヨリ
田中陸軍加藤海軍内田外務各
大臣宛（電報）……………八四五

三 一七一 十二月 四日 九三 在ジュネーブ聯盟總會代表ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) 常設軍事委員會ハ理事会ヨリ米國ニ
對シ代表者派遣方招請アリ度旨ヲ決……………二四八
議シ之ヲ理事会ニ通告ノ件

五 二七三 十二月 四日 九二 在ジュネーブ聯盟總會代表ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) 常設ノ聯盟日本事務局設置方ニ關シ
意見具申及請訓ノ件……………三七六

附記 十一月二十五日附山川臨時平和事務局第一部長ヨリ内田外
務大臣宛高裁案……………三七六

七 五九〇 十二月 四日 五五〇 内田外務大臣ヨリ
在英國永井臨時代理大使宛 (電報) C式委任統治協約問題ニ關スル日英
交渉ノ行掛ヲ英國政府当局ニ指摘シ
英國側ノ態度ニ付説明ヲ求ムル様訓
令ノ件……………七二二

六 四五三 十二月 五日 通一三七 在英國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) 旧独線処分問題ニ關スル第六回五
委員長会合ノ模様報告ノ件……………五六九

一〇 七五三 十二月 五日 九四 在ジュネーブ聯盟總會代表ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) 武府会議出席ノ我方代表者選任ニ付
請訓ノ件……………九七九

三 一七二 十二月 六日 九六 在ジュネーブ聯盟總會代表ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) 波蘭リスニア紛争聯盟加入申出国
オイペン、マルメディ、少数民族保護……………二四八
等ニ關スル件

七 五九一 十二月 六日 五〇 内田外務大臣ヨリ
在ジュネーブ聯盟總會代表宛 (電報) 十二月一日ノ理事会ニ於ケル委任統
治ニ關スル議事經過ニ付問合ノ件……………七二三

七 五九二 十二月 六日 九七 在ジュネーブ聯盟總會代表ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) シリア、レバノン地方委任統治条項
ノ理事会承認案ニ付報告及請訓ノ件……………七二四

一〇 七五四 十二月 六日 一〇五六 在英國永井臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) 日本ノ賠償委員會出席問題及武府会
議我方代表ノ人選ニ關シ稟申ノ件……………九七九

一五 九九五 十二月 六日 並一機送
二九 内田外務大臣ヨリ 東支鉄道經營ノ國際化ニ我方反対ノ
事由回示ノ件……………一二二九

一五 九九六 十二月 六日 五〇二 在浦潮菊池政務部長ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) 極東露領ヘノ外国資本導入ニ關シ齊
多政府工業大臣ニ内定ノレオーノフ
ノ内話報告ノ件……………一二三〇

三 一七三 十二月 七日 一八〇五 在仏國松田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) アルメニア問題ニ關シ聯盟理事会ヨ
リ原總理大臣宛電報ニ關スル件……………二四九

三 一七四 十二月 七日 一〇一 在ジュネーブ聯盟總會代表ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) 波蘭リスニア紛争ニ關シ「リ」國
側ヨリ理事会ニ對シ軍隊派遣延期方
申出ノ件……………二五〇

六 四五四 十二月 七日 通一三八 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) ヤップ島ステータス問題ニ關スル件……………五七二

六 四五五 十二月 七日 一八〇三 在仏國松田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) ヤップ島ハ日本ノ委任統治地域中ニ
包含セラルルモノト思考スル旨仏國
政府ヨリ書面ニテ回答越ノ件……………五七二

七 五九三 十二月 七日 關議決定 C式委任統治問題ニ對スル我最後ノ
對案ニ關スル件……………七二五

一五 九九七 十二月 七日 五〇六 在浦潮菊池政務部長ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) 旧セメノフ及カッペリ兩軍将卒ノ浦
潮方面ヘノ鉄道輸送ニ關シ露國側ト
中國軍憲トノ意見對立シ紛糾ノ件……………一二三一

五 二七四 十二月 八日 一〇三 在ジュネーブ聯盟總會代表ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) 第一回總會第三委員會分科会ニ於テ
常設國際司法裁判所構成案ノ修正ヲ
議決シタル件……………三七八

六 四五六 十二月 八日 五七八 内田外務大臣ヨリ
在米田幣原大使宛(電報)
旧独線処分ニ関シ各国ニ於テ互譲ヲ
必要トスル場合ノ我方最大限ノ譲歩
案訓令ノ件……………五七三

六 四五七 十二月 八日 通一四一 在米田幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
ヤップ島問題ニ関シ米國政府ノ英國
政府ニ対スル申入内容報告ノ件……………五七三

六 四五八 十二月 八日 通一四二 在米田幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
通信予備會議失敗ノ形勢ニ関スル新
聞報道ニ付報告ノ件……………五七四

六 四五九 十二月 八日 通一四三 在米田幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
旧独線処分問題ニ関スル第七回各国
委員長会合ハ物別レトナリタル旨報
告ノ件……………五七五

六 四六〇 十二月 八日 通一四四 在米田幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
旧独線処分問題ニ関シ仏國委員長ハ
同問題解決延期ヲ提議セントシテ本
使ヲ來訪意見ヲ求メタルニ付該提議
ニ同意ノ旨回答シタル件……………五七七

六 四六一 十二月 八日 通一四五 在米田幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
旧独線処分問題ニ関スル第八回各国
委員長会合ノ模様報告ノ件……………五七九

七 五九四 十二月 八日 五五五 内田外務大臣ヨリ
在ジュネーヴ聯盟總會代表宛
(電報)
我委任統治地域關係ノ協約ニ機會均
等主義ノ条項挿入見合セ方訓令ノ件……………七二七

七 五九五 十二月 八日 五八 内田外務大臣ヨリ
在ジュネーヴ聯盟總會代表宛
(電報)
C式委任統治問題ニ関スル我最終対
策ニ付訓令ノ件……………七二八

別電 同日内田外務大臣宛在ジュネーヴ聯盟總會代表宛電報第五
九号……………七二八

C式委任統治問題ニ関スル我最終対案

七 五九六 十二月 八日 一一一 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
C式委任統治協約案ニ関シ英國側ト
意見交換ノ件……………七二九

一〇 七五五 十二月 八日 九一三 内田外務大臣ヨリ
在仏國松田臨時代理大使宛
(電報)
在本邦仏國大使ヨリ寿府賠償會議及
武府賠償予備會議ニ対スル我方代表
者ヲ至急選任方申出ニ付通報及指示
ノ件……………九八〇

三 一七五 十二月 九日 一一四 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
委任統治問題ニ関シ總會ニ対スル理
事会ノ報告書ニ付説明ノ件……………二五一

六 四六二 十二月 九日 通一四七 在米田幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
日英仏伊四國委員長相談会ニ於テ旧
独線処分問題ニ関シ英國委員長ヨリ
暫定協定締結方提議ノ件……………五八〇

六 四六三 十二月 九日 通一四八 在米田幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
旧独線処分問題ニ関スル第九回各国
委員長会合ノ模様報告ノ件……………五八一

七 五九七 十二月 九日 一一五 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
ラバウルニ於ケル本邦人及船舶ノ待
遇ニ関シバルフォア氏内話ノ件……………七三二

七 五九八 十二月 九日 一〇六七 在英國永井臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
濠洲委任統治領ニ於ケル本邦人ノ待
遇問題ニ関シ英國政府ノ措置振ヲ英
國側ヨリ説明ノ件……………七三二

四 二一八 十二月 十日 一一〇 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
聯盟理事會ト總會トノ關係ニ関スル
報告ノ件……………三〇六

六 四六四 十二月 十日 通一四九 在米田幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
旧独線処分問題ニ関スル第十回各国
委員長会合ノ模様報告ノ件……………五八三

六	四六五	十二月十日	五〇六	在本邦米國臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛	ヤップ島ガ日本ノ委任統治区域ニ 包含セラルトスル主張ハ米國ニ於テ 之ヲ承認シ得ザル旨申越ノ件	五八四
六	四六六	十二月十日	五八二	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛(電報)	ケーブル、アイランズニ関スル英米 伊三国間協定ニ付問合ノ件	五九四
七	五九九	十二月十日	一二四	在ジュネーブ聯盟總會代表ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	C式委任統治問題ニ関シ我最終案ヲ 以テ英國側ト折衝スルコトニ付意見 具申及請訓ノ件	七三三
一〇	七五六	十二月十日	五五九	内田外務大臣ヨリ 在英國永井臨時代理大使宛 (電報)	賠償委員會ニ我代表ノ参加ヲ希望ス ル理由説示ノ件	九八〇
一〇	七五七	十二月十日	一〇六八	在英國永井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	賠償問題ニ係ル英仏協定承認方ニ関 スル我政府ノ意向ヲ英國政府ニ伝達 及同政府回答ノ件	九八一
三	一七六	十二月十一日	一三一	在ジュネーブ聯盟總會代表ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ダンチツヒ及ヘデアリス王ノ仏國軍 隊ニ関スル抗議並委任統治協定案ニ 関スル件	二五二
六	四六七	十二月十一日	五八三	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛(電報)	ヤップ島ニ関スル最高會議決定ニ鑑 ミ米國側云分ハ認メラレ難キ旨通報 ノ件	五九四
六	四六八	十二月十一日	五八四	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛(電報)	ヤップ海底線ニ関シ華府通信會議ニ 於テ蘭國ノ權利問題決定ヲ見ザル限 リ日本トノ商議ヲ開始スル能ハザル 旨蘭國側ヨリ申越ノ件	五九五

別電

同日内田外務大臣宛電報第五八五号
英國側提議ノ内容

五九五

六	四六九	十二月十一日	五六二	内田外務大臣ヨリ 在英國永井臨時代理大使宛 (電報)	日本ノ委任統治区域及ヤップ島問題 ニ関スル最高會議議事録入手方訓令 ノ件	五九六
六	四七〇	十二月十一日	五八六	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛(電報)	旧独線ニ関シ暫定協定不成立ノ場合 ニ於ケルヤッブ、メナド間通信開始 ニ付主要四國ノ了解ヲ得置ク様措置 方ノ件	五九六
一〇	七五八	十二月十一日	一二八	内田外務大臣ヨリ 在獨國出淵臨時代理大使宛 (電報)	独逸ガ賠償義務ヲ怠リタル場合ノ措 置ニ関スル英國ノ対独通告ニ付我方 ノ方針回電ノ件	九八一
一五	九九八	十二月十一日	機密 四八二	在中國小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛	東支鉄道沿線帝國軍隊撤退要求ノ中 國政府公文ニ対シ回答ノ件	二二二
五	二七五	十二月十二日	一四〇	在ジュネーブ聯盟總會代表ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	常設國際司法裁判所構成案ニ関スル 第三委員會決議ニ付報告ノ件	三八〇
六	四七一	十二月十二日	一〇七二	在英國永井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	通信會議ノ行詰ニ関スル華府発路透 通信等ニ付報告ノ件	五九七
六	四七二	十二月十二日	通一五〇	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	旧独線処分問題ニ関スル第十一回各 國委員長會議ノ模様報告ノ件	五九七
七	六〇〇	十二月十二日	一三八	在ジュネーブ聯盟總會代表ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	A式B式委任統治案ニ同意スル權限 附与方稟請ノ件	七三四
九	六六三	十二月十二日	一三六	在ジュネーブ聯盟總會代表ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	聯盟總會第六委員會ニ於テ軍備制限 問題分科會ノ報告ヲ討議可決ノ件	八四六

別電 十二月十五日在ジュネーヴ聯盟總會代表宛内田外務大臣宛

電報第一三七号 八四七

附記 右軍備制限問題分科会報告ノ要領 八五〇

在ジュネーヴ渡辺陸軍少将宛田中陸軍大臣宛電報 八五〇

一〇 七五九 十二月十二日 二六二 在伊國落合大使ヨリ 九八二

三 一七七 十二月十三日 一四六 内田外務大臣宛(電報) 二五三

六 四七三 十二月十三日 通一五一 在米國幣原大使ヨリ 六〇〇

七 六〇一 十二月十三日 一〇五 内田外務大臣宛(電報) 七三五

七 六〇二 十二月十三日 一四七 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ 七三五

四 二一九 十二月十四日 一五三 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ 三〇八

六 四七四 十二月十四日 通一五二 在米國幣原大使ヨリ 六〇一

七 六〇三 十二月十四日 六八 内田外務大臣ヨリ 七三七

七 六〇四 十二月十四日 七〇 在ジュネーヴ聯盟總會代表宛 七四〇

七 六〇五 十二月十四日 一〇七七 在英國永井臨時代理大使ヨリ 七四〇

七 六〇六 十二月十四日 一五四 内田外務大臣宛(電報) 七四一

別電 十一月十五日在ジュネーヴ聯盟總會代表宛内田外務大臣宛 七四二

附記 C式委任統治案修正ノ箇所 七四三

五 二七六 十二月十五日 一五八 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ 三八二

五 二七七 十二月十五日 一六八 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ 三八九

附録 日本外交文書 大正九年 第三冊 日附索引 一一三

附記 常設國際司法裁判所規程及署名議定書並選択条項……………三九〇

六 四七五 十二月十五日 五八八 内田外務大臣ヨリ 包含セラルトスル我主張ニ反対スル……………六〇二

六 四七六 十二月十五日 通一五三 在米國幣原大使ヨリ 米國政府論拠ノ大要通報ノ件……………六〇二

別電一 同日在米國幣原大使発内田外務大臣宛電報通第一五四号……………六〇四
新聞ニ公表セル決議文ノ前文……………六〇四
二 同右電報通第一五五号……………六〇五

右決議文……………六〇五

六 四七七 十二月十五日 五九一 内田外務大臣ヨリ 通信予備會議ニ関スル記事ハ政府公……………六〇六

六 四七八 十二月十五日 通一五九 在米國幣原大使ヨリ 表以外新聞掲載差止ノコトトシタル……………六〇六

七 六〇七 十二月十五日 機三六 内田外務大臣宛 通信予備會議ノ新聞公表文ニ関スル……………六〇六

附屬書 十二月十四日附英國外務省ヨリ在英國永井臨時代理大使宛……………七四六
書翰写……………七四六

七 六〇八 十二月十五日 七二 内田外務大臣ヨリ 赤道以北ノ旧独領太平洋諸島ニ関ス……………七四七

七 六〇九 十二月十五日 七四 在ジユネーヴ聯盟總會代表宛 修正方訓令ノ件……………七四七
C式委任統治条項ニ関シ英國側ト協……………七四八
議済ノ我方宣言案ニ依リ折衝シ差支……………七四八
ナキ旨指示ノ件……………七四八

七 六一〇 十二月十五日 一五六 在ジユネーヴ聯盟總會代表ヨリ 英國側ヨリ四個ノC式委任統治案ヲ……………七四八

附記 十二月十七日理事会承認ノ四個ノC式委任統治協約案……………七四九

九 六六四 十二月十五日 一五九 在ジユネーヴ聯盟總會代表ヨリ 明年度後ノ二個年間聯盟各國ノ軍備……………八五一

九 六六五 十二月十五日 一六〇 在ジユネーヴ聯盟總會代表ヨリ 項トシテ可決ノ件……………八五一
聯盟各國二個年間軍事予算増加ノ……………八五三
希望条項ニ我代表賛成セル事情報告……………八五三
ノ件……………八五三

六 四七九 十二月十六日 通一六一 在米國幣原大使ヨリ 旧独線処分ガ一定期間内ニ決定ヲ見……………六〇七

六 四八〇 十二月十六日 通一六二 在米國幣原大使ヨリ ザル時ハ暫定協定ヲ採用スベシトノ……………六〇七

六 四八一 十二月十六日 通一六三 在米國幣原大使ヨリ 英國側提議ニ米國側不同意ノ件……………六〇七

六 四八二 十二月十六日 通一六四 在米國幣原大使ヨリ 通信予備會議第一分科会第七回會議……………六〇七

七 六一一 十二月十六日 在ジユネーヴ聯盟總會代表ヨリ 通信予備會議第一分科会第八回會議……………六〇九

七 六一二 十二月十六日 一〇八 在シドニー玉木總領事代理ヨリ 通信予備會議第二回總會並第十回第……………六一二

一〇 七六〇 十二月十六日 七六 内田外務大臣ヨリ
在ジュネーヴ聯盟總會代表宛
(電報)
山東鐵道及欽山ノ評價問題ニ付賠償
委員會法律部ニ対スル回答振ニ関シ
回訓ノ件……………九八三

四 二二〇 十二月十七日 一七三 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨ
内田外務大臣宛 (電報)
中国ガ非常任理事ニ選出セラルルニ
至レル事情報告ノ件……………三一〇

六 四八三 十二月十七日 一八三六 在仏國松田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)
日本ノ委任統治区域ニ関スル最高会
議議事録入手方ニ付仏國当局ト懇談
ノ件……………六一四

六 四八四 十二月十七日 通一六五 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)
通信予備會議第一分科会第八回會議
ノ模様統報ノ件……………六一五

別 電 一 同日在米國幣原大使宛内田外務大臣宛電報通第一六六号
米國側提出ノ修正案……………六一六

二 同右電報通第一六七号
英國側提出ノ決議案……………六一七

七 六一三 十二月十七日 一八二 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨ
内田外務大臣宛 (電報)
C式委任統治条項全部理事会承認ノ
件……………七六一

七 六一四 十二月十七日 聯盟機密
在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨ
内田外務大臣宛
赤道以北太平洋旧独逸領諸島委任統
治条項案文送付ノ件……………七六一

附屬書 右案文……………七六二

七 六一五 十二月十七日 一七四 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨ
内田外務大臣宛 (電報)
我C式委任統治条項ヲ理事会ニ提出
竝濠洲委任統治ニ対スル我宣言ノ原
本ヲ事務局ニ供託及右宣言承認文書
ヲ日英代表者間ニ交換ノ件……………七六四

別 電 同日ジュネーヴ聯盟總會代表宛内田外務大臣宛電報第一七
五号……………七六五

右宣言承認ノ交換文書

七 六一六 十二月十七日 一七七 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨ
内田外務大臣宛 (電報)
C式委任統治条項決定迄対米回答見
合方ノ件……………七六六

七 六一七 十二月十七日 一八三 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨ
内田外務大臣宛 (電報)
理事会ニ於テ五個ノC式委任統治条
項承認及石井理事日本政府ノ宣言朗
誦ノ件……………七六七

別 電 同日在ジュネーヴ聯盟總會代表宛内田外務大臣宛電報第一
八四号……………七六八

C式委任統治条項修正箇所

九 六六六 十二月十七日 聯盟機密
在ジュネーヴ竹下海軍種垣陸
軍靜岡空軍各代表ヨリ
案ヲ希望条項トシテ聯盟總會ガ採択
セル経緯報告ノ件……………八五四

四 二二一 十二月十八日 一九一 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨ
内田外務大臣宛 (電報)
中国ノ死活問題提起ハ之ヲ後日適當
ノ時機迄留保スル旨顧中国代表聲明
ノ件……………三一〇

六 四八五 十二月十八日 二七二 在伊國落合大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)
ヤップ島問題ニ関シ伊國ヨリハ英仏
兩國ト同程度ノ支持ヲ期待スベキニ
非ザル旨回電ノ件……………六一八

六 四八六 十二月十八日 外務省発表
通信予備會議一時休会及旧独逸海底
線問題ニ関スル該會議ノ経過ニ付米
國國務省公表ノ件……………六一九

七 六一八 十二月十八日 一九三 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨ
内田外務大臣宛 (電報)
理事会ニ於テC式委任統治条項条文
ノ英仏兩國語間不一致ニ付協議ノ件……………七六九

九 六六七 十二月十八日 陸総一五 稲垣陸軍代表ヨリ
田中陸軍大臣宛 (電報) ノ總會審議ノ經過並理事會理事改選……八五五
報告ノ件

六 四八七 十二月十九日 通一六八 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) 通信予備會議第一分科會臨時委員會
ノ模様報告ノ件 ……六二〇

六 四八八 十二月十九日 通一六九 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) 通信予備會議各國委員長會議ニ於テ
次回大會開催ノ時期及場所等ニ付協
議ノ件 ……六二一

別電 同日在米國幣原大使宛内田外務大臣宛通第一七〇号 ……六二二
米側提出ノ暫定協定案

六 四八九 十二月十九日 通一七一 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) 日独線処分問題解決延期ニ関シ実状
報告ノ為我委員ノ一時帰朝詮議方稟
請ノ件 ……六二三

六 四九〇 十二月十九日 通一七二 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) 通信予備會議第一分科會第九回會議
ノ模様報告ノ件 ……六二四

別電 同日在米國幣原大使宛内田外務大臣宛電報通第一七三号 ……六二八
英國側提出ノ修正案

二 同右電報通第一七四号 ……六二九

三 同右電報通第一七五号 ……六二九
我方ノ附シタル留保

四 二二二 十二月二十日 一九八 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) 聯盟情報部長ヨリ日本ニ通信機關ヲ
設ケ度旨申出ニ付請訓ノ件 ……三一一

六 四九一 十二月二十日 通一七六 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) 通信予備會議第一分科會第十回會議
ノ模様報告ノ件 ……六二九

別電 同日在米國幣原大使宛内田外務大臣宛電報通第一七七号 ……六三〇
仏國政府ノ留保

七 六一九 十二月二十日 四五 内田外務大臣ヨリ
在シドニー玉木總領事代理宛 (電報) 濠洲委任統治地域ニ於ケル日本人ノ
既得權保護ノ問題ニ関スル政府ノ方
針ニ付訓示ノ件 ……七七一

七 六二〇 十二月二十日 二〇〇 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) 委任統治問題分科會報告ノ要旨ニ関
シ報告ノ件 ……七七一

一五 九九九 十二月二十日 七〇二 在ハルビン松島總領事ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) 露國ガ条約上東支鉄道及附属地ニ関
シ有シタル權利ニ付クラスノスチヨ
カフ声明ノ件 ……二二三

七 六二一 十二月二十一日 九四三 内田外務大臣ヨリ
在仏國石井大使宛 (電報) C式委任統治条項ガ宣言ノ形式トセ
ラレタル事情其効力發生ノ為ノ手続
等ニ関シ査報方訓令ノ件 ……七七三

七 六二二 十二月二十一日 一一〇 在シドニー玉木總領事代理ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) 在ジュネーヴ日本全權ノ委任統治ニ
関スル宣言ニ付濠洲新聞論評ノ件 ……七七四

六 四九二 十二月二十二日 通一七八 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) 十二月十四日新聞ニ公表セル通信予
備會議ノ決議ニ関シ説明ノ件 ……六三一

六 四九三 十二月二十二日 六〇〇 内田外務大臣ヨリ
在米國幣原大使宛 (電報) ヤップ三線ニ對スル蘭國ノ關係ニ関
スル會議議事録ノ記載ニ付問合ノ件 ……六三三

四 二二三 十二月二十三日 二二三 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) 規約改正經濟封鎖及委任統治ノ三委
員會ニ本邦人加入ノ希望ヲ事務總長
ニ申込置ケルニ付右候補者回示方稟
請其他ノ件 ……三二二

六	四九四	十二月二十三日	通一八〇	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	ヤップ海底線ニ関スル英國側提議ニ 付回電ノ件……………六三四
六	四九五	十二月二十四日	六〇二	内田外務大臣ヨリ 在米國幣原大使宛（電報）	ヤップ上海線ニ対スル中国政府ノ主 張ニ関スル北京発新聞電報通報ノ件……………六三五
七	六二三	十二月二十四日	二二五	在ジュネーブ聯盟總會代表ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	C式委任統治条項ノ形式及効力ノ問 題ニ関シ回報ノ件……………七七五
四	二二四	十二月二十五日	二二七	在ジュネーブ聯盟總會代表ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	總會ニ於ケル各国勢力ノ按排會議ノ 空気等ニ付報告及意見具申ノ件……………三二三
六	四九六	十二月二十五日	九五七	内田外務大臣ヨリ 在仏國石井大使宛（電報）	通信予備會議及聯盟總會等ニ於ケル 我方ノ協調的態度ニ対シ仏國政府ヨリ 謝意表明ノ件……………六三五
六	四九七	十二月二十五日	通一八一	在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	ケーブル、アイランズニ関スル英米 伊三国間協定ニ対スル問合ニ付回答 並右三国間協定成立ノ経緯報告ノ件……………六三五
一〇	七六一	十二月二十五日	一四六	在白國安達公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	賠償問題ニ関スル英仏協定ニ関シ我 方ノ意向ヲ白國政府ニ申入ノ件……………九八五
六	四九八	十二月二十七日	五八二	内田外務大臣ヨリ 在英國林大使宛（電報）	ヤップ島問題ニ関シ最高會議議事録 入手方並我對米回答ニ英國外相ノ公 信ヲ引用シ支障ナキヤ英國政府ニ確 カメ方訓令ノ件……………六三九
六	四九九	十二月二十七日	九六一	内田外務大臣ヨリ 在仏國石井大使宛（電報）	ヤップ島問題ニ関シ我對米回答ニ仏 国外務省ノ米國大使館宛覺書ヲ引用 シ差支ナキヤ仏政府ノ意向確カメ方 訓令ノ件……………六三九
六	五〇〇	十二月三十日	一一〇一	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	ヤップ島問題ニ関シ米國政府ニ対シ 英國政府書翰ヲ引用シ差支ナキ旨カ ラゾン卿回答ノ件……………六四〇
六	五〇一	十二月三十日	一八八一	在仏國石井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	ヤップ島問題ニ関シ我對米回答ニ仏 國覺書ヲ引用シ差支ナキ旨仏國側回 答並理事會ノ決定ニ付報告ノ件……………六四〇
一四	九〇三	十二月三十日	一一〇三	在英國林大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	日英同盟ノ更新ニ関シテハ自治領政 府ト協議ノ上ニ非ザレバ何等措置ヲ 執ラズト英首相下院ニ於テ答弁ノ件……………一一四一